

大阪府立大学 21 世紀科学研究機構大阪検定客員研究員

平成 25 年度研究成果報告会

～大阪検定 1 級合格者が、大阪の新たな観光魅力を提案～

期日：平成 26 年 3 月 29 日（土）

会場：大阪府立大学 I - s i t e なんば

大阪府立大学 21 世紀科学研究機構

大阪商工会議所

はじめに

「なにわなんでも大阪検定」も、2013年度で5回目となる試験を終えました。

検定試験を立ち上げる際、私たちは、「大阪を再発見する機会の提供」「大阪を知り愛する運動の推進」「大阪の都市ブランドの向上」「大阪を体験する機会の提供」という4項目の目的を設定しました。また他都市の検定とは趣向を違えて、検定の受験そのものが「楽しみ」となる「大阪らしい検定」を目指してきました。

受験者数は累計で19,202名、そのうち合格者は1級51名、2級2,032名、3級9,031名を数えるほどになりました。観光産業や金融業、また行政関係など、大阪に根ざした業界の団体受験も増加、関連するプログラムも年次を追って充実しつつあります。大阪に対する愛市精神を高めるうえで、一定の役割を担っている事業であると自負しています。

さて、「なにわなんでも大阪検定」では合格者向けの特典を多数、用意しています。そのひとつとして2013年度より、最難関である1級の合格者のなかから選抜を行ない、私が所長を務める大阪府立大学21世紀科学研究機構・観光産業戦略研究所の客員研究員として迎え、1年間、独自に研究活動を行っていただくというプログラムを用意致しました。

1年間、大阪府立大学でゼミを実施、各員の問題意識のもとに大阪の地域文化を活かした広義のツーリズムについて、独自の研究を展開していただきました。本冊子は、参加いただいたメンバーの研究成果をとりまとめたものです。

専門家による調査研究ではありませんので、学術的な水準は十分ではないかもしれませんが、ただそれぞれの提案は、1級合格者の方らしく、大阪の歴史と文化を活かそうとする愛市精神に満ちたものばかりです。「なにわなんでも大阪検定」の成果物のひとつとして、評価いただければ幸いです。

大阪検定企画会議座長
大阪商工会議所都市再生委員会副委員長
大阪商工会議所ツーリズム振興委員会副委員長
大阪府立大学21世紀科学研究機構特別教授
大阪府立大学観光産業戦略研究所長

橋爪紳也

大阪府立大学 21 世紀科学研究機構大阪検定客員研究員

平成 25 年度研究成果報告会

日時：平成 26 年 3 月 29 日（土） 13：00～17：30

13：00～ 主催者挨拶

大阪府立大学理事・副学長兼 21 世紀科学研究機構長 辻 洋

13：10～ 研究発表（前半）

- | | | |
|-----------------|---------------------------------|-------|
| 湯川 敏男 | 蜷川の面影を求めて | ・・・1 |
| 吉田 真治 | 社会人・大学生・専門学校生等の若年層による大阪の都市魅力の向上 | ・・・5 |
| 岩本 穰 | 大阪の歴史めぐり～イメージ転換への第一歩 | ・・・9 |
| [コメンテーターからコメント] | | |
| 福田 昌弘 | 世界の「くいだおれ都市・大阪」を実現する観光戦略 | ・・・13 |
| 村田 幸雄 | 扁額で巡る大阪（大阪の扁額 50 選） | ・・・17 |
| 竹中 裕昭 | 適塾を生んだ大阪 その医蹟を巡る | ・・・21 |
| 高柳 淳一 | 大阪発 自転車で、いまどき天皇陵参拝。 | ・・・25 |
| [コメンテーターからコメント] | | |

14：55～ 休憩

15：10～ 研究発表（後半）

- | | | |
|-----------------|--------------------------------------|-------|
| 西本 広光 | J R大阪環状線でめぐる大阪観光 | ・・・29 |
| 行俊 良雄 | 観光資源の宝庫、大阪の鉄道 | ・・・33 |
| 越智 賢一 | 生駒山系と歴史路の観光資源展開 | ・・・37 |
| [コメンテーターからコメント] | | |
| 山田 重昭 | 住吉大社周辺における観光まちづくり戦略 | ・・・41 |
| 中塚 義隆 | 来て見て体験！だいがくと ^{いっか} 風のまち勝間千軒 | ・・・45 |
| 辻本 伊織 | アベノの坂 10 選 無名坂に名前をつける | ・・・49 |
| [コメンテーターからコメント] | | |

コーディネーター：大阪府立大学 21 世紀科学研究機構教授・観光産業戦略研究所所長 橋爪 紳也

コメンテーター：大阪観光局副局長 大川 達也

観光プランナー オダギリ サトシ

株式会社ジェイティービー 西日本国内商品事業部地域統括部長 高橋 広

16：40～17：30 懇親会

蜷川の面影を訪ねて

湯川 敏男

【目的】

“水都”と称せられ縦横に河川が張り巡らされていた大阪であるが、現在、往年の美しい景観は失われ、人々が称賛した水辺の風景は遠ざかり、今はない。これらの消えた河川の往年の状況と現状を調査し、今一度、リアルとバーチャルを駆使して再現し、再び水辺の景観を楽しみ、水都の歴史・風景や躍動感溢れた活気ある大阪を取り戻し、多くの人々が再び訪れ、臨場感をもって楽しく、判り易く大阪の歴史や地域の変遷を体感する手段を提供することを目的とする。

【内容】

今回は、実施事例の一つとして堂島の北側を東西に流れていた曾根崎川（通称「蜷川」^{しじみ}）とそこに架かっていた10の橋を取り上げ、川や橋の名残をリストアップし、往時の景観を再現し、散策の一助としたい。具体的には、蜷川の成立から消滅までの歴史を遡り、川筋の変遷をたどり、現在どれ程、川にちなむものが残っているか橋を主体に調査し、橋の名残や橋名の継承状況を調査し、それらを活用し、現在は失われた川や橋の記憶で再現可能なものは構築し、往年の面影を再現する。

蜷川の面影を再現する手段として、橋跡碑の整備、「蜷川十橋めぐり」解説板の設置、AR（拡張現実）による蜷川の景観等の再現、特に近松門左衛門の文楽の名作『曾根崎心中』や『心中天網島』などの道行きの出発点であり、地名「梅田」発祥の地としての梅田橋近辺については重点的に取り組み、「蜷川十橋めぐり」解説板に加えて歴史地図、『浪華曾根崎図屏風「舟遊び図」』、『梅田橋』顕彰碑建立協賛者芳名板などを組み合わせた記念碑を設置し梅田橋顕彰の強化を実施する。

これら蜷川の10橋を軸に周辺の名所・史跡とコラボした観光コースを作成する。

【結果（今後の考察含む）】

蜷川の面影の再現、仕組み作りの実施には、行政、企業、個人の理解、賛同、多くの協力者、技術者を必要とし、今後の具体的な取組方法を如何に行うかが課題である。

また、蜷川の10橋を中心に周辺の名所・史跡とコラボした観光コースの範囲・内容の設定、「蜷川十橋めぐり」のガイドブックの作成など、まだまだ未実施事項がある。

今回は、蜷川を対象としたが、大阪には、他にも多くの失われた河川や堀川があり、これらの河川についても、同等の調査を実施、顕彰し、景観の整備・再現の仕組みを構築し、魅力ある観光コースを設定したい。

1. はじめに (図1 埋め立てられた河川を参照)

大阪は“水都”と称せられ、河川が四通八達し、水運が経済を支え、その美しさが多くの絵図に残され、一大観光地として賑わった。しかし、世は陸運の時代となり、多くの河川が埋め立てられ、人々が水辺から遠ざかり日常から水の景観がなくなった。

この水辺の記憶を現在に再現し、多くの人々が再び訪れる大阪にするため、「水の都」大阪のリアルとバーチャルでの面影の再現を提案する。

今回、その実施事例案の一つとして、堂島の北を東西に流れていた曾根崎川（通称「蜷川」^{しじみ}）の景観を取り上げる。



図1 埋め立てられた河川

2. 蜷川の変遷

蜷川が消滅して堂島が名ばかりの“島”になって久しい。蜷川を知るには、この地の重層的な歴史なしには語れない。まず、蜷川の発生から消滅までの歴史・変遷を時代順に眺めてみたい。

(1) 蜷川以前 (図2 大阪平野の地形変遷を参照)

約8千年前、気温が上昇し、縄文海進が始まり海面が現在より高くなり、大阪城がある上町台地の内側（東側）にも海水が浸入し河内湾となった。この湾には淀川や大和川が注いでおり、上流より土砂が流入し、河内湾は浅くなり周縁部から陸地化が始まり上町台地の北側にある海峡も狭くなり、河内湾は時代を追って淡水化が進み河内潟、河内湖となり、さらに陸地化が進み河内平野となった。

大阪湾（茅渚海）と河内湖の水の出入口は隘路となり、たびたび河内平野は氾濫した。この状況を見かねた仁徳天皇は、水害を防ぐため「難波の堀江」を開削したと伝承されている。この堀江が現在の大川で、この大川の分流の一つが蜷川となった。

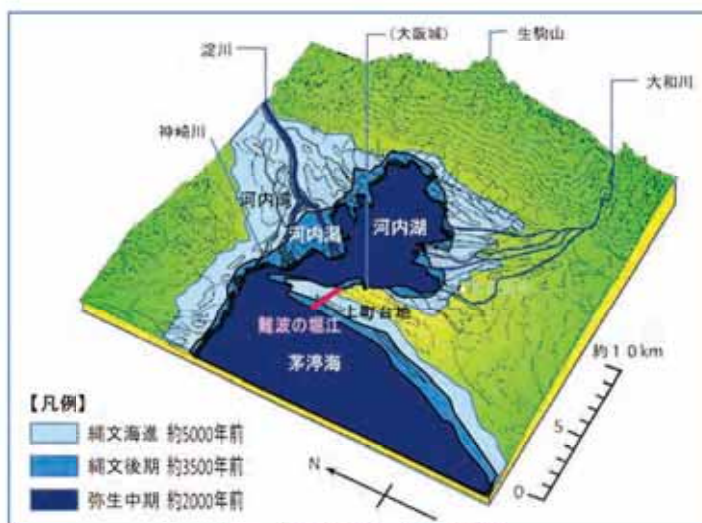


図2 大阪平野の地形変遷

(2) 蜷川成立 (図3 蜷川の変遷を参照)

蜷川は、堂島川に架かる大江橋の少し上流から北へ分岐し、すぐ西向し、北に湾曲しながら東西に流れ、堂島大橋と船津橋の中間で堂島川に再合流する延長 2.26 キロメートルの川で、正式名称は曾根崎川であるが、上流部は梅田川、下流部は福島川とも称され北区と福島区に亘っていた。

旧淀川、旧大和川、平野川、長瀬川などの流れを集めた大川は、上流よりの大量の土砂による堆積のため中之島や堂島の中洲を形成、さらに成長し、蜷川に当たる部分は水の疎通が滞るほどになった。そこで江戸幕府は河村瑞賢に改修を命じ、左岸（南側）に堂島新地、右岸（北側）に曾根崎新地が開発され、梅田橋はじめ10橋が架けられ、蔵屋敷群や遊所として大いに賑わった。

(1) 橋跡碑の整備

橋跡碑として現存するのは、前述の蜷橋、桜橋、浄正橋の3橋のみであるが、戦前存在していた曾根崎橋、緑橋、汐津橋の3橋の橋跡碑は復刻し、残る4橋は同等の橋跡碑を作成する。

（２）「蜷川十橋めぐり」解説板の設置

各橋跡碑の近辺に、橋ごとに案内地図を兼ねた「蜷川十橋めぐり」解説板を作成し掲示する。このことにより蜷川に架橋されていた10橋を一体的なものとして認識することができる。

(3) ARによる蜷川の景観等の再現 (図4 梅田橋近辺でのARの実施例を参照)

「蜷川十橋めぐり」解説板に表示されているQRコードにスマートホンをかざすと往時の蜷川の川筋、橋、景色などの景観、伝承話や文学作品の物語が再現されるAR（拡張現実）技術を用いた仕組みを構築する。



図4 梅田橋近辺でのARの実施例

(4) 梅田橋顕彰の強化

梅田橋は、近松門左衛門の文楽の名作『曾根崎心中』や『心中天網島』の道行きの出発点で、地名「梅田」の発祥の地でもある。この地（NTTテレパーク堂島）に「蜷川十橋めぐり」解説板と歴史地図、『浪華曾根崎図屏風』図、「梅田橋」顕彰碑建立協賛者芳名板を組み合わせた記念碑を設置し、顕彰を強化する。さらに、現在ある親水設備に梅田橋の模型、ビルのシャッターに『曾根崎心中』の主人公のお初徳兵衛の姿絵があれば注目スポットとして成立する。

5. 蜷川の観光（図5を参照）

蜷川の近辺には「佐賀藩蔵屋敷跡」、「蛸の松」、「逆櫓乃松跡」、「莫大^{メリヤス}小会館」、「野田藤・藤庵跡」などの見どころが多々あり、これらの史跡と蜷川の10橋を一体化して巡る史跡探訪観光コースを設定し、魅力ある大阪をアピールする。



図5 蜷川十橋と周辺の見どころ

6. おわりに

大阪は、町人の都として、自由な発想のもと、独自の文化が栄え、各種の考え・文化・人々を受け入れ、先進の精神を引き継ぎ、それらが大阪の活力となり、次々とユニークな大阪発ブランド、企業、商売やアイデアを誕生させてきた。各種の橋跡、史跡、文化遺産、文学ゆかりの地を総合的に整理・構築・継承・再生し、個別に顕彰していたものを点から線、線から面へと複合的に構成するコースを、今回は蜷川を中心に提案したが、蜷川以外の他の失われた河川・堀川でも同様の史跡探訪観光コースを設定し、大阪の先人の活力の一端を感じ、大阪の元気を取り戻す一助としたい。

<参考文献>

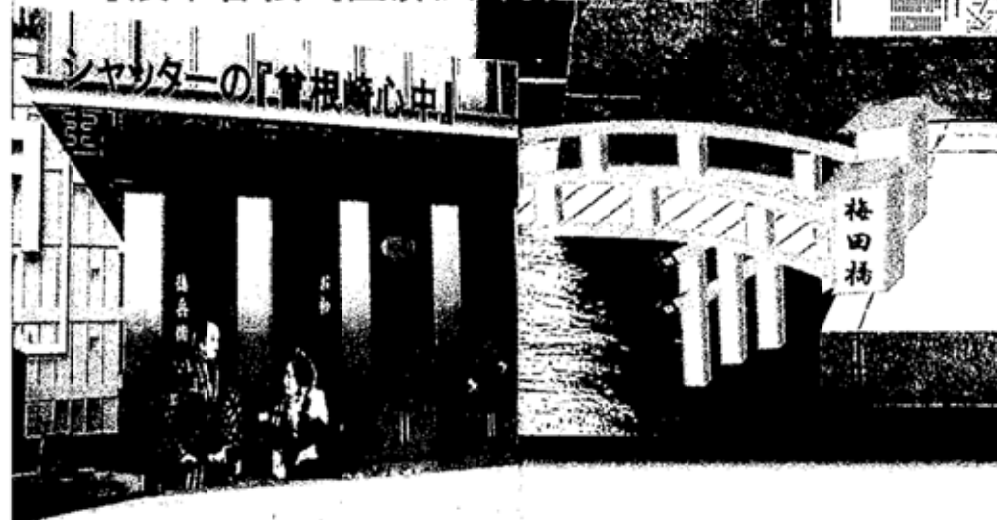
- ・大阪の川 ー都市河川の変遷ー 財団法人大阪市土木技術協会 1997.3
- ・大阪の橋 大阪市における橋梁技術のあゆみ 大阪市土木技術協会 1995.10
- ・大阪駅の歴史 大阪ターミナルビル株式会社 駅史編集委員会 2003.4
- ・大阪市の歴史 大阪市史編集所 創元社 1999.4
- ・大阪遺跡 ー出土品・遺構は語るのにわが掘り物ー 大阪市文化財協会 創元社 2008.3
- ・新修大阪市史 第6巻 近代2 新修大阪市史編集委員会 大阪市 1994.12
- ・おおさか水辺の風景 ー古写真は語るー 大阪城天守閣特別事業委員会 2006.3
- ・日本の古典 ーグラフィック版ー 12 心中天網島 世界文化社 1981
- ・福島でんこもり ーわが町まるごとガイドー No.17 福島でんこもり 2010.7
- ・北区小さな旅ぶっく ーまちと歴史を楽しむ8コースー 大阪市北区役所区民企画担当 2010.3
- ・歴史の散歩道 ー大阪市史跡連絡散歩道ー 大阪市土木技術協会 1991.10



『浪華曾根崎図屏風 舟遊び図』



歴史地図：梅田橋の例



『蜷川の面影を訪ねて』参考資料

湯川敏男

梅田橋南東詰に位置するNTTテレパーク堂島の親水設備の記念碑と梅田橋の模型案

「蜷川十橋めぐり」解説板：梅田橋の例

蜷川の十橋めぐり
その⑦
「梅田橋」

堂島川から分かれた蜷川の上流から七つ目に南北にかけられた橋で、近松門左衛門の名作『曾根崎心中』では「梅田の橋を譲(かささき)の橋と契(かぎ)りていつまでも、われとそなたは女夫星」を慕って大宰府へ送られた一飛び梅田橋」と語られている。明治42年の北の大火の瓦礫により明治45年に緑橋より上流部が、大正13年までに残りの部分も埋め立てられ、橋も消滅した。



【立体景観】
「蜷川十橋」アプリをダウンロードし、下記QRコードからアクセスし、立体景観をお楽しみください。





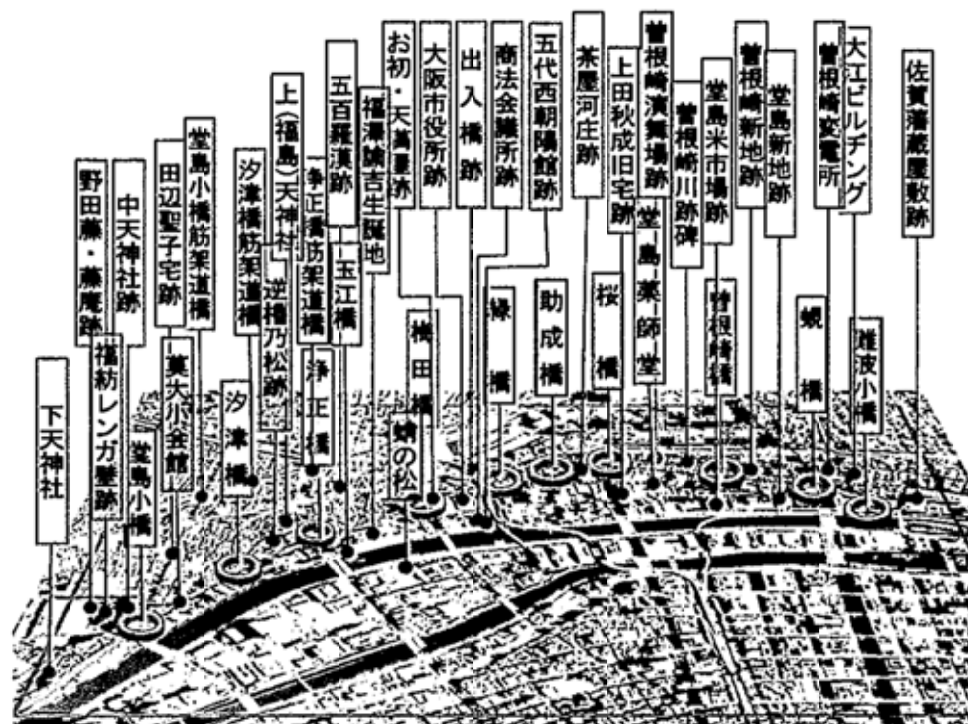
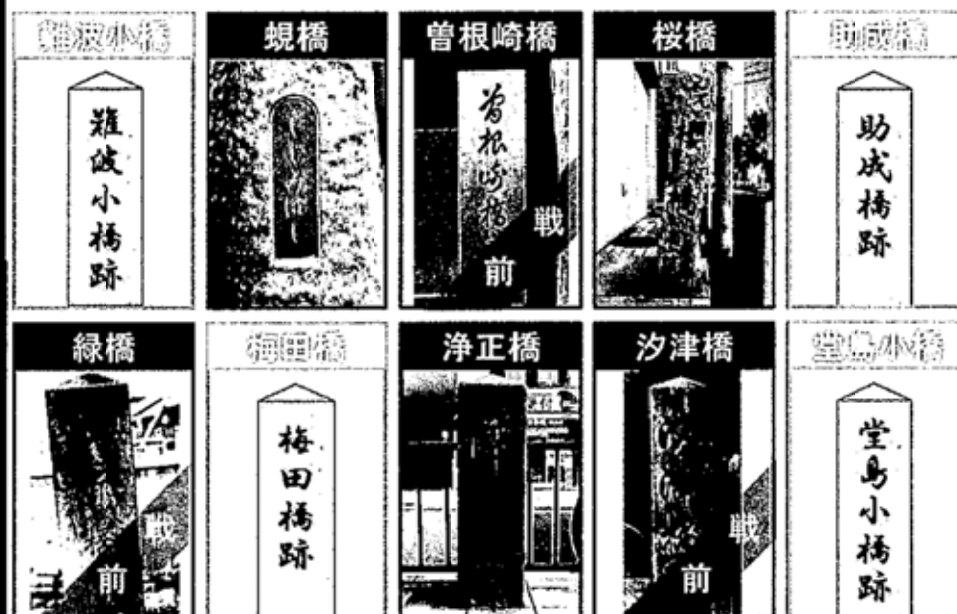
浄正橋 筋架道橋	
端重	KS-18
基礎工	ベ/ト杭 109cm
掘入	基礎下端より 25m
支持力	設計 320t
コンクリート	Ca=80% 028=240% 51%
管理	大阪工務局 8区 北川俊雄
施工	西松建設株式会社
工期	1960年11月~1961年10月

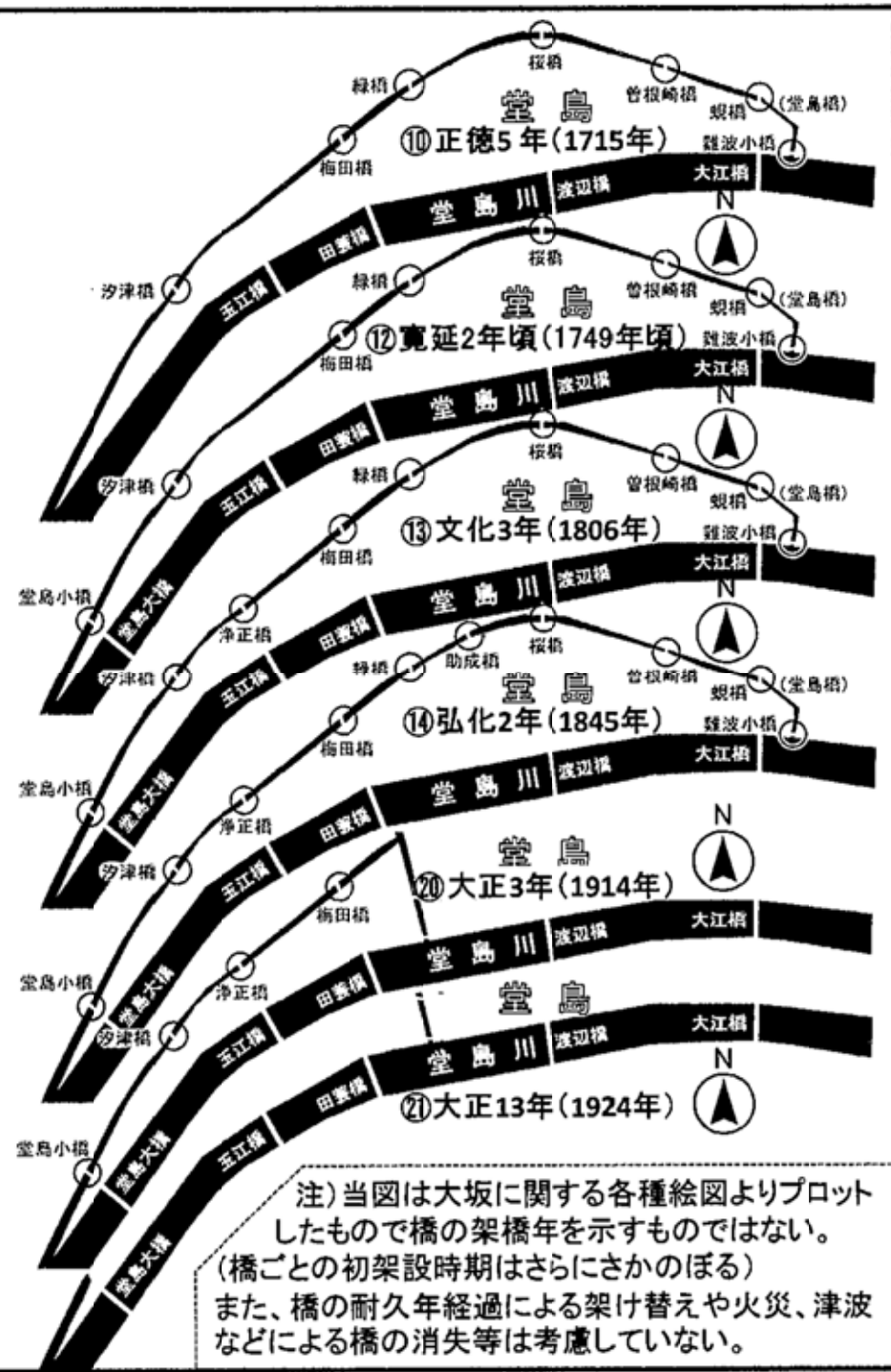
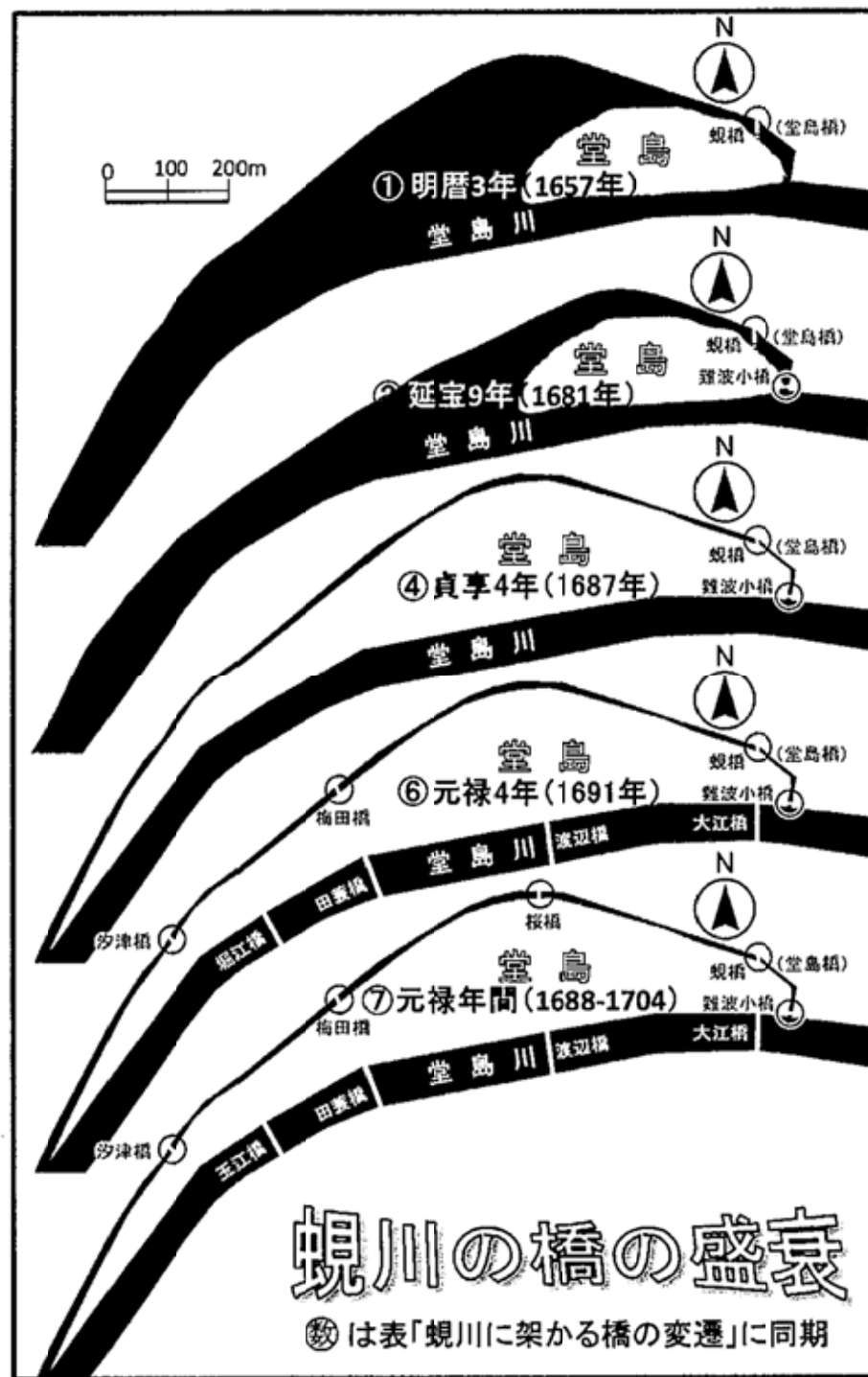
橋りょう名	堂島小橋筋架道橋
位置	福島~野田間 1K275M10
支間	27M00
塗装年月	1991年 9月
塗装回数	3回塗
塗装種別	中塗り・上塗り・下塗り
塗料名	中塗り・上塗り・下塗り
塗料色	中塗り・上塗り・下塗り
塗料会社	中塗り・上塗り・下塗り

津橋 筋架道橋	
端重	KS-16
基礎工	ベ/ト杭 109cm
掘入	基礎下端より 24m
支持力	設計 320t
コンクリート	Ca=80% 028=240% 51%
管理	大阪工務局 8区 北川俊雄
施工	西松建設株式会社
工期	1960年11月~1961年10月

蜷川関連橋跡碑の整備

既設 復刻 新設





② は図「蜷川の橋の盛衰」に同期

蜷川に架かる橋の変遷 [網掛行は出来事を表す。また、「斜字」は作品に出てくる橋名や川名を示す]

No.	年代	絵図名等	絵図に見る蜷川に架かる橋名(上流⇄下流)										架橋数	川名	備考
			難波小橋	蜷橋	曾根崎橋	桜橋	助成橋	緑橋	梅田橋	浄正橋	汐津橋	堂島小橋			
①	明暦3年 (1657年)	新坂大坂之図	—	無名	—	—	—	—	—	—	—	—	1	無名	堂島川には橋なし
②	延宝9年 (1681年)	辰蔵増補大坂図	無名	無名	—	—	—	—	—	—	—	—	2	志ん川 (新川)	堂島川には橋なし
3	貞享3年 (1686年)	河村瑞賢 河川改修	同上か	同上か	—	—	—	—	—	—	—	—	同上か	(曾根崎川)	橋名は推定
④	貞享4年 (1687年)	大坂 大絵図	無名	無名	—	—	—	—	—	—	—	—	2	そねさき川 (曾根崎川)	堂島川には橋なし
5	元禄元年 (1688年)	堂島新地 開発	同上か	同上か	—	—	—	—	—	—	—	—	同上か	(曾根崎川)	橋名は推定
⑥	元禄4年 (1691年)	新撰増補大坂大絵図 ^{*1}	難波小橋	古橋	—	—	—	—	梅田橋	—	塩津橋 (汐津橋)	—	4	そねさき川 (曾根崎川)	堂島川に五橋を 新しく架橋 ^{*2}
⑦	元禄年間 1688-1704	大坂東西 南北町図 ^{*3}	ナニハ小橋 (難波小橋)	古はし (古橋)	—	さくらはし (桜橋)	—	—	梅田はし (梅田橋)	—	志おつはし (汐津橋)	—	5	そねさき川 (曾根崎川)	堀江橋を元禄11年 に玉江橋と改名
8	元禄16年 (1703年)	露天神 ^{*4} 心中事件	作品に 登場なし	作品に 登場なし	—	作品に 登場なし	—	—	「梅田の橋」	—	作品に 登場なし	—	同上か	「蜷川」	『曾根崎心中』 浄瑠璃に脚色
9	宝永5年 (1708年)	曾根崎新地 開発	同上か	同上か	—	同上か	—	—	同上か	—	同上か	—	同上か	(曾根崎川)	橋名は推定
⑩	正徳5年 (1715年)	摂津大坂図 鑑綱目大成	難波小橋	志しみはし (蜷橋)	曾根崎橋	桜橋	—	みとり橋 (緑橋)	梅田橋	—	汐津橋	—	7	そねさき川 (曾根崎川)	堂島に蔵屋敷多 数みられる
11	享保5年 (1720年)	大長寺 ^{*5} 心中事件	「難波小橋」	「蜷橋」	作品に 登場なし	「桜橋」	—	「緑橋」	「梅田橋」	—	作品に 登場なし	—	同上か	「蜷川」	『心中天網島』 浄瑠璃に脚色
⑫	寛延改正 (1749年頃)	摂州 大坂図	ナニハ小橋 (難波小橋)	堂シマハ (堂島橋)	ソ子サキハ (曾根崎橋)	櫻ハシ (桜橋)	—	緑ハシ (緑橋)	梅田ハシ (梅田橋)	—	汐津ハシ (汐津橋)	堂シマハ (堂島小橋)	8+(1)	蜷川	堂島西端に小橋 あり ^{*6}
⑬	文化3年 (1806年)	増修改正摂 州大坂地図	ナニハ小橋 (難波小橋)	堂シマハ (堂島橋)	曾根崎橋	櫻橋	—	緑橋	梅田橋	浄正橋	汐津橋	堂島小橋	9	無名	渡辺橋—大江橋間 に堂島米市場 ^{*7}
⑭	弘化2年 (1845年)	大坂 細見図	ナニハ小橋 (難波小橋)	タシハ (堂島橋)	ソ子サキハ (曾根崎橋)	サクラハシ (桜橋)	助成ハシ (助成橋)	ミドリハシ (緑橋)	ムタハシ (梅田橋)	浄正ハシ (浄正橋)	汐津ハシ (汐津橋)	堂シマハ (堂島小橋)	10	無名	
15	文久3年 (1863年)	改正増補国 宝大坂全図	ナニハ小橋 (難波小橋)	堂シマハ (堂島橋)	ソ子サキハ (曾根崎橋)	サクラハシ (桜橋)	助成ハシ (助成橋)	ミドリハシ (緑橋)	梅田ハシ (梅田橋)	浄正ハシ (浄正橋)	汐津ハシ (汐津橋)	堂嶋小ハシ (堂島小橋)	10	蜷川	
16	明治12年 (1879年)	大阪之図	ナニハ小橋 (難波小橋)	堂シマハ (堂島橋)	ソ子サキハ (曾根崎橋)	サクラハシ (桜橋)	助成ハシ (助成橋)	ミドリハシ (緑橋)	ムタハシ (梅田橋)	浄正ハシ (浄正橋)	汐津ハシ (汐津橋)	同小ハシ (堂島小橋)	10	無名	堂島川に堂島大 橋あり
17	明治15年 (1882年)	改正新版大 坂明細全図	難波小橋	蜷橋	曾根崎橋	桜橋	助成橋	緑ハシ (緑橋)	梅田橋	浄正橋	汐津ハシ (汐津橋)	堂島小橋	10	曾根崎川	
18	明治33年 (1900年)	新町名入大 阪市街全図	難波小橋	蜷橋	曾根崎橋	桜橋	助成橋	緑橋	梅田橋	浄正橋	汐津橋	堂島小橋	10	曾根崎川	
19	明治42年 (1909年)	北の大火 (天満焼)	—(焼失)	—(焼失)	—(焼失)	—(焼失)	—(焼失)	—(焼失)	—(焼失)	—(焼失)	—(焼失)	同上か	1	(曾根崎川)	難波小橋から緑 橋まで埋立決定
⑳	大正3年 (1914年)	大坂市内 詳細図	—(明治45年(1912年)埋立完了、川跡⇒宅地)						梅田橋	浄正橋	汐津橋	堂島小橋	4	蜷川	大火後の川跡は埋立 られ宅地となる
㉑	大正13年 (1924年)	実地踏測大 阪市街全図	—(明治45年(1912年)埋立完了、川跡⇒宅地)						—(大正13年(1924年)埋立完了、川跡⇒道路)			—	0	蜷川	元堂島小橋より下流に 「蜷川」の最下流部残存

*1: 正式名称は『新撰摂津大坂東西南北町橋之図』

*2: 元禄時代に堂島開発によって堂島川に新しく架けられた大江橋・渡辺橋・田養橋・堀江橋(元禄11年[1698年]に玉江橋に改名)・船津橋の五橋

*3: 正式名称は『新撰増補堂社仏閣絵入諸大名御屋敷新校正大坂大絵図』

*4: お初徳兵衛の露天神心中事件の発生は元禄16年4月7日早朝で『曾根崎心中』の初演は30日後の同年5月7日

*5: 小春治兵衛の大長寺心中事件の発生は享保5年10月14日夜で『曾根崎心中』の初演は53日後の同年12月6日

*6: 堂島西端(俗に合羽島という)に蜷川に架かる田畑用の小橋あり

*7: 淀屋米市(北浜米市)が元禄10年(1697年)に堂島新地の開発にともない堂島に移転

社会人・大学生・専門学校生等の若年層による大阪の都市魅力の向上

吉田 真治

【目的】

活動のきっかけは、

○大阪には魅力がたくさん。知れば知るほどもっと好きに！

○学生、若者は、就職先も、ネットワークも広域に。大阪ファンになれば大阪の最強のPRマンにと思ったことにある。

ところが、学生の多くはメジャーなところしかいったことがない。たくさんある大阪の魅力を若者・学生により深く沢山知ってもらうためにはどうすればいいか。こうした問題意識のもと、若者たちのいまの考え方をしっかりふまえたうえで、これからどう若者を大阪の魅力づくりに巻き込んでいくか。実際の活動に基づいて、今後若者を巻き込むための手法を検討していきたい。

【内容】

＜学生・専門学校生、留学生、若者の大阪に対する意識・行動＞

・学生、留学生は、いわゆる「観光名所」(USJ、道頓堀等)の回答が圧倒的。

・しかし、20代の若者からは、観光名所以外の様々な魅力への回答が多かった

⇒まずは若者に大阪の様々な魅力を知ってもらう。それを学生や留学生に広げる取り組みができないか

＜若者とともに関係する大阪の魅力をめぐるフィールドワーク＞

・若い職員のみなさんにまちあるき、山歩きの企画をお願い。あわせて勉強会や交流会の開催も

①大阪検定勉強会(約30～40人)

②大阪あちこちハイキング&ラン(約40～70人)

③大阪市内ディープ・ラン(約20人)

【結果(今後の考察)】

○若者を中心としたやまあるき、まちあるきに学生のみなさんに一緒に参加してもらう仕組みづくりを

○来年度は、大阪商工会議所、大学、電鉄会社、メディアなどのみなさんとぜひ一緒にモデルワークを組み、若者・学生が大阪を知り大阪のファンになるムーブメントを広げていきたい

【活動のきっかけ】

○大阪には魅力がたくさん。知れば知るほどもっと好きに！

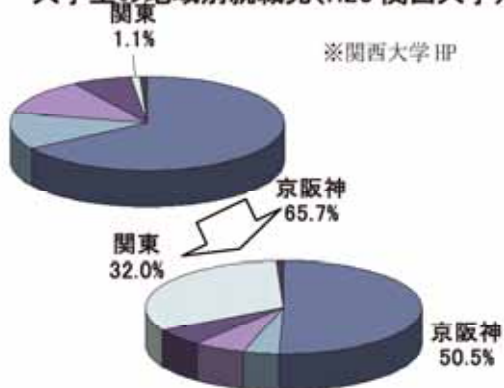
○学生、留学生、若者は、就職先もネットワークも広域。大阪ファンになれば大阪の最強のPRマンに
○ところが特に学生・留学生、若者の多くはメジャーなところしかいったことがない

○たくさんある大阪の魅力を学生、若者により一層深く沢山知ってもらうためにはどうすればいいか。

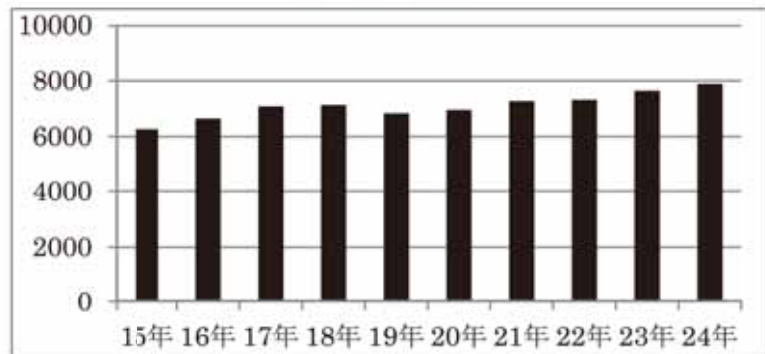
○こうした問題意識のもと、学生・若者たちが大阪に対していまどのような印象をもっているかを把握
したうえで、大阪の魅力のPRにどう参加してもらったらいいのか。

○若者を対象とする実験的な取り組みを通じて、今後若者を巻き込むための手法を検討していきたい。

大学生の地域別就職先(H23 関西大学)



大阪の留学生数(H24)



【学生・専門学校生、留学生、若者の大阪に対する意識・行動】

(1) 大阪で行きたいところ

- ・学生、留学生は、いわゆる「観光名所」の回答が圧倒的。
- ・しかし、20代の若者からは、観光名所以外のような魅力への回答が多かった

⇒まずは若者に大阪の様々な魅力を知ってもらう。それを学生や留学生に広げる取り組みができないか

学生・専門学校生	留学生	若者
①USJ ②通天閣&新世界 ③海遊館 ④あべのハルカス ⑤大阪城	①道頓堀 ②海遊館 ③通天閣&新世界 ④日本橋 ⑤食べ放題	①おしゃれでおいしい店 ②水辺・中之島 ③自然・山 ④通天閣&新世界 ⑤工場

(2) まちあるきや大阪を知ることへの関心（とくに学生・留学生）

- ・学生もまちあるきにはいきたいがなかなか時間がないこともあって、機会に恵まれていない
- ・一方、若者は大阪について深く知りたいという希望をもっている。

学生・専門学校生、留学生	若者
・機会があればまちあるきを試してみたいけどなかなかいきたくないという機会がない ・時間がない、お金がない、バイトが忙しい ・これぞ大阪ってところもまだいったことがない	・大阪の歴史、時代背景を知りたい ・大阪は意外と〇〇っていうのを知りたい

【若者とともに大阪の魅力をめぐるフィールドワーク】

若い職員のみなさんにまちあるき、山歩きの企画をお願い。あわせて勉強会や交流会の開催も

①大阪検定勉強会（約30～40人）

- ・大阪検定1級2級合格者でまちあるきプラン。あるいはウォークラリーに便乗。
- ・その後、3級合格者にまちあるきの企画をお願いし、あわせて模擬問題の作成も
例：中之島、堺うまいものたべあるき
- ・1級の辻本さん、行俊さんのおかげでよりレベルの高い2級受験者向け企画にも参加
例：天王寺七坂、道頓堀

②大阪あちこちハイキング&ラン（約40～70人）

- ・大阪の山でハイキング&トレイルラン&宴会。企画は3級合格者や市町村の方等をお願い
例：金剛山樹氷、河内長野岩湧山すすき、岸和田葛城山ブナ林、阪南大福山修験道

③大阪市内ディープ・ラン（約20人）

- ・大阪市内の観光・歴史等のスポットを走りながらみてまわる&ディープなエリアで宴会。
例：通天閣～住吉大社～飛田新地、弁天町～天保山～川口教会～大正



【今後の方針】

目標：大阪を知る、大阪を好きになる、大阪の魅力を発信する

大阪検定をベースに、若者から学生・留学生へとその輪、循環を広げていきたい！！

そのために

- これまでは若者が中心となった山あるき、まちあるきの機会づくり
- 来年度は、大阪商工会議所、大学、電鉄会社、メディアなどのみなさんと一緒にモデルワークを
- その中で、若者が企画をつくり、学生に参加してもらう。
- それを機会に、若者が、そして学生、留学生が、大阪を知り、大阪のファンになる、
そんなムーブメントを大阪検定から広げていきたい

（モデルワーク案）

- ★ぜひ若者、それも女子に2級合格を果たしてもらい、大阪検定・山ガール勉強会を！
- ★山歩き+勉強会+地元の名物料理で交流会を開催

例えば

- 交野・岩めぐりプロジェクト：天孫降臨の地といわれる交野の岩めぐり
ぜひ、京阪電車の方にも企画に参画いただければ
- 葛城修験の道プロジェクト：世界遺産・熊野古道に匹敵する巡礼の道・葛城修験の道
ぜひ、南海や近鉄の方にも企画に参画お願いします

訪ねて感じる、訪ねて知る 大阪の歴史

岩本 穰

【目的】

大阪は多様な歴史が分厚く重層する土地であるにもかかわらず、ステレオタイプで偏ったイメージが強くなり過ぎている。大阪人自身もそのイメージを受け入れてしまい、自らステレオタイプな大阪イメージを増幅させている面もある。

大阪の豊かな歴史を感じ、知るきっかけを作ることで、偏った大阪のイメージを変えていくための第一歩とする。

【内容】

歴史を感じるきっかけ作りのため、大阪市域エリアと大阪府下（大阪市域以外）エリアについて、それぞれのアプローチの仕方を考える。

（１）大阪市域エリア

都市としての大阪は上町台地から海に向かって発展してきた。そのルートを辿ることによって、大阪の歴史の厚みを感じるきっかけとする。

（２）大阪府下エリア（大阪市域以外）

大阪の歴史については、現在の大阪市域を中心に考えがちであるが、府下全体で眺めてみると、別の大阪の姿も見えてくる。府下に残された目に見える歴史的資産を訪ねることで、大阪府下の多様な歴史を感じる契機とする。

【結果（今後の考察含む）】

（１）大阪市域エリア

現在の大阪の街は御堂筋などの南北軸がメインとなっているので、南北で考えてしまいがちであるが、上町台地から海に向かって発展してきた街の歴史を踏まえて、東西の軸で歴史横断的に大阪を眺めてみる。大阪市中心部は比較的コンパクトで、上町台地を除けば平坦な地形なので、歩きながら街を知ることが可能であり、上町台地から西に向かい歴史を辿るモデル・ルートを設定する。

（２）大阪府下エリア（大阪市域以外）

歴史を感じることができるもの（歴史資産）については、目に見える分かりやすさという観点から、国宝・重要文化財に指定されている建造物に着目した。これらは文化財としての価値を持つものであるが、観光の対象になり得るものとして考えたい。大阪府には国宝・重要文化財の建造物は178棟（79スポット）存在し、京都府の374棟、奈良県の248棟には及ばないが、東京都の128棟の1.4倍に達する。

これらスポットの中から大阪歴史資産を設定し、そこをめぐることで、大阪市域エリアにとどまらない、摂津、河内、和泉の歴史への関心のきっかけとする。

1.大阪のイメージ

大阪は古代から交通の要衝として栄え、衰退した時代はあっても復活を繰り返す重層的な歴史を持つ土地である。

堺市による2012年（平成24年）の調査では、堺市は歴史・伝統のある都市かという問いに対して、肯定的回答（「そう思う」及び「どちらかといえばそう思う」）は、86.1%（大阪府民対象）、82.2%（東京都民対象）に達し、歴史ある都市として堺市は認識されている。ところが、大阪府が2007年（平成19年）に実施した大阪府民を対象とした調査では、大阪は歴史・伝統が感じられるかという質問に対しての肯定的回答（「非常に思う」及び「やや思う」）は、34.5%に過ぎず、「大阪」が歴史のある土地として認識されているとは言えない。堺であれば歴史があると認識されているが、大阪ときくと歴史があるとは思われていないという奇妙な現象が生じているのである。

様々な要因があると考えられるが、理由の一つとして、大阪についてのステレオタイプなイメージ（コテコテ、道頓堀でダイブする阪神タイガースファン、おばちゃんなど）がメディアやネットを通じて一面的に強調、流布され過ぎてしまい、歴史が積み重なる土地という事実が隅に追いやられてしまったためだと考えられないだろうか。

ステレオタイプな大阪イメージから脱却し、大阪の多様な面を打ち出し、より魅力を高めるためには、まずは大阪人自身が足元にある豊かな歴史にあらためて気付くきっかけ作りが必要ではないだろうか。

2.アプローチ

きっかけ作りのための手段については、大阪市域エリアと大阪府下エリア（大阪市域以外）に分けて、それぞれのエリアごとのアプローチを考えた。

（1）大阪市域エリア

大阪のまちは、上町台地から海に向かって街が発展する歴史を辿ってきた。大阪市中心部は比較的コンパクトで、上町台地以外は平坦な地形であるので、歩きながら街の歴史を偲ぶことが可能である。大阪タイム・トラベルのため、上町台地から西に向かう2つのモデル・ルートを設定してみた。ルートとして認知してもらうためには、サインの設置等も必要である。

八軒家浜～野田ルート

八軒家浜→東町奉行所跡→大阪城→坐摩神社行宮→高麗橋→道修町→平野町
→京町堀→靱公園→昭和橋・端建蔵橋・船津橋→中央卸売市場→春日神社→野田

交通の要衝であった八軒家浜を基点に、古代にも繋がる坐摩神社行宮を経て、近世大阪の中心である船場を抜け、落ち着いた雰囲気京町堀と靱公園を通過、中之島ウエストゲートから江戸時代に藤の名所として知られた野田に至る。



道修町（大阪市中央区）

難波宮跡～千鳥橋ルート

難波宮跡→寺町→熊野街道→空堀商店街→周防町→アメリカ村→堀江→和光寺
→千代崎橋→九条→安治川隧道→西九条→船奉行所跡→千鳥橋（旧正連寺川）

難波宮跡をスタートし、寺町の北縁、熊野街道を横切り、若者の街であるがそれぞれ雰囲気異なるアメリカ村・堀江を抜け、かつて「西の心斎橋」とも呼ばれた九条を経て、安治川の底をくぐり、これから生まれ変わろうとする旧正連寺川に至る。



和光寺（大阪市西区）

（２）大阪府下エリア（大阪市区以外）

国宝・重要文化財に指定されている建造物を擁するスポットは、北摂に 11 箇所、河内に 22 箇所、泉州に 30 箇所存在する。泉州、南河内に多く存在し、市町村別では堺市が 10 箇所、河内長野市が 8 箇所続いた。

これらの中から、非公開のものを除き、時代の古い建造物（鎌倉時代以前）が存在するスポットを中心としながら、3 エリアのバランスも考慮しつつ、「大阪歴史資産めぐり三十六私撰」として考えてみた。

北摂エリア 6 スポット

水無瀬神宮（島本町）	客殿は豊臣秀吉の寄進
普門寺（高槻市）	将軍足利義栄が滞在、普門寺城とも呼ばれた
旧西尾家住宅（吹田市）	都市近郊の大型近代和風建築。貴志康一とのゆかりも
五社神社（池田市）	背後の鉢塚古墳の石室内に石造十三重塔が建つ
八坂神社（池田市）	本殿は桃山時代の特色を持つ
久安寺（池田市）	725 年（神亀 2 年）に行基により開創

河内エリア 13 スポット

交野天神社（枚方市）	継体天皇樟葉宮跡伝承地
片埜神社（枚方市）	豊臣秀頼が本殿を復興
旧鴻池新田会所（東大阪市）	鴻池新田管理のため 1707 年（宝永 4）に建設
葛井寺（藤井寺市）	豊臣秀頼が四脚門を寄進
叡福寺（太子町）	聖徳太子の廟を守護するめ推古天皇が建立、豊臣秀頼が聖霊殿再興
旧杉山家住宅（富田林市）	富田林寺内町で最も古い家屋
竜泉寺（富田林市）	蘇我馬子が 6 世紀に創建したと伝わる
錦織神社（富田林市）	現社殿は 1363 年（正平 18 年）の創建と伝わる
建水分神社（千早赤坂村）	本殿は中殿と左右両殿を渡廊で連結する全国唯一の様式
観心寺（河内長野市）	南朝の後村上天皇の行在所で、檜尾陵がある。楠正成の首塚
金剛寺（河内長野市）	後村上天皇の行在所で天野行宮とも呼ばれた

烏帽子形八幡神社（河内長野市）	烏帽子形山には楠木七城の一つの烏帽子形城の跡も残る
岩湧寺（河内長野市）	修験道場として栄えた

泉州エリア 17 スポット

山口家住宅（堺市）	全国でも数少ない江戸初期の町家のひとつ
南宗寺（堺市）	1557 年（弘治 3 年）三好長慶が創建。徳川家康の墓が存在
大安寺（堺市）	本堂は納屋助左衛門の旧宅を移築したという説がある
桜井神社（堺市）	拝殿は中央に馬道と呼ばれる通路を持つ割拝殿型式
多治速比売神社（堺市）	本殿は 16 世紀に再建。安土桃山時代の建築様式を先取り
法道寺（堺市）	7 世紀に開基されたと伝わる。食堂は鎌倉時代後期に建立
泉穴師神社（泉大津市）	1273 年（文永 10 年）建立の摂社住吉神社本殿は府内最古の神社本殿
聖神社（和泉市）	天武天皇により 674 年（白鳳 3 年）建立
泉井上神社（和泉市）	豊臣秀頼が境内社和泉五社総社本殿を建立
積川神社（岸和田市）	豊臣秀頼が本殿を再建
大威徳寺（岸和田市）	紅葉の名所・牛滝山にある。多宝塔は 1515 年（永正 12 年）に建立
願泉寺（貝塚市）	貝塚寺内町に位置する
孝恩寺（貝塚市）	観音堂は釘を用いず建てられ「釘無堂」と呼ばれる
来迎寺（熊取町）	創建年代は明らかでないが、本堂は鎌倉時代の建物
中家住宅（熊取町）	江戸時代初期の豪農の住宅
慈眼院（泉佐野市）	673 年（天武 2 年）天武天皇の勅願寺として創建。多宝塔は日本三名塔
意賀美神社（泉佐野市）	1442 年（嘉吉 2 年）建立の本殿は春日造りでは大阪府内で最古



旧西尾家住宅（吹田市）



観心寺（河内長野市）



桜井神社（堺市）

（3）これから

わかりやすい歴史的資産として、今回は国宝・重要文財指定の建造物に限って考えてみたが、特別史跡・史跡、城跡等もめぐるべき歴史資産の中に含めて今後は拡大してみたい。

今回提案した大阪歴史資産は全くの私撰に過ぎない。これからの展開としては、例えばこの「三十六私撰」をベースとして、大阪ミュージアムあるいは大阪観光局のウェブ・サイトを活用して、定期的に「総選挙」を行うことで、スポットのランキング化や、余り気付かれていないスポットの歴史資産への新たな「メンバー入り」などのブラッシュアップをして、多くの人に認められる本当の意味での大阪の歴史資産集とすることが可能ではないだろうか。

世界の「くいだおれ都市・大阪」を実現する観光戦略

福田 昌弘

【目的】

人口減少社会に突入した我が国において成長を継続していくためには「集客観光」がキーポイントになる。我が国を訪れる外国人数は平成 24 年で世界 33 位、トップのフランスの 10 分の 1 程度であり、まだまだ拡大の余地が大きい。その訪日外国人の一番の期待は「食事」であり、「くいだおれのまち」といわれる大阪はこの点で大きなポテンシャルがあると考えられる。そこで、大阪の「食」の魅力について現状や内外の評価を把握したうえで、世界的な「くいだおれ都市」として内外から人を集客する活気あふれる大阪にするための「観光戦略」を検討し、具体的提言を行うことを目的とする。

【内容】

大阪は江戸時代から「くいだおれ」の地と称され、本格的な「料亭」や「割烹」の発祥地で名物料理も多数ありながら、ミシュランガイドや世界のグルメ都市ランキングでは必ずしも世界的な食の都市という評価を得ていない。そこで、在関西総領事館の皆さんや大阪府・神奈川県職員の協力を得て、大阪の「食」に関するアンケートを実施し、各国や国内での大阪の「食」に関する意識を把握するとともに、現地調査や関係者ヒアリング、参考文献の調査等を行い、どうすれば大阪が世界的な「くいだおれの都市」となれるのか、その方策を検討した。

【結果（今後の考察含む）】

アンケート等からは大阪が世界的な食の都市だとの認識は大阪在住者以外は希薄であること、大阪の食の強みは「なんでも・うまくて・コストパフォーマンスがよい」ところであること、「たこ焼き・お好み焼き」の知名度は抜群だが、大阪伝統の料理や大阪食材の料理は知られていないこと、「なべ料理」は外国人や大阪府外で意外と高い評価を得ていること、外国人は何といても多言語表記を切望していること、また急増しているイスラム教徒への対応の必要性などがわかった。これらを踏まえて、大阪が世界の「くいだおれ都市」としてにぎわうために以下の「10大提言」を提案する。

- ①「くいだおれ・OSAKA」で海外にも発信！ ②戦略的に「大阪の食文化」を売れ！
- ③「なべ王国・大阪」を打ち出せ！ ④個性豊かな「食のエリア」を発信せよ！
- ⑤大阪産料理を売り出せ！ ⑥「水辺」と「歴史」を生かす！ ⑦いつでも「食」を楽しめる「食祭都市」に！ ⑧世界標準の環境整備と情報発信 ⑨くいだおれ人材の育成（食育のススメ） ⑩関西全体で「世界 NO1 の美食ゾーン」に

「世界のくいだおれ都市・大阪」を実現する観光戦略 大阪検定客員研究員 福田昌弘

【目的】

- 人口減少社会に突入した我が国において成長を継続していくためには「集客観光」がキーポイント。
- 我が国を訪れる外国人数はフランスの10分の1程度であり、まだまだ拡大の余地が大きい。
- 訪日外国人の一番の期待は「食事」であり、「くいだおれのまち」といわれる大阪はこの点で大きな可能性があるのではないかと。
- そこで、大阪の「食」の魅力について現状や内外の評価を把握したうえで、世界的な「くいだおれ都市」として内外から人を集客する活気あふれる大阪を実現するための「観光戦略」を検討し、具体的提言を行うことを目的とする。

1. なぜ今「食」による観光戦略か

- 人口減少社会の進展（国立社会保障・人口問題研究所/出生・死亡中位）
 - 2010年（平成22年）から50年で日本人口は4,000万人以上減少の見込み
- 成長継続のカギは「観光集客」、とりわけ「訪日外国人数」の増
 - 2012年（平成24年）日本政府観光局調査では各国の来訪外国人数は1位フランス8,302万人・・・23位韓国1,114万人・・・33位日本836万人
 - 2013年（平成25年）速報値では1,036万4千人（日本政府観光局）に増加し、3.3兆円の経済効果、30万人の雇用があったと推計される（観光庁）
- 訪日外国人観光客の最大の関心は「日本の食事」
 - 観光客が訪日前に期待したことは「食事」が1位（62.5%）
 - 「食事」は2009年に初めて1位（58.5%）となり、2010年は一層増加（日本政府観光局 訪日外客訪問地調査2010）
 - さらに、2013年（平成25年）12月「和食」が世界無形文化遺産に

2. 大阪の「食」のポテンシャルについての考察(1)

- 大阪は「くいだおれ」の地？
 - 都乃錦『元禄昔我物語』1702年（元禄15年）では「京は着て果、太坂は喰て果るとかや」の記述
 - 松葉軒東井『雪輪』1787年（天明7年）にも「京は着倒れ 太坂は喰ひ倒れ 堺は建倒れ」
 - 一方、江戸末期安政年間、大坂西町奉行・久須美祐高『浪花の風』には「京の着倒れ、江戸の喰ひ倒れといふ如く、浪花の地も、京師と同様に衣類を殊に貯ふる風俗なり」との記述も
 - 1949年（昭和24年）道頓堀に「くいだおれ」が創業し、その後「くいだおれ」の呼称が浸透したといわれる
- 料亭、割烹の発祥も大阪から
 - 1600年後半に本格料亭の元祖 天王寺「浮瀬」が誕生
 - 飲み干せば記帳した巨太鮑の貝杯（一升割）で有名に
 - 1924年（大正13年）に大阪新町に「浜作」が誕生
 - カウンター割烹の発祥 → 東京、京都へ広がる



2. 大阪の食のポテンシャルについての考察(2)

- 大阪には「名物料理」が多数存在する
 - うどんすき、はりはり鍋、しゃぶしゃぶ、魚すき、きつねうどん
 - オムライス、お好み焼き、たこ焼き、串カツ、焼肉、大阪軒・・・
- しかし、ミシュランガイドでは東京、京都が優勢（）は日本料理店（旅館を含む）

	東京	京都	大阪
☆☆	14(5)	7(7)	4(3)
☆☆	55(24)	22(21)	16(7)
☆	175(47)	75(52)	76(35)
計	244(76)	104(80)	96(45)
- 世界のグルメ都市ランキングでも大阪の評価は高くない
 - 2011豪紙シドニー・モーニング・ヘラルド
 - ①東京 ②北京 ③ニューヨーク ④ブエノスアイレス ⑤シンガポール
 - 2011トリップアドバイザー・アジアランキング
 - ①バンコク ②香港 ③パリ（スミニャック） ④シンガポール ⑤札幌
 - ・・・⑦京都・・・⑨大阪
 - 以上から、大阪の食の魅力に対する評価は必ずしも一様でない。

3. 食のアンケートから見た大阪(1)

- そこで、在関西総領事館の皆さんに「大阪の食に関するアンケート」を実施
 - 同じ内容で「大阪府職員」「神奈川県職員」に同時実施（2013.7.し、大阪の食の強みと弱みを調査した。（いずれも初の試み）
- ＜アンケートⅠ＞ 在関西総領事館員 14ヶ国・77人（*男36人、女40人）
 - *性別記載なし1 大阪在住5年以上28人、5年未満48人
 - ・韓国23
 - ・中国・モンゴル9（中国5、モンゴル4）
 - ・その他アジア27（タイ7、インドネシア11、フィリピン8、パキスタン1）
 - ・欧米等18（アメリカ5、ドイツ2、イタリア2、オランダ3、ロシア3、オーストラリア2、パナマ1）
- ＜アンケートⅡ＞ 大阪府・神奈川県職員 69人（男40人、女29人）
 - 大阪府職員47人（男24人、女23人 大阪検定受験者多数）
 - 神奈川県職員22人（男16人、女6人 大阪在住経験2人のみ）
- 概要は以下のとおり。（アンケート内容及び結果詳細は別資料参照）

3. 食のアンケートから見た大阪(2)

- 大阪を「世界的な食の都市」と思うか
 - 総領事館で65%、大阪府で57%、神奈川県で14%（否定55%）
 - 肯定の「理由」としては

＜総領事館＞	＜大阪府＞
①コストパフォーマンスが高い	①料理の味がいい
②料理の味がいい	②コストパフォーマンスが高い
③昔から食い倒れのまちといわれている	③エリアごとに個性的な魅力
- 大阪で食べたもので好きなもの（好きなもの順に3つ）
 - ＜総領事館＞ ①すし107P ②ラーメン88P ③焼肉80P
 - ＜大阪府＞ ①お好み焼き107P ②うどん45P ③たこ焼き41P
 - ＜神奈川県＞ ①たこ焼き46P ②串カツ240P ③お好み焼き36P
 - ・総領事館はどの地域でも「すし」が1位、「ラーメン」はその他アジアで人気
 - ・「お好み焼き」は4位（インドネシアは0）、「たこ焼き」は6位
 - ・「焼肉」は韓国よりも「その他アジア」や「欧米等」で人気
 - ・大阪では「お好み焼き」がダントツ、神奈川は「串カツ」も人気

3. 食のアンケートから見た大阪(3)

＊大阪の名物料理で知っているもの、すすめたいもの（×知らないもの）

＜総領事館＞

- ・知っているもの（× はりはり鍋、関東炊き、大阪産食材）
①たこ焼き ②お好み焼き ③焼肉 ④しゃぶしゃぶ ⑤すき焼き
- ・自国の人にすすめたいもの
①お好み焼き ②たこ焼き ③しゃぶしゃぶ ④焼肉 ⑤すき焼き

＜大阪府＞

- ・知っているもの（×河内鴨）
①お好み焼き ②たこ焼き ③串カツ ④水ナス ⑤大阪ずし
- ・外国人にすすめたいもの
①お好み焼き ②たこ焼き ③串カツ ④カウンター割烹 ⑤きつねうどん

＜神奈川県＞

- ・知っているもの（×水ナス以外のお土産産食材、カウンター割烹）
①お好み焼き ②たこ焼き ③串カツ ④てっちり ⑤きつねうどん
- ・外国人にすすめたいもの
①たこ焼き ②お好み焼き ③串カツ ④きつねうどん
⑤てっちり、しゃぶしゃぶ、すき焼き

3. 食のアンケートから見た大阪(4)

＊大阪の食のエリア、施設で知っているもの、すすめたいもの（×知らないもの）

＜総領事館＞

- ・知っているもの（×あべのハルカス、大正、福島など）
①ミナミ ②鶴橋・生野 ③グランフロント ④天神橋筋商店街 ⑤新世界
⑥コナモンミュージアム
- ・自国の人にすすめたいもの
①ミナミ ②鶴橋・生野 ③コナモンミュージアム ④グランフロント ⑤新世界

＜大阪府＞

- ・知っているもの
①鶴橋・生野 ②新世界 ③法善寺横丁 ④北新地・ミナミ・天神橋筋商店街
- ・外国人にすすめたいもの
①法善寺横丁 ②新世界 ③ミナミ ④風門市場 ⑤インスタントラーメン記念館

＜神奈川県＞

- ・知っているもの（×福島、北浜テラス、中央市場、あべのハルカスなど）
①新世界 ②ミナミ ③法善寺横丁 ④北新地・鶴橋・生野
- ・外国人にすすめたいもの
①新世界 ②ミナミ ③鶴橋・生野 ④北新地 ⑤法善寺横丁・天神橋筋商店街

3. 食のアンケートから見た大阪(5)

＊食の魅力で海外から集客するための有効な取り組み

＜総領事館＞

- ①公的な多言語ガイドブック ②多言語表記等利用しやすさ
③夜景・水都を楽しめる水辺レストラン ④大阪城や歴史的建物の活用
⑤いけす料理などのエンタメ料理店

＜大阪府＞

- ①多言語表記等利用しやすさ ②食のコンシェルジュ ③大阪城や歴史的建物の活用
④公的な多言語ガイドブック ⑤夜景・水都を楽しめる水辺レストラン

＜神奈川県＞

- ①公的な多言語ガイドブック ①食のコンシェルジュ ③多言語表記等利用しやすさ
③大阪城や歴史的建物の活用 ⑤バリエーション・大阪食材の料理

＊大阪での食事の適当な価格(総領事館平均)

- ・欧米等はやや高いが、平均するとランチは約1000円、ディナーは約3000円
※参考（大阪 ランチ1100円、ディナー3900円）
（神奈川 ランチ1000円、ディナー3300円）

3. 食のアンケートから見た大阪(総括)

＊大阪の「世界的な食の都市」としての評価は「内弁慶」

＊大阪の「食」の強みは…【なんでも】【うまくて】【コスバよし】

「多様性」、だし文化に交えられた「うまみ」、高級料理から大衆料理までコストパフォーマンスの高さ

＊大阪「たこ焼き」「お好み焼き」が浸透(しすぎ?)

大阪の上質な食文化、大阪産食材の魅力、法善寺横丁などの情緒、高き日本一のハルカスなどの対外浸透はいまひとつ

＊大阪の「鍋もの」は府職員より外の評価が高い

＊各国総領事館員の共通の好物は「すし」、「ラーメン」
「大阪名物」ではないが「食」の魅力として欠かせない

＊在阪外国人が一番求めることは「多言語による情報提供」

＊イスラム圏は「ハラール認証」の拡充を強く要請(以下ヒアリング概要)

3. 食のアンケートから見た大阪(インドネシア総領事館ヒアリング)

＊インドネシアは国民の9割近くがイスラム教徒。食べ物も「ハラール」(イスラム法において合法なもの)であることが必須。

＊「お好み焼き」、「たこ焼き」を食べないのはソースにアルコール分が含まれていないか不安なことや、豚を調理した鉄板でお好み焼きを焼くことなどが理由。

＊魚貝類は原則ハラールで、「すし」は基本的にOKだが、回転ずしでは豚トロも使われていて、そういう店はダメ。フグは魚だが「毒」が怖くて食べない。

＊「そば」はそば粉からそのままつくられるので安全で人気。「うどん」も人気だが小麦粉からうどんを作る際の動物性油の使用が気になる。

＊ハラール認証で「焼肉」や「鍋」、「お好み焼き」なども安心して食べられる。

⇒急増するインドネシア、マレーシアからの来日客取り込みには

「ハラール認証」の拡大と「安心情報」の発信が急務

(2012年インドネシア・マレーシア訪日客数約24万人・うち大阪約7万人)

4. その他の研究活動

＊大阪商工会議所でのヒアリング実施(6月)

- ・大阪食彩ブランドプロジェクトチーム報告書について
- ・「食の都・大阪」推進会議の活動について
「食の都・大阪スタイル宣言」「食の都・大阪グランプリ」

＊大阪府環境農林水産部でのヒアリングの実施(8月)

- ・「大阪産」食材の活用と課題について
- ・「食博覧会」の開催状況と毎年開催の可能性について

＊現地調査の実施(5月～12月)

- 北極星(オムライス)、たこ焼きミュージアム、ふぐ博物館、食博、中央卸売市場北船場バル、カタンモワイナリー、ウメビーフ・犬鳴パーク、鶴橋・生野コリアンタウン、なにわ伝統野菜の料理、河内鴨料理、大阪産居酒屋、島之内ワイナリー、田尻漁港漁業体験と海鮮バーベキュー、北浜テラス、昭和町長屋レストラン、大正リトル沖縄、新世界串カツ、魚すき、グランフロント大阪、あべのハルカス、法善寺横丁、ミシュラン☆レストラン、カウンター割烹体験……

＊その他関連シンポジウムへの参加、参考文献による調査等を実施

5. 提言にあたって～「食」が地域の観光資源となる条件

- ①他地域にない「強み」があること(例 北海道「かに」、大間「まぐろ」・・・)
 - ・大阪は圧倒的な地域食材はない
 - ・また、京都、東京との棲み分けが必要
 - ⇒そこで、【なんでも】【うまくて】【コスバよし】の強みや「大阪名物料理」「個性的な食空間」「独自の食文化」などを売りにすべき
 - ②ストーリー性があること(例 下関フグ、佐世保バーガー・・・)
 - ・「くだおれ」の伝統、大阪発料理の由来、カウンター割烹発祥の地や「法善寺横丁」「お初天神」などの物語性を打ち出すべき
 - ③地域住民の共感があること(例 讃岐うどん、喜多方ラーメン・・・)
 - ・大阪人自身の自覚や誇りを高めること、そのために「食育」が重要
 - ④発信力があること
 - ・ネット、口コミ、世界的食イベント、他の観光資源との組み合わせによる継続的な発信が必要
- 上記①～④の視点、アンケート結果などを踏まえ、以下10大提言を行う。

33

6. 大阪を世界的な食の都市にするための10大提言(1)

- ①「くだおれ・OSAKA」で海外にも発信！
 - ・江戸時代からの伝統、ストーリー性があり、総領事館にも浸透している
 - ・京都(ブランド和食)、東京(グルメ都市)との差別化ができる
 - ・ココロは【なんでも】【うまくて】【コスバよし】トコトン「食」を楽しめるまち
- ②戦略的に「大阪の食文化」を売れ！
 - ・来阪誘導、団体客には「こなもん」、「串カツ」、「フードミュージアム」など
 - ・リピーター確保には「割烹体験」などより深みのある「食文化」体験を
 - ・外国人共通の好物「すし」「ラーメン」は大阪の強み・独自性を生かす
 - ・安くて・うまい寿司+「二寸六分の懐石」の「箱ずし」等大阪鮮のPR
 - ・「インスタントラーメン」発祥地の売り
 - ・「大阪ラーメン」ブランドを本格ラーメンに拡充 など
 - ・各国、各地域の嗜好に合わせた「くだおれツアー」を拡充する



34

6. 大阪を世界的な食の都市にするための10大提言(2)

- ③「なべ王国・大阪」を打ち出せ！
 - ・総領事館、他府県でも大阪の「なべ」は人気(特に肉系なべ)
 - ・大阪料理の原点、「だしのこだわり」「始末の精神」にも合致
 - ・「大阪6大鍋」を重点に売り込みを
 - 「てっちり」(ふぐ消費6割)、「しゃぶしゃぶ」(スエヒロ発祥)
 - 「魚すき」(丸萬発祥)、「うどんすき」(美々卯発祥)
 - 「すき焼き」(「焼き」のこだわり)、「はりはり鍋」(西玉水発祥)
- ④個性豊かな「食のエリア」を発信せよ！
 - ・「ミナミ」、「キタ」、焼肉の「鶴橋」、串カツの「新世界」、うまい寿司屋等が集まる「天神橋筋商店街」、「天満屋台エリア」、「路地裏グルメ福島」、「大正リトル沖繩」、「ウラななば」、「黒門市場」、「空堀商店街」、レトロ長屋の「中崎町」、「昭和町」、「あべのハルカス」、「グランフロント大阪」、「河内ワイナリー」・・・しかし「ミナミ」や「新世界」、「鶴橋」などのほかは知名度が低い
 - ⇒「エリア」としての発信、エリアをめぐる「着地型フードツアー」の拡充を



35

6. 大阪を世界的な食の都市にするための10大提言(3)

- ⑤大阪産(もん)料理を売り出せ！
 - ・世界で一番都心に近いワイナリー「河内ワイン」
 - ・ユニークな肉料理「犬鳴ポーク」・「うめビーフ」・「河内鴨」
 - ・新鮮な伝統野菜、果実「天王寺蕪」、「田辺大根」、「勝間南瓜」
 - 「毛馬胡瓜」、「服部越瓜」、「鳥飼茄子」、「大阪いちじく」等
 - ・活けの水産物「淀川ウナギ」、「幻の魚アコウ」、「ガッチョ」、「泉ダコ」等
- ⑥「水辺」と「歴史」を生かす！
 - ・水辺レストラン増設、「カキ船」の復活、道頓堀川「巨大いけす」の創設
 - ・大阪城天守閣、西の丸迎賓館、旧市博物館、中之島図書館などの活用
 - ・近代建築ビルを活用したレストラン
 - ・法善寺横丁、お初天神通りなど情緒ストーリーの売り出し
 - ・黒門市場など各市場界隈の売り出し
 - ・住吉大社、四天王寺門前、堺旧市街、富田林寺内町などの歴史的エリアでの食の発信



36

6. 大阪を世界的な食の都市にするための10大提言(4)

- ⑦ いつでも「食」を楽しめる【食祭都市】に
 - ・年中バルを楽しめる都市に
 - ・卸売市場の「オープン化」や地域ごとの「フード・ツーリズム」充実
 - ・4年に1度の「食博」を毎年定期開催に
 - ・「食の都・大阪グランプリ」作品の普及(デリス・レストランウィーク拡充)
- ⑧ 世界標準の環境整備と情報発信
 - ・多言語による「公的ガイドブック」や「くだおれマップ」の作成
 - ・各国のガイドブックへの記載売り込み
 - ・観光客の投票による大阪観光局認定「大阪くだおれ48」
 - ・各国総領事館「くだおれ特別大使」の委嘱
 - ・ドラマ、映画による発信
 - ・有名プロガー、ネット口コミ発信
 - ・メニューや店内案内の多言語化、図示、写真展示
 - ・ボランティア案内人、コンシェルジュの養成、ガイドツアーの充実
 - ・無料Wi-Fi環境の整備、翻訳アプリの普及
 - ・ハラル認証の拡大

37

6. 大阪を世界的な食の都市にするための10大提言(5)

- ⑨ くだおれ人材の育成(食育のススメ)
 - ・「大阪産食材」や「大阪名物料理」を学校給食に
 - ・大阪府立大学、大阪市立大学で「くだおれ学」を
 - ・大阪を世界的なフードコンテストの都市に
 - (「食の甲子園」実現、食の都大阪グランプリの拡大)
 - ・「大阪料理」修行の留学生の呼び込み(特区)
 - ・「食の海外留学促進奨学金」の創設
- ⑩ 関西全体で「世界NO1の美食ゾーン」に
 - ・「伝統和食」の京都、「神戸ビーフと洋菓子」の神戸とのタイアップ
 - ・さらには「鮮魚と果実」の和歌山、「近江牛、米、淡水魚」の滋賀、「伝統郷土料理」の奈良とも連携し、「関西美食ゾーン」を売りに！



*最後に

大阪の「食」は底力があるが、まだ魅力が十分浸透していない。まず、大阪の人自身が食の魅力を見つめなおし、発信することが大事。もちろん「食」のみで集客はできない。他の観光資源も組み合わせ、内外から多くの人を呼び込み、「にぎわう大阪」を地域が一体となり目指していくことが必要である。今回の研究、提言がその一助になれば幸いである。

38

大阪の「食」に関するアンケートⅠ（在関西総領事館） H25. 7

<調査概要>

在関西総領事館館員に対してH25年7～8月に「食」のアンケートを実施
有効回答数(77)を基に、男女別、地域別の属性について分析
地域別については、韓国(23)、中国(5)、モンゴル(4)、タイ(7)、インドネシア(11)
フィリピン(8)、オーストラリア(2)、パキスタン(1)、パナマ(1・性別不記載)
アメリカ(5)、ドイツ(2)、ロシア(3)、イタリア(2)、オランダ(3)
* 以下「その他アジア」はタイ、インドネシア、フィリピン、パキスタン
「欧米等」はアメリカ、ドイツ、ロシア、イタリア、オランダ、オーストラリア、パナマ

【Q1】大阪を世界的な「食の都市」だと思うか

		①思う	②思わない	③どちらともいえない	計
性別	男	25(69%)	6(17%)	5(14%)	36
(不明1)	女	24(60%)	7(18%)	9(23%)	40
日本滞在	10年以上	12(52%)	4(17%)	7(30%)	23
	10年未満	38(70%)	9(17%)	7(13%)	54
大阪滞在	5年以上	14(50%)	6(21%)	8(29%)	28
	5年未満	36(73%)	7(15%)	6(13%)	49
計		50(65%)	13(17%)	14(18%)	77
韓国		10(43%)	5(22%)	8(35%)	23
中国・モンゴル		8(89%)	1(11%)	0(0%)	9
その他アジア		23(85%)	2(7%)	2(7%)	27
欧米等		9(50%)	5(28%)	4(22%)	18

- ・トータルでは65%が肯定(府職員57%より高い)
- ・男女別ではやや女性の評価が厳しい
- ・日本や大阪での滞在年数別では滞在期間の長い人の方が評価は厳しい
- ・地域別では「中国・モンゴル」や「その他アジア」で肯定の比率が高い

【Q1-2】大阪を世界的な「食の都市」だと思う理由

<総計>

- 1位 35 コストパフォーマンスが高い
- 2位 31 料理の味おいしい
- 3位 26 昔から「食い倒れのまち」といわれている
- 4位 21 伝統的割烹料理などの和食が魅力的
- 5位 19 世界各国のバラエティーに富んだ料理

<韓国>

- 1位 5 コストパフォーマンスが高い
- 1位 5 料理の味おいしい
- 1位 5 世界各国のバラエティーに富んだ料理

<中国・モンゴル>

- 1位 7 コストパフォーマンスが高い
- 1位 7 昔から「食い倒れのまち」
- 3位 6 料理の味おいしい

<その他アジア>

- 1位 17 コストパフォーマンスが高い
- 2位 15 料理の味おいしい
- 3位 13 昔から「食い倒れのまち」

<欧米等>

- 1位 6 コストパフォーマンスが高い
- 2位 5 料理の味おいしい
- 2位 5 エリアごとに個性的魅力

- ・コストパフォーマンスは全地域でトップ。「味」「食い倒れ」も浸透している
- ・割烹料理等と和食の魅力は中国、韓国の評価は低い、フィリピンは8人全員が支持
- ・欧米等では「エリアごとに個性的魅力」が第3位に

【Q2】世界的な「食の都市」と思うところはどこか（＊注1）

＜総計＞

（世界）

1位	19	フランス・パリ等
2位	18	イタリア・ローマ等
3位	16	中国・香港等
4位	13	タイ・バンコク等
5位	8	アメリカ・ニューヨーク等

（日本国内）

1位	31	大阪
2位	17	東京
3位	8	北海道
4位	5	京都
4位	5	神戸

＜韓国＞

（世界）

1位	8	中国・香港等
2位	6	フランス・パリ等
3位	5	イタリア・ローマ等

（日本国内）

1位	8	大阪
2位	4	北海道
3位	3	東京

＜中国・モンゴル＞

（世界）

1位	4	中国・北京等
2位	3	イタリア
3位	1	バンコク・ウランバートル

（日本国内） ＊注2

1位	2	大阪
2位	1	東京・新潟

＜その他アジア＞

（世界）

1位	10	タイ・バンコク
2位	6	フランス・パリ
3位	5	中国・香港

（日本国内）

1位	15	大阪
2位	4	東京
3位	2	北海道・神戸

＜欧米等＞

（世界）

1位	6	フランス・パリ
2位	5	アメリカ・ニューヨーク等
3位	4	シンガポール

（日本国内）

1位	9	東京
2位	6	大阪
3位	3	京都・神戸

＊注1 国名での回答が多かったため、原則国別総計で記載

＊注2 Q1－2で大阪が世界的な食の都市と回答しているため、この欄の回答数は少ない

- ・世界ではパリを中心としたフランス、ローマ等のイタリア、香港・北京などの中国がベスト3
- ・その他アジアではタイ・バンコク、欧米ではニューヨーク、シンガポールの評価が高い
- ・在関西総領事館でのアンケートであるため、日本国内では大阪が圧倒している
- ・京都は全般的に予想よりすくなく、欧米等では国内トップが東京となった

【Q3】大阪で食べたもので好きな食べ物は（上位3つ 1位×5P、2位×3P、3位×1Pで算出）

＜総計＞

1位 184P すし

2位 88P ラーメン

3位 80P 焼肉

(4位 68P うどん)

(4位 68P お好み焼き * たこ焼きは6位35P)

＜韓国＞

1位 54P すし

2位 26P お好み焼き

3位 25P ラーメン

＜中国・モンゴル＞

1位 28P すし

2位 14P お好み焼き

3位 10P カニ

＜その他アジア＞

1位 64P すし

2位 49P ラーメン

3位 44P 焼肉

＜欧米等＞

1位 38P すし

2位 21P お好み焼き

3位 19P 焼肉

- ・「すし」は各地域ごとでも1位で、他を圧倒
- ・2位は「ラーメン」はアジア、とりわけタイ、フィリピンで人気
- ・3位「焼肉」はその他アジアや欧米等で支持が高く、本場韓国ではそれほど支持されていない
- ・4位「うどん」は韓国で22P、その他アジア(特にフィリピン)で30Pと評価されている
- ・大阪の代名詞「たこ焼き」は「おいしいもの」としては振るわず35P・6位
- ・「お好み焼き」は各地域で上位だが、その他アジアで支持が少なく、特にインドネシアは0
これは宗教上の制約の影響と考えられる(ソース、豚肉)

【Q4】大阪名物で知っているもの

＜総計＞

1位	65	たこ焼き
2位	64	お好み焼き
3位	57	焼肉
4位	50	しゃぶしゃぶ
5位	48	すき焼き

＜韓国＞

1位	21	たこ焼き
2位	19	お好み焼き
3位	17	豚まん
4位	16	串カツ
5位	12	きつねうどん

＜中国・モンゴル＞

1位	8	たこ焼き
2位	7	お好み焼き
3位	6	焼肉
3位	6	すき焼き
5位	5	きつねうどん
		しゃぶしゃぶ
		串カツ

＜その他アジア＞

1位	25	焼肉
2位	22	たこ焼き
2位	22	しゃぶしゃぶ
2位	22	すき焼き
4位	22	お好み焼き

＜欧米等＞

1位	16	お好み焼き
1位	16	しゃぶしゃぶ
3位	14	たこ焼き
4位	14	すき焼き
5位	13	焼肉

【Q4-2】大阪名物で食べたことがあるもの

＜総計＞

1位	56	たこ焼き
1位	56	お好み焼き
3位	55	焼肉
4位	52	しゃぶしゃぶ
5位	51	すき焼き

＜韓国＞

1位	21	お好み焼き
1位	21	串カツ
1位	21	豚まん
4位	20	たこ焼き
5位	19	きつねうどん

＜中国・モンゴル＞

1位	8	たこ焼き
1位	8	すき焼き
3位	7	お好み焼き
3位	7	焼肉
3位	7	きつねうどん

＜その他アジア＞

1位	18	焼肉
1位	18	しゃぶしゃぶ
3位	17	たこ焼き
3位	17	お好み焼き
5位	13	すき焼き

＜欧米等＞

1位	12	すき焼き
2位	11	たこ焼き
2位	11	お好み焼き
2位	11	しゃぶしゃぶ
5位	10	焼肉

- ・認知度、経験度とも定番の「たこ焼き」「お好み焼き」が上位を占め、大阪＝コナモンが海外にも浸透しているが、両者とも認知度が経験度を上回っている
- ・「焼肉」は「おいしいもの」でもベスト3で認知度、経験度で3位に入ったが韓国では6位以下
- ・「しゃぶしゃぶ」、「すき焼き」といった「肉系鍋物」が認知度、経験度ともベスト5に入った
- ・認知度が1ケタと低いものは「はりはり鍋」「関東だき」や「犬鳴ポーク」「河内鴨」「河内ワイン」といった大阪産食材であった

【Q4－3】大阪名物で自国の人にすすめたいもの(1位5P、2位4P、3位3P、4位2P、5位1P)

＜総計＞

1位 150P お好み焼き
2位 139P たこ焼き
3位 97P しゃぶしゃぶ
4位 87P 焼肉
5位 72P すき焼き

＜韓国＞

1位 49P お好み焼き
2位 37P たこ焼き
3位 36P 串カツ
4位 23P すき焼き
5位 22P てっちり

＜中国・モンゴル＞

1位 21P たこ焼き
2位 17P お好み焼き
3位 15P 焼肉
4位 14P しゃぶしゃぶ
5位 12P てっちり

＜その他アジア＞

1位 62P たこ焼き
2位 44P お好み焼き
3位 43P しゃぶしゃぶ
4位 40P 焼肉
5位 30P すき焼き

＜欧米等＞

1位 40P お好み焼き
2位 30P しゃぶしゃぶ
3位 22P 串カツ
4位 19P たこ焼き
5位 18P 大阪ずし

- ・自国の人にすすめるものは「コナモン」の「お好み焼き」、「たこ焼き」が1位、2位
- ・地域別でも、「コナモン」は上位だが、韓国、欧米では「お好み焼き」、中国・モンゴル
その他アジアでは「たこ焼き」が1位となった
- ・韓国、中国・モンゴルでは「てっちり」が5位に、欧米等では「大阪ずし」が5位に入った
- ・「しゃぶしゃぶ」や「すき焼き」といった肉系鍋物も各地域でベスト5に入った
- ・一定認知されながらおすすめ度が低いのは「すっぽん鍋」「かやくごはん」であった

【Q5】大阪の食のエリア、施設で知っているところ

＜総計＞

1位	61	道頓堀・宗右衛門町・島之内(以下「ミナミ」)
2位	45	鶴橋焼肉・生野コリアンタウン(以下「鶴橋・生野」)
3位	40	グランフロント大阪
4位	35	天神橋筋商店街
5位	33	新世界 コナモンミュージアム

＜韓国＞

1位	22	鶴橋・生野
2位	21	新世界
3位	20	ミナミ
4位	19	法善寺横丁
5位	17	黒門市場

＜中国・モンゴル＞

1位	8	ミナミ
2位	6	コナモンミュージアム
3位	5	鶴橋・生野 天神橋筋商店街 グランフロント大阪

＜その他アジア＞

1位	26	ミナミ
2位	16	グランフロント大阪
2位	16	コナモンミュージアム
4位	15	鶴橋・生野
5位	14	たこ焼きミュージアム

＜欧米等＞

1位	11	グランフロント大阪
2位	7	ミナミ
3位	6	天神橋筋商店街
3位	6	コナモンミュージアム
5位	5	北新地 たこ焼きミュージアム

- ・総計では「ミナミ」がトップ 「北新地」は欧米等で5位だが、総計では7位にとどまる
- ・「ミナミ」はすべての地域でベスト3以上 韓国は「鶴橋・生野」が1位になった
- ・「グランフロント大阪」は総計で3位、欧米等で1位になったが、「あべのハルカス」は総計14位
- ・韓国では「法善寺横丁」や「黒門市場」がベスト5に入ったが、他地域では認知度は高くない
- ・道頓堀の「コナモンミュージアム」が総計の5位、3地域でベスト5入り、ユニバーサルシティーの「たこ焼きミュージアム」もその他アジアや欧米で5位に入った
- ・一方、天保山「なにわ食いしん坊横丁」は9位、池田「インスタントラーメン発明記念館」は15位
- ・認知度が1ケタは「大正リトル沖縄」「路地裏グルメ福島」「岸和田ふぐ博物館」であった

【Q6】大阪の食のエリア、施設で自国の人にすすめたいところ
(1位5P、2位4P、3位3P、4位2P、5位1P)

＜総計＞

- 1位 176P 道頓堀・宗右衛門町・島之内(以下「ミナミ」)
- 2位 97P 鶴橋焼肉・生野コリアンタウン(以下「鶴橋・生野」)
- 3位 69P コナモンミュージアム
- 4位 60P グランフロント大阪
- 5位 57P 新世界

＜韓国＞

- 1位 63P 鶴橋・生野
- 2位 33P 新世界
- 3位 32P ミナミ
- 4位 28P 黒門市場
- 5位 23P 法善寺横丁

＜中国・モンゴル＞

- 1位 29P ミナミ
- 2位 14P コナモンミュージアム
- 3位 12P グランフロント大阪
- 4位 9P 北浜テラス
- 5位 8P 鶴橋・生野

＜その他アジア＞

- 1位 96P ミナミ
- 2位 51P コナモンミュージアム
- 3位 26P 鶴橋・生野
- 4位 25P グランフロント大阪
- 5位 20P なにわ食いしん坊横丁

＜欧米等＞

- 1位 19P ミナミ
- 2位 15P たこ焼きミュージアム
- 3位 13P 北新地
- 4位 10P 新世界
天神橋筋商店街
グランフロント大阪

- ・総計順位はQ5「認知度」と大きく異ならないが、「コナモンミュージアム」は「おすすめ度」がやや高くなっている
- ・地域別では、韓国で「鶴橋・生野」が1位、その他の地域では「ミナミ」が1位であった
- ・韓国では「黒門市場」「法善寺横丁」、中国・モンゴルでは「北浜テラス」がベスト5に入ったが他地域では「認知度」が低く、「おすすめ度」も高くない
- ・「中国・モンゴル」「その他アジア」で「コナモンミュージアム」のおすすめ度が2位に 欧米等で「たこ焼きミュージアム」が2位、「なにわ食いしん坊横丁」が「その他アジア」で5位に入るなど食のミュージアムのおすすめ度が高い

【Q7】食の魅力で海外から集客するために有効な取り組み

＜総計＞

1位	56	公的な多言語ガイドブックの作成
2位	43	多言語表記等利用しやすい料理店
3位	42	夜景・水都を楽しめる水辺レストラン
4位	29	大阪城や歴史的建物の活用したレストラン
5位	25	いけす料理などのエンタメ料理店

＜韓国＞

1位	14	公的な多言語ガイドブック
2位	11	水辺レストラン
3位	8	エンタメ料理店
3位	8	大阪城・歴史的建物活用
3位	8	バルイベント
3位	8	多言語表記

＜中国・モンゴル＞

1位	8	水辺レストラン
2位	7	公的な多言語ガイドブック
2位	7	多言語表記
4位	5	総領事館ツアー
4位	5	地元産ワイン、酒

＜その他アジア＞

1位	23	公的な多言語ガイドブック
2位	17	多言語表記
3位	12	大阪城・歴史的建物活用
4位	11	食情報のコンシェルジェ
5位	10	エンタメ料理店

＜欧米等＞

1位	14	水辺レストラン
2位	12	公的な多言語ガイドブック
3位	11	多言語表記
4位	8	地元産ワイン、酒
5位	7	市場の見学ツアー

- ・総計では、1位に「公的な多言語ガイドブック」、2位に「多言語表記等の料理店」と多言語による情報提供が有効との意見が多かった
- ・総計3位の「水辺レストラン」は、地域別でも中国・モンゴルと欧米等で1位、韓国で2位に入った
- ・中国・モンゴルと欧米等では「地元産ワイン、酒」が4位に入った

【Q8】大阪での食事の適当な価格(平均額・1円未満四捨五入)

	ランチ	ディナー
韓国	943	2748
中国	960	3000
モンゴル	725	1263
フィリピン	943	1938
タイ	1279	3143
インドネシア	1184	3059
アメリカ	1400	4640
ドイツ	1500	3250
オランダ	1267	2533
イタリア	1400	3250
ロシア	467	833
オーストラリア	1250	4375
総平均	1081	2828
(総平均にはパキスタン1、パナマ1を含む)		

- ・トータルではランチ1000円、ディナー3000円が相場
- ・地域的には欧米が高いが、タイ、インドネシアも比較的高い

国名	性別	日本在住年数	大阪在住年数	大阪が世界的な食の都市になるためにご意見があれば自由にお書きください。
韓国	男	13	11	南港という広い土地を活用する。大阪市や周辺のミュージアムなどの文化施設を南港に集合させ、1日のツアーが成立するくらいの生活圏を作り、食のミュージアムと融合させる。
韓国	女	8	4	韓国にないような海外有名レストランと日本料理が食べれるところがあればうれしいです。観光客だったらぜひ行ってみたいのではないのでしょうか。
韓国	男	6	6	価格の表示や初めての人、外国人も料理が分かるような絵や写真があれば良いと思います。
韓国	女	14	14	カタカナより英語そのもので書いた方がいいと思います。
韓国	女	48	48	メニューに写真などをつけて、言葉や字がわからなくても注文できるようにする。料理プラス何かしら楽しいイベントを考えて、知らない者同志でも、気軽にコミュニケーションできるようにすればいいかと思う。
韓国	女	13	13	最近、なんば(道頓堀)付近を歩くと観光客が多いですがその割にはインフォメーションが少ないと思います。インフォメーションを増やして、遊び(見る、体験するなど)ガイドブック、食べ歩きガイドブックなどを配るなど、大阪を訪問する人々が喜ぶようなことができれば世界中に大阪を知らせたいと思います。
韓国	男	25	25	多言語で書かれた料理案内ガイドブックを観光客に提供すれば、大阪自慢の料理が食べれて広報にもなると思う。川辺の景色をながめれる野外レストランをもっと増やしてほしい。
韓国	女	10	10	外国人へのびみょうな差別をなるべくなくした方がいいと思う。
フィリピン	男	2.5	2.5	集客のためには、日本や大阪の文化的なユニークさを薄めない工夫をしながら、より多くの英語を話せる人員をレストランに配置することや英語の標識やメニューを設置する必要がある。旅行者たちは日本らしい文化や歴史を楽しみたいと考えているが、やはり滞在中食べたいもの、買いたい物、どこへ行って何をしたいかを伝えられれば助かると考えているはず。旅行者たちはWiFiをいつも必要としているので、できれば無料でWiFiを提供すべき。もしWiFiアクセスがあれば、思った時にすぐSNSにチェックインして写真を投稿することができる。
フィリピン	男	14	14	大阪は美しく、交通の便も良く、人々は温かくて友好的で礼儀正しく、もうすでに旅行者にやさしい都市だと思う。よりよくするためにできる事は恐らく世界共通語(英語)でのコミュニケーションが図れるようになること。これは世界に名だたる“食の都”になる上で大きなプラスになると思う。
フィリピン	男	0.5	0.5	大阪と日本それぞれの最高な料理、ユニークな料理を紹介する食の大フェスティバルを催す。
フィリピン	女	3	3	いろいろな料理とバンドのライブ演奏が楽しめるエンターテインメントレストラン
インドネシア	男	3.8	3.8	より多くのガイドやインフォメーションを英語で、またいろいろな場所で利用できるようにする。
インドネシア	男	3	3	ムスリムのための特別メニュー(ハラールフード)があれば良いと思う。ハラールフードのマークがついたアルコールや豚肉などが無い。
インドネシア	女	4ヶ月	4ヶ月	世界中からの料理をもっと前面に押し出す。
インドネシア	女	20	17	大阪の食、食いだおれ文化の紹介をする。
インドネシア	女		2ヶ月	英語を理解し、話せるウェ이터をもう少し増やしてください。そうすれば(外国人の)客がレストランにある素晴らしい料理をもっといろいろ楽しめるはずです。
インドネシア	男	2	2	メニューを英語や他の外国語で提供しているレストランが大阪には少ないので、外国人にとって注文が難しいものになっています。すべてのレストランに英語または外国語のメニューを設置することを提案します。
インドネシア	男	2.5	2.5	・もっと旅行者に親切なメニューを(日英併記) ・レストランに英語の話せるスタッフを ・もっとウェスタンスタイルの朝食を(大阪ではちょっと見つけにくい)
インドネシア	男	20	18	大阪(府または市)は食文化をもっと世界に発信すべき。“大阪フードフェア”というような催しがインドネシアで開かれたなどというのは聞いたことがない。インドネシアにある日本大使館/領事館と協力し、少なくとも中韓だけでなく東南アジアや西アジアなどの海外に売り込んでいくべきだと思う。幸運を祈ります。
インドネシア	女	4	4	大阪への旅行者や、すでに在住している外国人がもっと簡単に注文できるよう、メニューの英語化、多言語化を是非お願いしたいです。そうすれば大阪の素晴らしい食だけでなく“外国人に優しい”雰囲気知られるようになると思います。外国語メニューを作ることはそれほど難しいことではないと思います。すでにいくつかのレストランでは用意されているのを見ることがあります。その調子で頑張って欲しいと思います。ありがとう、大阪！

国名	性別	日本在住年数	大阪在住年数	大阪が世界的な食の都市になるためにご意見があれば自由にお書きください。
パキスタン			0.5	・観光推進 ・旅行者へのビザ緩和 ・言語の壁を最小限に。英語を話すことで世界の人たちを大阪に来たい気持ちにさせる。
中国	女	1	1	おいしくて、正統派のスパイシーな中華料理レストランができることを望みます。
モンゴル	女	6	3	伝統的な日本料理の料亭などはすべてのメニューと説明が日本語のみで書かれている。そうだと選択肢が非常に狭められてしまうので、少なくともメインの料理には簡潔な説明をつけることを提案したい。
アメリカ	女	1	1	英語を話す(常連)客のための1週間(またはそれ以上)設けるなどして欲しい。ハッピーアワーもあれば。
アメリカ	女	3	2	英語のメニューを設置すべきです。フードブロガーを招待して大阪の食について書いてもらうなども。ただ、何よりも重要なのは英語メニュー。基本的に皆無です！
アメリカ	男	6	1	ウェブサイトからの情報をすべて引き出せるスマホアプリ。および注目レストランのディスカウントクーポン。アプリで魅力やレストランについてのアンケート。海外のすし店で“大阪寿司”の周知を図るのはどうか。たとえば(海外の)ステーキハウスでは“神戸ビーフ”、ピザ屋では“シカゴスタイル・ディープディッシュ・ピザ”などの宣伝がある。
オランダ	男	1	1	大阪は遊びも食も豊富で、質の高い街。しかしながら、もっともっと外国人訪問者が利用しやすくすべき。レストランがどこにあるか分からない時もあり、またレストランでもどんな料理が提供されているのかも不明瞭。レストランの従業員のほとんどが英語を話せない。冒険好きな人にとって大阪の食を楽しむ機会はあるそうだが、旅行者のほとんどにはその良さを十分に引き出せず、本当の意味で楽しめていないと思う。
イタリア	男	5ヶ月	5ヶ月	観光産業における英語能力の低さが問題。
イタリア	男	2	2	私の観点からすれば、一番大切なのはウェ이터が英語を話すべきであるということ。そうすれば様々な料理について、日本語のわからない客に説明ができる。誰も英語が話せない、英語のメニューもない…ストレス溜まります！！
オーストラリア	女	16	16	・海外の旅行番組で大阪を扱ってもらえるよう手配する。 ・資格のある海外のジャーナリストを招聘して大阪らしいユニークなガイドツアーに参加してもらう。 ・海外のグルメ番組でも大阪を紹介してもらうようにする。
パナマ	男	2.5		外国からの旅行者(に)友好的なレストラン。多言語のメニュー。複数言語の話せるスタッフ。

大阪の「食」に関するアンケートⅡ（国内） H25. 7

* 調査対象

大阪府職員 47人(男24人、女23人 大阪検定受験者多数)
 大阪府在住0～56年 大阪府在職1～34年
 神奈川県職員 22人(男16人 女6人)
 大阪府在住18年1人、2年1人、その他在住経験なし

【Q1】大阪は世界的な「食」の都市か？

<大阪府>

		①	②	③	計
性別	男 24	12 (50%)	4 (17%)	8 (33%)	24
	女 23	15 (65%)	4 (17%)	4 (17%)	23
計		27 (57%)	8 (17%)	12 (26%)	47
大阪在住・ 在職期間	5年以上	26	7	12	45
	5年未満	1	1	0	2

<神奈川県>

		①	②	③	計
性別	男 16	3 (19%)	10 (63%)	3 (19%)	16
	女 6	0 (0%)	2 (33%)	4 (67%)	6
計		3 (14%)	12 (55%)	7 (32%)	22
大阪在住・ 在職期間	2年以上	0	1	1	2
	2年未満	1	21	21	22

- ・大阪府では57%が肯定しているが、神奈川県では肯定は14%、否定が55%と過半数を超えた。
- ・男女区分では大阪府では女性のほうが肯定の比率が高い
- ・大阪在住・在職の期間による差異は明確ではないが、神奈川県の調査対象者はほとんどが大阪在住・在職の経験はなかった。

【Q1-2】大阪を世界的な食の都市と思う理由

<大阪>

総計

1位	21	料理の味おいしい
2位	18	コストパフォーマンスが高い
3位	15	エリアごとに個性的な魅力
4位	12	昔から「食い倒れの街」
5位	9	世界各国バラエティー豊富
5位	9	割烹料理等和食の魅力

男

1位	9	料理の味おいしい
1位	9	エリアごとに個性的な魅力
3位	7	コストパフォーマンスが高い
4位	5	世界各国バラエティー豊富
4位	5	昔から「食い倒れの街」

女

1位	12	料理の味おいしい
2位	11	コストパフォーマンスが高い
3位	7	昔から「食い倒れの街」
4位	6	割烹料理等和食の魅力
4位	6	エリアごとに個性的な魅力

- ・男女とも1位は「料理の味おいしい」
- ・総合2位には「高級料理から庶民的な料理までコストパフォーマンスが高い」が選ばれた
- ・総合3位は「エリアごとに個性的な食の魅力がある」点が評価されている
- ・女性では4位に「割烹料理等和食の魅力」が入った

<神奈川> 対象数が少なく、参考数値

1位	2	昔から「食い倒れの街」
2位	1	エリアごとに個性的な魅力
2位	1	お店の人の雰囲気・対応がいい
2位	1	大阪でしか味わえないものがある
2位	1	大阪名物と言われる食べ物が多い

【Q2】世界的な食の都市と思うのはどこか

<大阪>

(世界)		(日本国内)	
1位	19	パリ	1位 25 東京
2位	6	ローマ	2位 17 北海道(札幌・函館)
2位	6	上海	3位 15 京都
4位	5	北京	4位 12 福岡(博多)
4位	5	香港	5位 5 名古屋
4位	5	台湾	

- ・世界ではパリがダントツ うち女性は12と圧倒的支持
- ・イタリアはローマのほかにもナポリ4、ミラノ3など支持が多い
- ・中国系は台湾も含むと国別でイタリアと同数の2位 男性の支持が多い
- ・日本国内では男女とも東京が圧倒
- ・北海道(含む札幌・函館)は男性の支持が多く、京都は女性の支持が多い

<神奈川>

(世界)		(日本国内)	
1位	8	パリ	1位 12 東京
2位	5	北京	2位 11 北海道(札幌・函館)
3位	4	上海	3位 6 京都
3位	4	ニューヨーク	4位 3 名古屋
5位	2	リヨン	5位 2 福岡・博多
		台湾	神戸
			横浜

- ・世界では大阪同様パリが1位
- ・中国系の支持が多く、国別では中国がフランスを抑えて1位
- ・国内ではやはり東京がダントツ 地元横浜は2票にとどまる

【Q3】大阪で食べたもので好きなもの (1位×5P、2位×3P、3位×1P)

<大阪>

1位	107P	お好み焼き
2位	45P	うどん
3位	41P	たこ焼き
4位	34P	すし
5位	29P	焼き肉

<神奈川>

1位	46P	たこ焼き
2位	40P	串カツ
3位	36P	お好み焼き
4位	10P	うどん
5位	3P	割烹等和食

- ・大阪は男女とも「お好み焼き」がダントツ 「うどん」が2位で、「たこ焼き」は3位
- ・7位だが「割烹等和食」に20Pが入るなど、大阪の和食も一定評価
- ・神奈川では定番の「たこ焼き」「串カツ」「お好み焼き」がベスト3に
- ・神奈川で2位の「串カツ」は大阪では21Pで6位

【Q4】大阪名物で知っているもの

<大阪>

1位	47	お好み焼き
1位	47	たこ焼き
3位	45	串カツ
3位	45	水ナス
5位	43	大阪ずし

【Q4-2】名物料理で食べたことがあるもの

<大阪>

1位	47	お好み焼き
2位	47	たこ焼き
3位	45	水ナス
4位	44	串カツ
5位	41	豚まん

- ・大阪に関心のある対象者であるため、認知度・経験度も高く、定番の「お好み焼き」「たこ焼き」は全員が大阪名物と認知し、実際食べた経験がある
- ・全国ブランドになった「水ナス」は認知度、経験度ともに3位、伝統的な名物の「大阪ずし」が5位に入り、「河内ワイン」40Pや「なにわ伝統野菜」37Pなど「大阪産」の認知度も高いが「河内鴨」は19Pと認知度が低い
- ・経験度では「大阪ずし」に変わり「豚まん」が5位に入った

【Q4】大阪名物で知っているもの

<神奈川>

1位	22	お好み焼き
1位	22	たこ焼き
3位	17	串カツ
4位	14	てっちり
5位	10	きつねうどん

【Q4-2】名物料理で食べたことがあるもの

<神奈川>

1位	22	たこ焼き
2位	21	お好み焼き
3位	16	串カツ
4位	10	きつねうどん
5位	5	てっちり

- ・認知度では定番が上位を占めるが、「てっちり」が4位に入っている(大阪では6位)
- ・「水ナス」「大阪ずし」以外の大阪産食材、ワイン、カウンター割烹などはほとんど知られていない

【Q4-3】名物料理で外国人旅行者にすすめたいもの(1位5P,2位4P,3位3P,4位2P,5位1P)

<大阪>

1位	122P	お好み焼き
2位	108P	たこ焼き
3位	59P	串カツ
4位	41P	カウンター割烹
5位	37P	きつねうどん

<神奈川>

1位	61P	たこ焼き
2位	47P	お好み焼き
3位	45P	串カツ
4位	13P	きつねうどん
5位	12P	てっちり
		しゃぶしゃぶ
		すき焼き

- ・「お好み焼き」「たこ焼き」「串カツ」が上位を占めるが、大阪は「お好み焼き」が1位
- ・神奈川は「たこ焼き」が1位となっている
- ・大阪では大阪発祥といわれる「カウンター割烹の料理」が4位に
- ・神奈川では5位に「てっちり」「しゃぶしゃぶ」「すき焼き」の鍋料理が入った

【Q5】大阪の食の集積地、食の施設で知っているもの

【Q6】大阪の食の集積地、食の施設で外国人旅行者におすすめするもの
(1位5P,2位4P,3位3P,4位2P,5位1P)

<大阪>

Q5知っているもの

1位 46 鶴橋・生野
1位 46 新世界
3位 43 法善寺横丁
4位 42 北新地
ミナミ
天神橋商店街

Q6すすめるもの

1位 125P 法善寺横丁
2位 108P 新世界
3位 59P ミナミ
4位 53P 黒門市場
5位 45P インスタントラーメン記念館

※「道頓堀・宗右衛門町・島之内」は「ミナミ」と表記

- ・「知っているもの」ではインパクトの強い鶴橋焼肉・生野コリアンタウン、新世界がともに1位
- ・「外国人へのおすすめ」は「法善寺横丁」が1位、4位に黒門市場、5位にインスタントラーメン記念館が入っており、認知度の順位とは異なっている
- ・大阪では「ふぐ博物館」以外は半数以上が認知されているが、「コナモンミュージアム」が28
「たこ焼きミュージアム」は25と意外に認知度が低い

<神奈川>

Q5知っているもの

1位 16 新世界
1位 16 ミナミ
3位 8 法善寺横丁
4位 7 北新地
鶴橋・生野

Q6すすめるもの

1位 41P 新世界
2位 30P ミナミ
3位 15P 鶴橋・生野
4位 12P 北新地
5位 8P 法善寺横丁
天神橋商店街

- ・神奈川では認知、おすすめともに「新世界」がNO1
- ・福島、北浜テラス、中央市場は認知者0、グランフロントやハルカスもほとんど認知されていない

【Q7】食の魅力で海外から集客するための有効な取り組み

＜大阪＞

1位	27	多言語表記等利用しやすさ
2位	25	食のコンシェルジェ
3位	24	大阪城、歴史的建物活用
4位	21	公的な多言語ガイドブック
5位	20	水辺レストラン

＜神奈川＞

1位	10	公的な多言語ガイドブック
1位	10	食のコンシェルジェ
3位	7	大阪城、歴史的建物活用
		多言語表記等利用しやすさ
5位	6	バルイベント
		大阪食材の料理

- ・大阪、神奈川とも、「多言語表記」や「ガイドブック」、「コンシェルジェ」など情報提供が上位に
- ・「大阪城や歴史的建物の活用」は共通だが、大阪では「水辺レストラン」、神奈川では「バル」や「大阪食材の料理」が上位に

【Q8】大阪での食事の適当な価格（平均額100円未満四捨五入）

＜大阪＞

ランチ	1100円
ディナー	3900円

＜神奈川＞

ランチ	1000円
ディナー	3300円

- ・「食」への支出金額は大阪がやや大きい

自由意見＜大阪＞

性別	大阪在住	大阪在住	自由意見概要
男	43	20	様々な観光ツールを駆使した魅力発信 人情味に触れてもらえる体験型ツアー
男	29	29	アニメキャラを活用し、大阪産レストランや割烹を巡る「萌えイベント」
男	32	11	集客できている観光地に食を提供できる場所を 例えば大阪城マルシェ
男	35	16	子供たちが大阪の食文化に触れる機会を増やす
男	36	12	奈良や京都など近隣都市と連携したツアー企画
男	32	7	常設の屋台村
男	37	11	食に関するイベント、外国人が利用しやすい多言語表示、ガイドブックの整備、バルイベントの活用
男	45	22	トータルな目標を設定。府民一人一人が気持ちを持ち共有 マーケティングリサーチ
男	56	34	旅行ガイドや発信力のある人へのアプローチ、多言語ガイド・コンシェルジェ、歴史的建物・水辺活用、ロコミ
男	39	21	関空行国際便の機内食に大阪名物を だし文化の積極的発信
男	32	27	〇〇なら大阪というように東京との差別化を図る まず集客都市に
男	26	2	海外においても集客PRをすべき
男	11	23	地元の食材、国内のええもんを使用した伝統的日本料理の再興、世界のええものの情報発信
男	29	29	食博覧会を毎年開催する 食のイベントで海外からの食も取り入れるとともにご当地グルメをPR
男	48	25	アジアチックな混沌・雑然とした雰囲気と洗練された場所のどちらもセレクトできる多様な街空間
男	42	24	世界的な観点で見た場合の情報発信
男	2	2	大阪独自の食べ物、文化を前面に 外国にない粉ものやソース文化、立体看板などの外観、食品サンプルなど
女	30	6	大阪名物料理のストリート、台湾の夜市のような屋台
女	42	21	まち全体としてフレンドリーに接する土台、食事のあとの楽しめる場所、遅くまで利用できる公共交通機関
女	31	9	海外特派員によるPR、海外で発売されているガイドブックへの掲載
女	24	1	店主とのコミュニケーションや人と話しながらの食事を楽しめるオープンな雰囲気、気軽に店に入れる仕組み
女	30	11	初めてでも入りやすい案内、ホテルからの予約、夜遅くても食事ができる店、観光スポットとの連携、参加型イベント、料理の持ち帰り、見た目を楽しめる料理、静かで落ち着く雰囲気
女	7	1	粉もんイメージの払しょく(高級で美味しいものがたくさんあることをPR)、他の観光資源との連携
女	-	25	伝統と歴史に根付いた食文化を身近に提供できるようにサポートの必要性あり
女	41	20	海外のガイドブックや検索サイトで大阪の食を発信
女	45	30	ガイドブック・WEB・ロコミサイトの活用、宿泊ホテルへの情報提供、英語メニュー・英語のわかる店員、歴史的建物の活用、製造過程の見学
女	0	1	世界の最先端料理店の呼び込み、若者だけでもが集まれる店、ドレスアップが必須の店、音楽を楽しめる店
女	48	29	お好み焼き、たこ焼き以外の伝統料理や技術をPR
女	45	25	台湾、香港の旅行者に情報提供 大阪居住のイスラム圏の人に知恵を借りて呼び込み 日本のラーメンは人気
女	34	9	B級C級グルメでなく、女性受けするおしゃれで美味しい、特別感を得られる店と町並みを増やす 汚い、臭い、治安が悪いイメージの払しょく
女	24	2	大阪城周辺や観光地の近くに「大阪の名物」が結集した施設を、欧米、アジアなど対象に合わせたアピールポイントを、大阪に日本初上陸のお店を
女	20	2	バルに参加して普段いけない割烹にも行けた 大阪は親しみやすさが売りなので気軽に味わえる数居の低さをアピール
女	26	26	庶民的な料理だけでなく世界的美食家を魅了する上質で伝統ある料理と革新的でおしゃれな料理・レストランの創造・PR
女	29	8	だし文化、大阪発祥の割烹料理を大阪人が魅力を知ったうえで府外、海外に広める。 たこ焼き・お好み焼きもすばらしい食文化
女	22	2	大阪は手ごろな値段で美味しいものと出会えるが「ブランド」を生み、育て、根付かせるのが遅れている 強いインパクト・興味を引く食がない

自由意見＜神奈川＞

性別	大阪在 住者	自由意見概要
男	0	関空以外の国際空港に大阪料理を扱う専門店を出店 大衆食堂のイメージ・水が汚い印象をまず払しょくすること
男	0	串カツなど独特の食べ方、ルールがあるようなので観光客だけでは入りにくい
男	0	中之島公会堂の応接室、調度品、ステンドグラスも最高で「食」でも活用すべき
男	0	アンテナショップなどを活用した積極的広報
男	0	大衆酒場で食べた串カツは美味しく、雰囲気も庶民的でよい
男	0	世界に誇れる食文化がある。大阪独自のコテコテ感が洗練されると魅力が半減する
男	0	串カツは店の雰囲気も含め大阪に来たという特別感がある 大阪でないと食べられないものや雰囲気がモットあればよい
男	2	世界的な情報発信、関空行の便で大阪の名物料理を提供 世界各地での試食イベント、外国人向けに大阪の食べ物の歴史も含めた冊子を作る
男	0	大阪は安くておいしい印象はあるが、日本料理のイメージや高級な店の印象があまりない 目指すイメージを明確にしてアピールを
男	0	メディアに代表される大阪の偏った食のイメージからの脱却 独自性・多様性をプロモーションするためのイベントやガイドツアーの仕掛け
女	0	国内のデパート等での大阪物産展、各地方に大阪名物料理の店を出店するなどにより全国的に大阪の食が愛されること
女	0	食は文化。その土地で収穫された食材を使った食が一番。豊臣秀吉が催した茶会で供された料理を今風にアレンジした新しい懐石料理をつくる

(食アンケート調査Ⅰ)

*国名 () *性別 男 ・ 女
*日本滞在年数 (年) *大阪滞在年数 (年)
(※国内は男女別、大阪在職年数、大阪在勤年数)

(問 1) あなたは大阪が世界的な「食の都市」だと思いますか？番号でお答え下さい。

- ① そう思う
- ② そう思わない
- ③ どちらともいえない

回答欄 ()

(問 1－2) 問 1 で①と答えた方にお聞きます。「そう思う」主な理由は何ですか？

番号でお答え下さい(複数解答可)

- ① 料理の味おいしい
- ② 世界各国のバラエティーに富んだ料理を楽しめる
- ③ 高級料理から庶民的な料理まで、コストパフォーマンスが高い
- ④ 伝統的な割烹料理などの和食が魅力的
- ⑤ 歴史と伝統のある料亭が多い
- ⑥ 世界的に有名なレストランが多い
- ⑦ エリア毎に個性的な食の魅力がある
- ⑧ お店の人の雰囲気や対応がいい
- ⑨ 食のイベントが多い
- ⑩ 大阪でしか味わえない料理や食べ物がある (具体的に)
- ⑪ 昔から「食い倒れのまち」といわれている
- ⑫ その他 ()

回答欄 ()

(問 2) あなたが世界的な「食」の都市だと思うのはどこですか。また、その理由は何ですか？(複数回答可)

全世界では：

() 理由 ()
() 理由 ()
() 理由 ()

日本国内では：

() 理由 ()

() 理由 ()
() 理由 ()

(問 3) あなたが大阪で食べたもののの中で、好きな食べ物は何ですか。好きなもの順に3つあげてください。

(例 すし、うどん、ラーメン、イタリア料理、中華料理、焼肉、お好み焼き・・・)

- ① ()
- ② ()
- ③ ()

(問 4) 次の大阪の名物料理等で知っているものはどれですか？

番号でお答え下さい (複数回答可)。

- ① きつねうどん
- ② たこ焼き
- ③ お好み焼き
- ④ 焼き肉
- ⑤ てっちり
- ⑥ しゃぶしゃぶ
- ⑦ はりはり鍋
- ⑧ うどんすき
- ⑨ すっぽん鍋
- ⑩ すき焼き
- ⑪ 関東だき
- ⑫ 大阪ずし (箱寿司、バッテラ、雀ずし)
- ⑬ カウンター割烹の料理 (大阪発祥のスタイル)
- ⑭ 鰻まむし
- ⑮ オムライス
- ⑯ 串カツ
- ⑰ 豚まん
- ⑱ かやくごはん
- ⑲ うめビーフ
- ⑳ 犬鳴ポーク
- ㉑ 河内鴨
- ㉒ 水なす
- ㉓ なにわ伝統野菜 (天王寺蕪、田辺大根等)
- ㉔ 河内ワイン

㊸ 大阪地酒（呉春、秋鹿、浪花正宗、天野酒等）

㊹ その他知っている大阪の名物料理（ ）

回答欄（ ）

（問４－２）問４の名物料理等の中で実際に食べたことのあるものはどれですか。番号でお答えください。（複数回答可）

回答欄（ ）

（問４－３）問４の名物料理等の中で、自国の人（※国内は「外国人旅行者」）にすすめたいものがありますか？すすめたい順番でお答えください（解答数は自由）

- | | |
|------|------|
| ①（ ） | ④（ ） |
| ②（ ） | ⑤（ ） |
| ③（ ） | |

（問 ５）以下の大阪の「食の集積地」や「食の施設」等で知っているものを番号でお答え下さい。

- ① 鶴橋焼肉・生野コリアンタウン（韓国料理）
- ② 大正リトル沖縄（沖縄料理）
- ③ 法善寺横丁
- ④ 新世界（串カツ等）
- ⑤ 北新地
- ⑥ 道頓堀・宗右衛門町・島之内
- ⑦ 天神橋筋商店街（寿司等）
- ⑧ 路地裏グルメ福島
- ⑨ 北浜テラス（川床）
- ⑩ 黒門市場（てっちり等）
- ⑪ 大阪市中心卸売市場・木津市場・東部市場（寿司、見学）
- ⑫ グランフロント大阪
- ⑬ あべのハルカス
- ⑭ 道頓堀・コナモンミュージアム
- ⑮ ユニバーサルシティ・たこ焼きミュージアム
- ⑯ 天保山・なにわ食いしんぼ横丁
- ⑰ 池田・インスタントラーメン発明記念館
- ⑱ 岸和田・ふぐ博物館

⑱ その他 ()

回答欄 ()

(問 6) 問5で知っている「食の集積地」や「食の施設」等で自国の方(※国内は「外国人旅行者」)にすすめるのはどれですか?すすめる順番でお答えください
(複数解答可)

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()
- ⑤ ()

(問 7) 大阪が「食の魅力」で海外から集客するためには、どのような仕掛けや取り組みが有効だと思いますか?番号で答えてください。

- ① 公的機関が認証した多言語の「大阪の食のガイドブック」
- ② 街中やホテルで食の情報を提供してくれる「コンシェルジュ」
- ③ いけすの魚を目の前で料理するといった「エンタメ料理店」
- ④ 大阪城や歴史的建物を活用したレストラン
- ⑤ 船に乗りながら料理を楽しむ「グルメ船」
- ⑥ 夜景や水の都の景色を楽しめる「水辺レストラン」
- ⑦ いくつものお店を食べ歩きする「バルイベント」
- ⑧ 初めてでは入りにくい割烹名店の「ガイドツアー」
- ⑨ 多言語表記や、写真展示など外国人観光客が利用しやすい料理店
- ⑩ 自分の国の料理専門店
- ⑪ 宗教上の制約に対応した料理店
- ⑫ 世界各地の料理を味わえる食のイベント
- ⑬ 世界的な料理コンテスト
- ⑭ 市場の見学・試食ツアー
- ⑮ 各国総領事館員による見学・試食ツアー
- ⑯ 大阪の名物料理を集めたミュージアム
- ⑰ 地元大阪の食材を使った料理
- ⑱ 地元大阪産のワイン、お酒
- ⑲ 海外の有名レストランの誘致
- ⑳ その他 ()

回答欄 ()

(問 8) あなたが大阪で食事をするとき、どれくらいの価格が適当だと思いますか？

ランチ (円くらい)

ディナー (円くらい)

最後に、大阪が世界的な食の都市になるためにご意見があれば自由にお書きください。

(自由意見欄)

以上です。ご協力ありがとうございました。

扁額で巡る大阪（大阪の扁額 50 選）

村田 幸雄

【目的】

扁額とは、一言でいえば「建物の目立つ場所に書や絵を書いて掲げたもの」である。扁額は寺院の山門や諸堂、神社の鳥居や社殿、茶室等で見る事が出来る。更に扁額には奉納額や文字看板等様々な形態のものが存在する。扁額は建物の一番目立つ場所に掛けられており、いわば「建物の顔」といえるが、従来からあまり注目されてこなかった。

扁額の揮毫者は、天皇から実業家、文化人まで様々。扁額が掛けられた時代、場所、目的も様々で、扁額から歴史・文化の一端を知ることが出来る。「扁額の中には歴史と文化が詰まっている」といえる。

大阪の扁額 50 選を選定し、扁額から大阪の歴史・文化を眺め、扁額の魅力を伝えるとともに、大阪散策の素材として提供したい。

【内容】

大阪の扁額 50 選を選定し、其々について、扁額の意味、内容を大阪の歴史・文化を交えてまとめた。ここでは紙面の関係上、例として、特に興味深い扁額をポイントのみ以下に列挙した。50 選の詳細（要約）については添付資料を参考。

○住吉大社の鳥居扁額「住吉神社」 何故、住吉大社に「住吉神社」の額。同じ扁額が東京佃島・住吉神社にもあった。

○京阪電鉄・天満橋駅の「先覚志茲成」 宿願の大阪都心への乗り入れを達成し、大阪市の「市内交通市営主義」に風穴を開けた記念碑的扁額。

○積川神社の鳥居扁額「正一位積川大明神」 白河上皇が初めての熊野詣の途中で揮毫した扁額。

○常光寺の山門扁額「常光寺」 河内音頭と足利義満の関係を結びつける山門扁額。義満の寄進した木材の運搬の際の掛け声が河内音頭の前形となった。

○万博記念公園・茶室万里庵の扁額「万里」 大阪万博で実現した表千家と裏千家、両家元の合作の珍しい扁額。

○高津宮絵馬堂の「4 代目坂田藤十郎襲名祈願絵馬」 231 年ぶりに復活した上方歌舞伎の大名跡の襲名祈願絵馬。

○生国魂神社の「奉納算額」 大坂の和算家・宅間流の奉納算額（復元）。

【結果（今後の考察含む）】

今後は大阪の扁額の個別の紹介から発展させて、テーマをしぼり（例えば「大阪の奉納額」、「大阪の禅寺の扁額」のように）50 選の扁額以外の扁額も含め紹介し、大阪散策の素材として提供したい。

○大阪の扁額50選

(要約のみ)

(1) 大阪市内の扁額

①露天神社(お初天神)の「金刀比羅宮」と「水



天宮」(北区)

蔵屋敷の鎮守社が幾多の変遷を経て、露天神社の境内で存続。

②大阪天満宮の「鳳輦庫」と「神輿庫」(北区)



天神祭の変遷を語る扁額。

渡御に御鳳輦が加わったのは明治以降。神仏分離令が原因。



③天満天神繁昌亭の扁額「楽」(北区)



揮毫者は桂米朝。

明治時代の桂派の寄席「幾代亭」の扁額「楽」に由来。

④天神橋、天満橋の橋名銘板 (中央区)



天神橋、天満橋は明治18年の大洪水で流され、その後ドイツ製の鉄橋に架け替えられた。天神橋、



天満橋の歴史を物語る橋名銘板。

⑤京阪天満橋駅の「先覚志茲成」(中央区)



揮毫者は当時社長の村岡四郎氏。意味は、「先輩の宿願である大阪

都心部との直結を果たす」。大阪市の「市内交通市営主義」に風穴を開けた記念碑的扁額。

⑥綿業会館の「経緯通達」(中央区)



揮毫者は大日本紡績社長であった菊池恭三氏。

意味は、「縦糸と横糸の織りなす調和で物事がうまくはかどる」日本の紡績業が世界一に向け躍進していた時代に書かれた額。

⑦吉野寿司の扁額「吉野鰯」(中央区)



揮毫者は比田井天来。鰯は鮓と同じもので、塩と米と魚を醸した保存食。今日のすしの原形。

⑧大阪企業家ミュージアムの扁額「弘成館」と「朝



陽館」(中央区)

大久保利通が五代友厚に贈った額。弘成館は鉱山事業を総括する組織、朝陽館は国産藍の事業で、どちらも五代友厚が創業した事業

⑨三木楽器・開成館の「書籍楽器大阪開成館 三



木佐助」(中央区)

曾て心斎橋筋は本屋の町であった。三木楽器のルーツは書店。

⑩高津宮の「4代目坂田藤十郎襲名祈願絵馬」(中央区)



231年ぶりに復活した上方歌舞伎の大名跡「坂田藤十郎」。額は、関西の歌舞伎絵師・穂東とよ国が描いた。

⑪高津宮の「仁徳天皇御製」(中央区)



仁徳天皇の高津宮、「高き屋にのぼりて見れば烟立つ民のかまどは賑わいにけり」。国史によれば難波の地には5度宮殿が造営された。

⑫法善寺横町の扁額 (中央区)



藤山寛美が書いた横線が一本足りない「善」の額。一本足りない理由は諸説ある。

⑬高島屋の扁額「高島屋美術部」(中央区)



揮毫者は富岡鉄斎。鉄斎を全国区に引き上げた高島屋美術部の額。

⑭阪神電鉄の扁額「萬方慶」(福島区)



大阪駅前の整備・近代化にともなう大阪地下延長線開通時に当時社長の今西與三郎氏が揮毫。

意味は「全ての人が慶ぶ」

⑮和光寺の扁額「放光閣」(西区)



長野・善光寺の本尊・阿弥陀如来が出現した阿弥陀池の中の島にある宝塔に掛けられた扁額。

⑯善福寺の「どんどろ」(天王寺区)



傾城阿波の鳴門の「順礼にご報謝」の名場面。「どんどろ」はこの辺りに屋敷があった大坂城代上井殿が詠ったもの。

⑪生国魂神社の「算額」天王寺区)



宅間流鎌田俊清の門人山口幸次郎が奉納した算額を復元したもの。

⑫四天王寺の「釈迦如来 転法輪処 当極楽土



東門中心」(天王寺区)

揮毫者は聖徳太子や弘法大師、小野道風、三井慶福と諸説ある。意味は「釈迦が説法を説く所で、極楽の東門の中心である」。日想観を表す扁額。

⑬四天王寺庚申堂の表札「本邦最初庚申堂」(天王寺区)



日本最初の庚申堂。この庚申堂が庚申信仰の起源となった。

⑭清寿院の「関帝廟」(天王寺区)



神戸の関帝廟より以前にあった大阪の関帝廟。雑居地に住む中国人が中国風に改築した。

⑮広田神社の「赤エイの奉納絵馬」(浪速区)



赤エイを断って祈願すれば、痔疾に霊験あらたかと信仰された。赤エイは広田神社の神使。

⑯西方寺の「摂州合邦辻閻魔堂」(浪速区)



浄瑠璃・摂州合邦辻の舞台となった閻魔堂。俊徳丸の伝説。

⑰加賀屋新田会所の「愉園」(住之江区)



揮毫者は甲骨文字研究の第一人者の羅振玉。愉園の命名は西村天囚。

⑱住吉大社の「住吉神社」(住吉区)



揮毫者は有栖川宮熈仁親王。住吉大社は「延喜式」で明神大社、近代社格制度で官幣大社に列

格されるも、「住吉大社」と称したのは戦後。

同じ額が東京の佃島・住吉神社にもある。

⑲大念仏寺の「大源山」(平野区)



揮毫者は宝鏡寺宮徳嚴理豊禅尼。理豊禅尼は宝鏡寺の権威確保の

ため全国の寺社に扁額を揮毫。

(2) 北摂の扁額

⑳勝尾寺の大鳥居扁額「勝尾寺」(箕面市)



座主行巡が清和天皇の病気を祈祷により治し、勅額を賜った。

㉑万博記念公園の万里庵の扁額「万里」(吹田市)



大阪万博で建設された茶室の扁額。表千家と裏千家、両家元合作の珍しい扁額。

㉒郡山宿本陣(椿の本陣)の関札(大阪府茨木市)



郡山本陣には、参勤交代時に西国大名達が利用した際の関札が残っている。浅野内匠頭の刃傷事件時、赤穂城の開城の使者であった脇坂淡路守の関札もある。

㉓慶瑞寺の扁額と対聯(高槻市)



扁額(祥雲山)は隠元隆琦、対聯(済道興時全身擔荷、祥雲現處遍界輝煌)は高泉性敦の揮毫。

㉔島本町立歴史文化資料館の「麗天館」(島本町)



揮毫者は近衛文麿。楠木正成・正行親子の桜井の駅跡の記念館に掲げられていた。

(3) 東大阪の扁額

㉕百済王神社の扁額「百済国王 牛頭天王」(枚方市)



百済王敏福は聖武天皇から枚方に土地を賜り百済王神社と百済寺を創建した。牛頭天王は、インド祇園精舎の守護神で、素戔鳴尊と習合された。

㉖大津神社の扁額「大津神社」(東大阪市)



大阪の生んだ聖僧・慈雲の揮毫した扁額。慈雲は正法律を説き、梵字研究の第一人者。

㉗近畿日本鉄道の扁額「日日新」(東大阪市)



近鉄奈良線・新生駒トンネル西坑口にある。揮毫者は当時社長の佐伯勇氏。出典は「大学」の「苟日新 日日新 又日新」

⑭常光寺の山門扁額「常光寺」 (八尾市)



揮毫者は足利義満。義満が常光寺に復興の木材を寄進し、木材運搬の際の掛け声が木遣り音頭となり、河内音頭の原形となった。

(4) 南河内の扁額

⑮葛井寺の「大阪紫雲講奉納額」 (藤井寺市)



「講」を組んで行われた西国三十三か所巡りの奉納額。

⑯道明寺天満宮の「正一位太政 大威徳天神」 (藤井寺市)



菅原道真の怨霊を鎮める為最高の官位と尊称が贈られた。揮毫者は宝鏡寺宮徳嚴理豊禪尼。

⑰誉田八幡宮の「八幡宮」 (羽曳野市)



鳩の形をした「八」の字、鳩は八幡神の神使。鳩字の書法は弘法大師にまで溯る。

⑱叡福寺の「聖徳廟」 (太子町)



揮毫者は岸信介。岸信介は聖徳太子の一万円札発行時の首相。

⑲弘川寺の「西行堂」 (河南町)



似雲法師が尋ね当てた西行法師の墓の傍らに建てた西行堂の扁額。

⑳旧杉山家の「生前富貴草頭露 身後風流陌上花」 (富田林市)



揮毫者は富岡鉄舟。意味は「現世での富や身分が高くて死んでしまえば草の上の露や路上の花のように儚いものだ」蘇東坡の詩の一節。

㉑観心寺の「観心寺」 (河内長野市)



嵯峨天皇の勅額。勅額「観心寺」の異形の文字は御本尊を守護する金剛力士を表している。

(5) 和泉の扁額

㉒水野鍛錬所の「鍛鐵降魔」 (堺市)



揮毫者は法隆寺管長の佐伯定胤氏。水野鍛錬所は法隆寺五重塔の魔除けの鎌を制作した。

㉓南宗寺の「甘露門」 (堺市)



揮毫者は千宗旦の参禅の師・清巖宗渭。意味は「仏の教え、仏の境地に至る門」

㉔岸和田本町「返魂丹」 (岸和田市)



揮毫者は趙陶斎。返魂丹も反魂丹も「魂を蘇らせる」の意味。趙陶斎は近世日本第一級の書家。

㉕久米田寺の扁額「隆池院」 (岸和田市)



揮毫者は松平定信。隆池院は、行基が築造した久米田池を維持管理した寺院。

㉖積川神社の「正一位積川大明神」 (岸和田市)



白河上皇が熊野詣の途中、扁額の文字が拙いので、自ら書き直した。

㉗水間寺の「奉納額」 (貝塚市)



左甚五郎の流れと口伝される地車彫刻の名人・二代目高松彦四郎の木彫りの奉納額。

㉘波太神社の「三十六歌仙扁額」 (阪南市)



神を楽しませ、神の加護を祈願するために歌仙額を奉納した。土佐派の宮廷絵師土佐光成の筆になる。

(6) 大阪府域外の扁額

㉙神応寺の扁額「神応禪寺」 (京都府八幡市)



独庵玄光が揮毫し、淀屋四代目重富が寄進した。淀屋閼所の後五代目広富は八幡に住んだ。

㉚小西酒造・ミュージアム長寿蔵の「白雪」 (兵庫県伊丹市)



頼山陽は伊丹の酒、白雪、剣菱、男山を好んだ。

適塾を生んだ大阪 その医蹟を巡る

竹中 裕昭

【目的】

2011年（平成23年）、第28回日本医学会総会（東日本大震災のため縮小開催）が行われた際、参加者が自由散策のために利用できる「医蹟巡りガイド」がWeb上で配信された。

一方、筆者の知る限り、大阪に関するそのような資料はなく、適塾など歴史教科書に登場するような有名な医蹟ですら、その場所をご存知ない方が多く、まして、それ以外の医蹟に関しては、ほとんどその存在すら知られていない。

そこで今回、大阪の医学史について整理し、興味を持たれる方が手軽に利用できる「大阪医蹟めぐりガイド」を作成することで、大阪の観光や大阪の魅力を紹介する一助となることを、本研究の目的とする。

【内容】

ピックアップした大阪市内の医蹟36箇所のうち、医学的価値が比較的高く、かつ観光スポットともなりうる医蹟を20箇所に絞り込み、モデルコースを作成した。

【結果（今後の考察含む）】

「伝説の時代の医蹟を訪ねる」「赤十字精神の芽生えから名医誕生時代の医蹟を訪ねる」「蘭学ブームから近代医学誕生時代の医蹟を訪ねる」という3つのモデルコースを作成した。コース選定に当たっては、時代背景別になることを意識した。

なお、459年（雄略天皇3年）に来日し、大阪で最初の医療を行ったと思われる高句麗の僧、難波薬師（徳来）については、その活動の詳細がわかっていないため掲載できなかった。また、適塾発祥の地（瓦町適塾）については、1箇所に特定できなかったため掲載できなかった。今後、検証を重ね、将来的には医蹟めぐりガイドに掲載したい。

今回、医蹟選定の妥当性の検証として、2013年度大阪府医師会医学会総会で20箇所の医蹟を報告し、ディスカッションを行った。今後、更に様々な機会を通じて妥当性を高めたいと思っている。

参考・引用文献

- 1) 中野 操：大阪名医伝。思文閣出版，1983.
- 2) 鈴木 昶：日本医家列伝。大修館書店，2013.
- 3) 梅溪 昇：緒方洪庵と適塾。大阪大学出版会，1996.
- 4) 芝 哲夫：適塾の謎。大阪大学出版会，2005.

大阪医蹟めぐりガイド

モデルコース① 伝説の時代の医蹟を訪ねる

A 少彦名神社→B 大国主神社→C 安倍晴明神社→
D 四天王寺（聖徳太子四箇院跡）→E 勝鬘院・愛染堂（聖徳太子施薬院跡）



A 少彦名神社→（徒歩）→地下鉄「淀屋橋」→（御堂筋線）→地下鉄「大国町」→B 大国主神社→（御堂筋線）→地下鉄「天王寺」→（徒歩）→阪堺「天王寺駅前」→（上町線）→「東天下茶屋」→（徒歩）→C 安倍晴明神社→（徒歩）→王子町バス停→（市バス 62 番系統）→天王寺西門前バス停→（徒歩すぐ）→D 四天王寺→（徒歩）→E 愛染堂

* 伝説の時代の医療は、因幡の白兎を助けた大国主命から始まる。大国主命、及び彼を助けた少彦名命を祀る神社は全国にあり、大阪にも存在する。飛鳥時代には、日本最初の病院・社会福祉施設である四箇院（しかいん）が、聖徳太子によって四天王寺に設置された。平安時代になると、すでに漢方薬が導入されていたが、医療や僧侶の祈祷などが効かない場合は陰陽師に頼られていた。代表的陰陽師、安倍晴明は大阪で生まれている。

モデルコース② 赤十字精神の芽生えから名医誕生の時代の医蹟を訪ねる

A 中央公会堂前（合水堂跡）→B 小楠公義戦跡碑→C 太閤下水→D 狸坂大明神（南大江公園内）→E 太平寺・北山不動明王



A 中央公会堂前（合水堂跡） →（徒歩）→京阪「なにわ橋」→京阪中之島線→京阪「天満橋」→（徒歩すぐ）→B 小楠公義戦跡碑→（徒歩）→地下鉄「天満橋」→（谷町線）→地下鉄「谷町四丁目」→C 太閤下水→（徒歩）→D 狸坂大明神→（徒歩）→地下鉄「松屋町」→（長堀鶴見緑地線）→地下鉄「谷町六丁目」（乗り換え）→（谷町線）→地下鉄四天王寺前夕陽ヶ丘」→（徒歩）→E 太平寺

楠木正成（大楠公）の長男、楠木正行（小楠公）は、南北朝の戦いで橋から大川に落ちた敵兵 5 百余人を救出した。この行為はわが国の赤十字精神の化身と称えられる。日本最古の現役下水道である太閤下水は、豊臣時代の画期的衛生施設である。江戸時代になると、いわゆる名医や医塾ができる。華岡家の合水堂は適塾のライバル的存在として有名である。

モデルコース③ 蘭学ブームから近代医学誕生時代の医蹟を訪ねる

A 中天游邸跡→B 伏屋素狄顕彰碑（阿弥陀池和光寺）→C 難波島跡→D 橋本宗吉絲漢堂跡
E 北御堂→F 除痘館発祥の地→G 除痘館記念資料館→H 適塾→I 大阪府医学校・大阪病院跡（大村益次郎卿殉難報告之碑）→J 浪華仮病院跡（大福寺）



A 中天游邸跡→(徒歩)→市バス「京町堀二丁目」→市バス 55 番系統→市バス「あみだ池」→(徒歩すぐ)→B 伏屋素狄顕彰碑（阿弥陀池和光寺）→(徒歩)→地下鉄「西長堀」→(長堀鶴見緑地線)→地下鉄「大正」→(徒歩)→C 難波島跡→(徒歩)→地下鉄「大正」→(長堀鶴見緑地線)→地下鉄「心斎橋」→(徒歩)→D 橋本宗吉絲漢堂跡→(徒歩)→地下鉄「心斎橋」→(御堂筋線)→地下鉄「本町」→(徒歩すぐ)→E 北御堂→(徒歩)→F 除痘館発祥の地→(徒歩)→G 除痘館記念資料館→(徒歩)→H 適塾→(徒歩)→市バス「淀屋橋」→市バス 62 番系統→市バス「国立病院大阪医療センター」→(徒歩)→I 大阪府医学校・大阪病院跡（大村益次郎卿殉難報告之碑）→(徒歩)→市バス「国立病院大阪医療センター」→市バス 62 番系統→市バス「上本町四丁目」→(徒歩すぐ)→J 浪華仮病院跡（大福寺）

大阪市内医蹟巡り

時代別解説とアクセス

神話の時代

A 大国主神社(浪速区敷津西 1-2)

最寄り駅: 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町」



出雲大社に祀られる大国主命は、毛を剥がされた因幡の白兔に、「真水で体を洗い、蒲(がま)の穂をとって敷き散らして、その上を転がって花粉をつければ、皮膚は元のように戻り、必ず癒えるだろう」と教えました。これが日本初の皮膚科治療ではないかと言われています。大阪には大国主命を祀る大国主神社があります。

B 少彦名神社(中央区道修町 2-1-8)

最寄り駅: 地下鉄堺筋線・京阪本線「北浜」



少彦名命は、大国主命と協力して病の治療法や鳥獣や昆虫の害をはらう為の禁厭(まじない)を定め、医薬神・農耕神として信仰されています。江戸時代、和漢薬と共に、長崎を通じて輸入した漢方薬を全国に広めた道修町では、少彦名命と中国の神農さんが祀られています。

古代

C 日本初の病院・薬局・社会福祉施設でもあった四天王寺(天王寺区四天王寺 1-11-18)

最寄り駅: 地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」



聖徳太子は四天王寺に「四箇院(しかいん)」を設置したと言います。四箇院とは、敬田院、施薬院、療病院、悲田院の4つです。敬田院は寺院そのものであり、施薬院と療病院は日本最初の薬草園及び薬局・病院で、悲田院は病者や身寄りのない高齢者のための日本初の社会福祉施設です。施薬院、療病院、悲田院は少なくとも鎌倉時代には、実際に寺内に存在していたことが知られています。

D 勝鬘院(愛染堂)(天王寺区夕陽ヶ丘町 5-36)

最寄り駅: 地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」



大阪の夏祭りのトップを切る愛染祭りや、縁結びの霊木「愛染かつら」があることでも有名な勝鬘院(愛染堂)には、かつて聖徳太子が設置した四箇院のうち施薬院があったとされ、後に聖徳太子が勝鬘経を講じた地だとする伝承があります。

E 安倍晴明神社(阿倍野区阿倍野元町 5-16)

最寄り駅: 阪堺電軌上町線「東天下茶屋」



平安時代になると漢方薬がすでに使われ、薬や民間療法、僧侶の祈祷で病が癒えない場合には陰陽師に頼ったそうです。阿倍野区には平安時代の陰陽師・安倍晴明が生まれたとされる地に安倍晴明神社があります。

中世・織豊時代

F 小楠公義戦之跡碑(中央区天満橋京町 1-1)

最寄り駅: 地下鉄谷町線・京阪本線・京阪中之島線「天満橋」



楠木正行は1347年(正平2年)11月、瓜生野の戦いで、山名時氏、細川頼氏を打ち破り、その際、川に落ち流された500人を越える敵兵を救い、衣服や薬を与え、京へ帰しました。後年、この行為は士道の華、赤十字精神の礎であるとされました。

G 太閤下水(南大江小学校正門南隣)

(中央区農人橋 1-3-3)

最寄り駅: 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」



豊臣秀吉は、低湿な大坂の町づくりにあたり、町屋から出る下水を排水するための下水溝を建設したと言われています。大坂城下町は、大坂城に向かう東西道を軸に碁盤の目に区切られ、道路に面した建物の背中どうしの裏口に下水溝が掘られたことから「背割下水」と呼ばれています。近世に造られ、改良されながらも現在まで使われ続けている下水道は全国的に見てもほとんどありません。

江戸時代

H 狸坂大明神(南大江公園)(中央区粉川町 6・

神崎町 1) 最寄り駅: 地下鉄長堀鶴見緑地線「松屋町」



江戸時代になると、多くの名医が登場します。京で日本一とうたわれた曲直瀬(まなせ)正純に学び、粉川町で開業した大坂の名医の草分け、古林見宜(正温)は、魚を食べて腹痛をおこした狸まで治してしまったと言う伝説があります。この狸が熊野街道の坂口王子跡とされる南大江公園内にある狸坂大明神に祀られている狸かもしれないとのこと。

I 北山不動明王(太平寺)(天王寺区夕陽丘町1-1)

最寄り駅: 地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」



北山壽安は大坂・道修谷で開業した名医です。中国人の父から最新の製薬法を学び、その方法をオープンにしたので、これを習おうと薬種商が移り住んできたのが、薬の町・道修町の始まりとも言われます。1701年(元禄14年)3月3日、壽安は万民救済の誓願成就を祈念して北山不動明王像の下に生きながら定に入り、同月15日、その鉦の音が途絶えたと伝えられています。

J 絲漢堂(しかんどう)跡 (中央区南船場 3-3-23)

最寄り駅: 地下鉄長堀鶴見緑地線「心斎橋」



18世紀後半の大坂学問界の悩みは、蘭語を読める学者がいなかったことです。そこで抜擢されたのが橋本宗吉です。間重富や小石元俊の援助を受け、江戸に留学した橋本宗吉は、4ヶ月で4万語のオランダ語(現在、中学校・高校で習う英単語数は約3000語)をマスターし、帰阪後、大坂初の蘭学塾である絲漢堂を開き、大坂の町に蘭学ブームを起こしました。ここから、伏屋素秋、中天游らが輩出され、緒方洪庵・福沢諭吉へとその系譜は続きます。まさに適塾のルーツとも言える施設です。

K 大阪初の観臓之地・月正島跡(木津川公園付近)

(浪速区木津川 2-3)

最寄り駅: 南海汐見橋線(高野線)「芦原町」、JR大阪環状線「芦原橋」



大阪初の人体解剖は、1796年(寛政8年)2月18日、大坂城御定番であった保科家の藩医、宮崎或によって行われました。その舞台である合掌洲は旧・月正島であるとされています。この時、三之助という男性の刑屍を解剖し、その成果は「三之助解剖図」として著わされています。

L 世界初の腎臓機能実証実験の地・難波島跡 (大正区三軒家東 2-11)

最寄り駅：地下鉄長堀鶴見緑地線・JR 大阪環状線「大正」



明和7年から安永7年にかけて難波島の今木新田が開拓され、その北端には、幕府の木津川口刑場（今木刑場）が設けられました。そこは一面、葎原だったため、葎島と呼ばれていました。1800 年（寛政 12 年）、大矢尚斎、伏屋素狄、各務文献ら絲漢堂の蘭法医による女性の刑死人の解剖が行われました。これが大阪の市井の医師による初めての人体解剖です。この時、伏屋素狄は腎臓に墨汁を注入し、腎臓を手で握り締め、淡い液体を押し出し、「腎臓の機能は濾過と尿の生成である」と結論づけました。これが西洋に先駆けること 38 年、世界初の腎臓機能の実証実験です。以後、葎島は江戸時代の大坂における人体解剖のメッカとなりました。

M 伏屋素狄顕彰碑（和光寺）（西区北堀江 3-7-27）

最寄り駅：地下鉄千日前線「西長堀」



伏屋素狄（ふせやそてき）は、堀江の開業医で、前述の今木刑場での

人体解剖に参加した他、種々の動物で解剖や生理学的実験を行い、そこで得た知見などを記載した「和蘭医話」を 1805 年（文化 2 年）に刊行しました。しかし、大坂の一町医者であった素狄の功績は長年、顧みられることがありませんでした。ようやく 1955 年（昭和 30 年）になって、富田林市の旧家から「和蘭医話」と彼の実験記録数十枚が発見され、日本生理学会、日本医史学会より「日本実験生理学の祖」と称えられ、両学会により、墓碑すら明らかでなかった素狄の顕彰碑が、開業場所近くの和光寺境内に建てられました。

N 緒方洪庵の師匠・中天游邸跡碑（花乃井公園） (西区京町堀 2-11)

最寄り駅：地下鉄中央線「阿波座」



絲漢堂の蘭学医の一人である中天游は、妻のさとと共に開業しましたが、診察と生活は「コマチ先生」と呼ばれ、評判のよかった妻に任せ、思々斎塾という蘭学塾を開いて、緒方洪庵らを輩出しました。洪庵は、「天游先生と誠軒先生（江戸の坪井信道）の慈恩がなかったら、今の自分はない」と自著に記す程、中天游を慕っていました。

O 大阪の予防接種発祥の地（美々卯道修町店前） (中央区道修町 4-4-6) 最寄り駅：地下鉄御堂筋線「淀屋橋」



当時、多数の死者を出していた天然痘を予防するため、京都から牛痘苗（ぎゅうとうびょう）を入手し、緒方洪庵が中心となって、古手町（現・道修町）に 1849 年（嘉永 2 年）11 月 7 日、除痘館が開設されました。大阪で初めて天然痘に対する予防接種（牛痘接種）が行われた場所です。美々卯道修町店前に除痘館発祥の地の石碑がありますが、実際の場所はこの碑の西側とされています。

P 除痘館記念資料室（緒方ビル） (大阪市中央区今橋 3-2-17 緒方ビル 4F)

最寄り駅：地下鉄御堂筋線・京阪本線「淀屋橋」



大阪での牛痘接種普及の道は険しく、除痘館で種痘を終えた人に、接種後に天然痘を発症することがあれば、医師の首を差し出すと約束したそうです。そのような苦労を重ね、除痘館はやがて西日本の種痘拠点となり、手狭になったために 2 年後、現在では、除痘館記念資料室が入る緒方ビルがある地に移転しました。

Q 適塾(適々斎塾)蹟 (中央区北浜 3-3-8)

最寄り駅: 京阪本線「淀屋橋」



現存するわが国唯一の蘭学塾の遺構です。緒方洪庵の号である「適々斎」が名の由来です。緒方洪庵は医者として病気を防ぐことに尽力する一方で、1838年(天保9年)、適塾(適々斎塾)という蘭学塾を開き、外国の新しい学問の教育を行いました。当初、瓦町に開設された適塾ですが、手狭になったため、1845年(弘化2年)に過書町(現在地)の町家を購入・移転し、やがて大坂を医学の中心地へと押し上げていきます。福沢諭吉、佐野常民、大島圭介、橋本左内、大村益次郎、長与専斎、高松凌雲ら、明治になって日本の発展に尽くした多くの人々を輩出しました。適塾は明治新政府の教育制度の整備と共に発展解消し、大阪府医学校、大阪府病院、さらには大阪大学へと発展しました。

R 合水堂跡(大阪市中央公会堂付近)

(北区中之島 1-1-27 付近)

最寄り駅: 京阪中之島線「なにわ橋」



合水堂は1816年(文化13年)、中之島の東端、俗に「山崎の鼻」と呼ば

れた地に創設された大坂で人気No1だった医塾で、適塾のライバル的存在でした。創設者は華岡鹿城という人物で、全身麻酔薬「通仙散」を発明し、世界で初めて全身麻酔による乳がん手術を成功させた華岡青洲の弟にあたります。乳がん手術成功後、紀州にあった医塾「春林軒」の分塾として創設されました。華岡家に入門した門人の約48%が合水堂に入門し、華岡流外科学の普及に大きな役割を担いました。

明治時代

S 大阪(浪華)仮病院跡(大福寺)

(天王寺区上本町 4-1-15)

最寄り駅: 近鉄奈良線「大阪上本町」



明治になり、政府は大阪に本格的な医学専門教育学校と病院建設を計画したものの、財政難で、1869年(明治2年)になって、ようやく政府直轄仮病院を大福寺内に設置しました。院長は緒方洪庵次男の緒方惟準(おがた これよし)、主席教授はオランダ人ボードウィンで、医学教育にも当たりましたが、わずか3か月たらずで鈴木町に移転しました。

T 大阪府医学校跡(国立病院機構大阪医療センター)

(中央区法円坂 2 丁目)

最寄り駅: 地下鉄中央線「谷町四丁目」



1869年(明治2年)7月、鈴木町代官屋敷跡に大阪病院が完成し仮病院を移転。同時に医学校(大阪府医学校)が開設され、11月には大阪府医学校病院となりました。京都木屋町の宿で襲われた大村益次郎が八軒屋を経てここに移されましたが、治療の甲斐なく敗血症にて亡くなりました。明治維新の立役者の1人である小松清廉(帯刀)もここで1年余り治療を受け、亡くなっています。

U 大阪府病院跡(西本願寺津村別院・北御堂)

(中央区本町 4 丁目 1-3)

最寄り駅: 地下鉄御堂筋線「本町」



1872年(明治5年)、大阪府医学校病院が学制改革に伴って廃止されてしまいます。すると困った府民の中から、豪商、寺院、開業医、俳優、などが出資して大阪府病院を設立してしまいます。この病院には教授局が設けられ、オランダ人医師エルメレンスの下、医学講義が行われました。この大阪府病院が大阪公立病院と改称。後に中之島に移転し、大阪大学医学部の直接的ルーツとなります。





大阪発 自転車で、いまどき天皇陵参拝。

高柳 淳一

【目的】

観光資源として天皇陵を今一度見直してみたい。京都・大阪・奈良には天皇陵が集中し、自転車を使えば効率よく巡ることが可能である。百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産登録に向けた動きや、昨年11月に宮内庁から発表された天皇の「葬儀のあり方」に関する報道なども踏まえ、改めて、気軽に健康的な「自転車で巡るいまどき天皇陵参拝」をご提案する。

【内容】

世界的に見れば、エジプトのピラミッドや中国の始皇帝陵など「お墓」は立派な観光資源である。不遜にはならない範囲で、天皇陵をもっと観光地として活用できないだろうか？大阪には16、奈良には30、そして京都には69代分もの天皇陵が集中する。明治天皇の埋葬(伏見桃山御陵)以降、戦前には多くの参拝者が天皇陵を訪ね歩いた。もちろん当時とは「時代」が違うが、天皇陵を自転車観光という側面から捉えなおしてみた。電車やレンタサイクルも利用する畿内10コースを提案したいが、今回は大阪府内16ヵ所を自転車のみで巡るコースを紹介する。また、実際の移動距離、時間なども示しつつ、それぞれの陵墓の特徴を整理しながら、観光資源としての天皇陵および自転車観光の今後の課題も抽出してみた。

【結果】

大阪発の自転車による天皇陵参拝を推奨するには、今後、少なくとも次のような課題を解決していきたいところである。

(1) 天皇陵自体の魅力発信

仁徳陵など巨大古墳を除けば、天皇陵の場所も歴史もあまり意識されていない。仮に百舌鳥・古市古墳群が世界文化遺産に登録された場合、拝所から広大な緑を拝むだけでは「残念な世界遺産」になりかねない。不遜にはならない範囲で、思い切って「パワースポット」と位置づけたり、イメージキャラを設けるくらいの分かりやすい「情報発信」があってもよいのではないか。

(2) 自転車道など環境の整備

大阪府内の天皇陵参拝に非常に便利な「南河内サイクリングロード」を軸として、長期的には、他の大規模自転車道と接続し、自転車道の回遊性を高めていきたいところ。また、大阪市内のレンタサイクル事情も改善の余地は大きい。

(3) 民間の取組み(きっかけづくり)

沿線に多くの天皇陵を抱える鉄道会社が先駆けて、企画乗車券(レンタサイクル割引券付)を商品化するなど旅客誘致に努めるのも一手。世界一の自転車部品メーカー「シマノ」や自転車メーカーでもある「Panasonic」など、多くの企業が事業活動の一環として「大阪発自転車ツーリズム」を推進できればなお面白い。

1. 畿内の天皇陵

現天皇陛下は第 125 代目。よって、世には 124 代に渡る天皇陵が存在する。ただし、重祚(ちょうそ 2 度天皇に即位)された天皇や、京都の深草北陵や泉湧寺・月輪陵のように複数が祀られる天皇陵もある。

●都府県別 天皇陵の分布 ※重祚(ちょうそ)された天皇、北朝 5 代の天皇は除く

都府県	天皇(数字は第○代)	計
奈良県	1～13、20、23、25、28、29、32、34、37、40～45、48、49、51、96	30
大阪府	14～19、21、22、24、26、27、30、31、33、36、97	16
京都府	38、50、52～74、76～80、82～95、98～122	69
滋賀県	39 弘文天皇	1
兵庫県	47 淳仁天皇	1
香川県	75 崇徳天皇	1
山口県	81 安徳天皇	1
東京都	123、124 大正天皇、昭和天皇	2

奈良県や京都府に多くの天皇陵が存在していることは納得だが、大阪府内に 16 の天皇陵が存在している事実はあまり認識されていないのではないかな。

●大阪府内の天皇陵

御代	天皇	陵墓名	場所
第 14 代	仲哀天皇	惠我長野西陵	藤井寺市藤井寺 4 丁目
15	応神天皇	惠我藻伏崗陵	羽曳野市誉田 6 丁目
16	仁徳天皇	百舌鳥耳原中陵	堺市堺区大仙町
17	履中天皇	百舌鳥耳原南陵	堺市西区石津ヶ丘
18	反正天皇	百舌鳥耳原北陵	堺市堺区北三国ヶ丘町 2 丁目
19	允恭天皇	惠我長野北陵	藤井寺市国府 1 丁目
21	雄略天皇	丹比高鷲原陵	羽曳野市島泉 8 丁目
22	清寧天皇	河内坂門原陵	羽曳野市西浦 6 丁目
24	仁賢天皇	埴生坂本陵	藤井寺市青山 3 丁目
26	継体天皇	三嶋藍野陵	茨木市太田 3 丁目
27	安閑天皇	古市高屋丘陵	羽曳野市古市 5 丁目
30	敏達天皇	河内磯長中尾陵	南河内郡太子町大字太子
31	用明天皇	河内磯長原陵	南河内郡太子町大字春日
33	推古天皇	磯長山田陵	南河内郡太子町大字山田
36	孝徳天皇	大阪磯長陵	南河内郡太子町大字山田
97	後村上天皇	檜尾陵	河内長野市寺元 観心寺内

仁徳陵や応神陵のような巨大古墳が集まる百舌鳥・古市古墳群だけでなく、特に蘇我氏系の天皇陵が太子町の磯長谷(しながたに)に分布。また、茨城市太田には越前出身で異色の天皇・継体陵(高槻市の今城塚古墳が真の御陵とも)が存在するとともに、河内長野市の観心寺(金堂は大阪府下最古級の国宝建築物)内には、南朝の後村上天皇(後醍醐天皇の息子)陵が立地している。

2. 天皇陵の変遷

- 天皇が大王と呼ばれていた古墳時代 巨大な前方後円墳が主体
⇒7世紀 大陸の政治システムの影響を受け大型の方墳、円墳へと変化
⇒奈良時代から平安時代初頭 天皇陵は、土葬される例や、墳丘の事例
⇒平安期は仏教思想の影響により、火葬の導入(持統天皇)や薄葬も
⇒院政期の白河天皇にいたって仏式の堂に納骨する方式に
⇒江戸時代の後水尾天皇以降は代々京都泉涌寺に陵墓が建立
⇒明治天皇陵 天智天皇陵に範を取ったとされる上円下方墳が採用
⇒大正天皇以後、天皇・皇后の陵は東京都八王子市の御料地内に

※平成 25 年 11 月 14 日 宮内庁発表

現天皇陛下について、自らの陵の形状や儀式については「従来どおり」(大正、昭和天皇と同じく「上円下方墳」、東京多摩にある武蔵陵墓地に埋葬)とし、葬儀は「火葬」という発表が宮内庁からなされた。

天皇の火葬は 1617 年の後陽成帝の葬儀以来となる。

3. 天皇陵参拝の実態

昭和初期、天皇陵を訪れる参拝者は増え続けた(昭和 2 年度 3,642 千人⇒昭和 13 年度 13,647 千人~昭和 14 年発行「皇陵を中心とする資料展記念録」)。京阪電車でも沿線にある伏見桃山陵をはじめ、大正~昭和初期にかけては多くの参拝客で賑わったとされる。右は昭和初期に発行された「皇陵巡拝の栞」。



4. 自転車で行く大阪府内のモデルコース(例)

～起点はあべのハルカス付近から計測

(1) 百舌鳥古墳群コース

天皇陵は 3 カ所(16 代・仁徳陵、17 代・履中陵、18 代・反正陵)。また、「いたすけ古墳」や「御廟山古墳」を巡る。

・距離(起点から往復)	26.5 キロメートル
・時間(うち参拝時間)	約 2 時間(40 分)
・消費カロリー(成人男性)	680 キロカロリー

(2) 古市古墳群コース

天皇陵は 7 カ所(14 代・仲哀陵、15 代・応神陵、19 代・允恭陵、21 代・雄略陵、22 代・清寧陵、24 代・仁賢陵、27 代・安閑陵)。誉田八幡宮や日本武尊陵も巡る。

・距離(起点から往復)	41.5 キロメートル
・時間(うち参拝時間)	約 3 時間(60 分)
・消費カロリー(成人男性)	1,060 キロカロリー

(3) 磯長谷古墳群コース

天皇陵は 4 カ所(30 代・敏達陵、31 代・用明陵、33 代・推古陵、36 代・孝徳陵)。これに聖徳太子廟(叡福寺)、大阪府立近つ飛鳥博物館も加え、太子町の長閑な丘陵地帯を巡る。アップダウンはあるが、おススメ！

・距離(起点から往復)	59.5 キロメートル
・時間(うち参拝時間)	約 4 時間(110 分)
・消費カロリー(成人男性)	1,530 キロカロリー

5. 自転車利用にあたって

(1) 大規模自転車道

南河内地区に点在する天皇陵参拝に最も便利なのが、「南河内サイクルライン」(距離 21.1km)。天皇陵参拝のための「参拝ロード」とでも名付けたい。大阪市内から継体天皇陵に向かうには「北大阪サイクルライン」も便利。このほか「なにわ自転車道」「北河内サイクルライン」の2つが国土交通省の定める大規模自転車道だが、回遊性を向上させるため大阪市内を縦断する自転車道を整備できれば、府内全域で大きく自転車ツーリズムに寄与することになるのではないかな。

(2) レンタサイクル事情

天皇陵最寄りの駅前にレンタサイクル店はあるが、アップダウンを苦にせず移動できるスポーツサイクルを貸し出す店は稀。自転車のまち「堺」では堺観光協会が市内で観光案内所を運営。各案内所では様々な種類の自転車の貸出も行っており、低額で利用できる。このような取り組みが、大阪市内も含めた地域で浸透していけば、レンタサイクル事情も大きく変わってくる可能性がある。

6. まとめ

天皇陵参拝という一見お堅いテーマだが、自転車というアイテムと組み合わせることで、天皇陵の魅力を再発見し、より一層気軽に健康的な「いまどき参拝」が可能になるのではないかな。そのためには、思わず自転車で巡ってみたいくなるような、

- ・ 天皇陵自体の魅力の発信
- ・ 自転車道など環境の整備
- ・ 民間事業者の取組み(きっかけづくり)

を組み合わせることで、大阪発 自転車観光のテーマのひとつとして「追い風」が吹いてくれればと考える。

以 上

<参考文献>

- ・ 歴代天皇総覧(中公新書 笠原英彦著)
- ・ 天皇陵の誕生(祥伝社 外池昇著)
- ・ 天皇陵古墳への招待(筑摩選書 森浩一著)
- ・ 天皇陵の謎(文春新書 矢澤高太郎)
- ・ 明治天皇大喪儀写真(新潮社 橋爪紳也監修・解説)
- ・ 天皇と葬儀日本人の死生観(新潮選書 井上亮著)
- ・ 歴史の中の天皇(岩波新書 吉田孝著)
- ・ 別冊歴史読本図説天皇陵(新人物往来社)
- ・ 天皇陵総覧(新風社 北島静波著)
- ・ 大阪アースダイバー(講談社 中沢新一著)
- ・ 地図で分かる天皇家の謎(宝島社)
- ・ とんでもなく面白い「古事記」(PHP文庫 斎藤英喜著)
- ・ BSM日本の観光が変わる自転車活用術(笠倉出版社) ほか

自転車で巡る「いまだき天皇陵参拝」モデルコース案

高柳 淳一

大阪篇

京都篇

奈良篇

①古市古墳群コース

19 允恭天皇陵
↓
15 応神天皇陵
↓
27 安閑天皇陵
↓
日本武尊陵
↓
22 清寧天皇陵
↓
24 仁賢天皇陵
↓
14 仲哀天皇陵
↓
21 雄略天皇陵

②百舌鳥古墳群コース

17 履中天皇陵
↓
いたすけ古墳
↓
御廟山古墳
↓
16 仁徳天皇陵
↓
18 反正天皇陵

③磯長谷古墳群コース

30 敏達天皇陵
↓
31 用明天皇陵
↓
36 孝徳天皇陵
↓
33 推古天皇陵
↓
・番外編
(河内長野市)
97 後村上天皇陵
(高槻市)
26 継体天皇陵

④月輪陵～伏見コース

月輪陵
(泉涌寺内)
↓
後月輪陵
(泉涌寺内)
↓
86 後堀河天皇陵
↓
85 仲恭天皇陵
↓
89 後深草
100 後小松
104 後柏原
107 後堀成
↓
76 近衛天皇陵
↓
74 鳥羽天皇陵
↓
72 白河天皇陵

87 四條
110 後光明
113 東山
116 桃園
119 光格
↓
88 後醍醐天皇陵
↓
89 後深草
100 後小松
104 後柏原
107 後堀成
↓
76 近衛天皇陵
↓
74 鳥羽天皇陵
↓
72 白河天皇陵

108 後水尾
111 後西
114 中御門
117 後櫻町
120 仁孝
↓
92 伏見
101 称光
105 後奈良
↓
93 後伏見
103 後土御門
106 正親町

⑤桃山御陵から山科コース

50 桓武天皇陵
↓
122 明治天皇陵
↓
(北朝 光明、南光)
↓
60 醍醐天皇陵
↓
61 朱雀天皇陵
↓
51 天智天皇陵

⑥右京区コース

66 一乗天皇陵
↓
73 堀河天皇陵
↓
69 後朱雀(竜安寺内)
70 後冷泉
71 後三條
↓
59 宇多天皇陵
↓
62 村上天皇陵
↓
64 円融天皇陵
↓
58 光孝天皇陵
↓
55 文徳天皇陵

⑦東山コース

94 後二条天皇陵
↓
68 後一条天皇陵
↓
57 陽成天皇陵
↓
95 花園天皇陵
↓
79 六条(清閑寺内)
80 高倉
↓
77 後白河天皇陵

⑧奈良市域コース

43 元明天皇陵
↓
44 元正天皇陵
↓
45 聖武天皇陵
↓
9 開化天皇陵
↓
51 平城天皇陵
↓
13 成務天皇陵
↓
46・48 孝謙・称徳

⑨橿原市コース

1 神武天皇陵
↓
2 綏靖天皇陵
↓
3 安寧天皇陵
↓
4 懿徳天皇陵
↓
8 孝元天皇陵
↓
28 宣化天皇陵
↓
⑩明日香村コース
29 欽明天皇陵
↓
40 大武天皇陵
↓
41 持統天皇陵
↓
42 文武天皇陵
↓
高松塚古墳

※上記10ルートで、84／124 参拝可能

J R大阪環状線でめぐる大阪観光

西本 広光

【目的】

J R大阪環状線（以降：環状線）は、大阪の街中をぐるりと廻り始めて約 50 年間（鉄道としての礎は 100 年以上）、明治から平成と時代に応じて街の暮らしや観光を支えてきた。その姿は今時の大都市での交通機関としては、いささか古めかしい稀有なオレンジ色の電車であるが、大阪の街風景に欠かせない貴重な存在である。大阪をイメージする観光シンボルは多数あるが、身近にありながら日頃地元の人からは見過ごされることも多く、意外と地元の人でも利用頻度が低いのが玉に瑕。だが大型高層商業施設など進化著しい大阪駅や天王寺駅から周回すれば大阪の身近な街の風景や歴史観ある観光地がほどよく見えてくる。多くの浪速っ子が環状線を利用し愛着を抱き、また大阪を訪れる国内外からの観光客にも周知、利用してもらうことで、華やかで歴史のある、よりディープな大阪の街を楽しむための提案を興味関心のある人に提示することを目的とする。

【内容】

環状線の前史は明治期にまで遡るが、その歴史・変遷、利用の状況や今後の計画・方向性を知り、そして環状線内 19 の駅はもちろん、沿線の概況を把握することで改めて環状線の魅力や将来の観光活用のポテンシャルを探り考える。多くの駅周辺には歴史が漂う著名な観光地や寺社、人で賑わう大阪特有とも言える商店街など観光スポットが多数あり、また環状線自体（電車、駅、高架下空間）がまさしく大阪観光の資産である。浪速っ子にも感心を寄せてもらえるよう、環状線にまつわる魅力、大阪観光を考える。

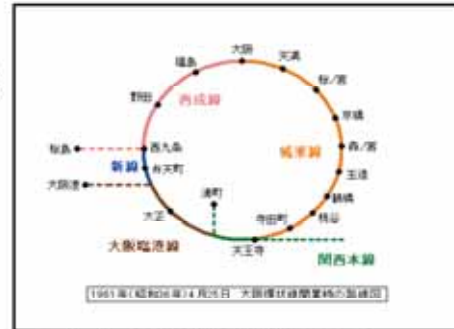
【結果（今後の考察含む）】

2013 年度の研究開始にあたり、ジャストタイミングにて J R 西日本から 2017 年（平成 29 年）達成を目指した中期計画が発表され、その中で環状線のリニューアルを取り上げている。その中身は「行ってみたい」、「乗ってみたい」線区にする、訪日観光客に対する受入体制整備、駅美化・改良、車両新製、高架下空間・駅周辺の魅力向上、自治体・他社との連携等、計画内容から J R 西日本の本気度が十分伺える。環状線ブラッシュアップ、環状線を利用した大阪観光の活性化については、まだまだアイデアはたくさんあると思うので広く意見を出し、取り纏めて環状線でめぐる大阪観光を世の中に浸透させる。

1・はじめに ～ 環状線の生い立ち

【創設期～】

環状線の生い立ちは明治時代の鉄道創設期における、柏原～天王寺～湊町間の大阪鉄道と大阪～西九条～安治川口間の西成鉄道（西成線）から始まり、その後に天王寺からいわゆる当時の官設鉄道である東海道本線との連絡線として天王寺～玉造～梅田間（その後大阪に統合）の同じく大阪鉄道（後の城東線）と続いた。城東線（当時はまだ名称なし）は当時密集していた街を避けるように市街の東側に鉄道が敷設されたようで、余談だが、当時、湊町から梅田（大阪）迄を最短コースで連絡していたら今の環状線は存在してなかったかもしれない。



【図1】環状線開業時路線図

【発展期～】

大正、昭和に入ると大大阪時代などを経て大阪の工業・商業の発展に伴い、様々な線区の支線が見られた。特に未開発であった現在の環状線の西側工業地帯での海運、貨物運送などの役割を担った時期もあり、天王寺～境川信号所～浪速貨物駅（大阪港）、京橋～淀川貨物駅、野田～大阪市場駅など貨物の取扱いが大きく目立つ時期であった。今は廃線となった跡が所々にひっそりと残る。

【完成期】

安治川の水運がまだ盛んで、大型船の往来が多いということもあり鉄道を通すための架橋など反対する声も根強かったが、大阪市長の積極的な鉄道建設の推進もあり、1961年（昭和36年）西九条～境川信号所が開通し、大阪環状線が誕生した。だが当時、西九条駅は駅舎が高架と地上で分離していて線路が繋がっておらず、環状運転が開始されたのは3年後の1964年（昭和39年）となる。ちなみに大阪環状線の開通式は1961年（昭和36年）に新しい駅ということで弁天町駅にて開催されたことは意外と知られていない。それまで弁天町は浪速っ子さえ知らない、まったくの無名の地名だった。大阪砲兵工廠のあった京橋大阪ビジネスパーク（OBP）の地名が当時、弁天町といわれていたらしい。また当時、この周辺の交通は市電が中心になっていた。そこに環状線が開通したが、港区・大正区方面では大歓迎されたそうである。当時の写真パネルが弁天町にある交通科学博物館に展示されている、現状とそう変わらぬ環状



【図2】環状線開通式（弁天町駅）

線電車の面影が見られ、ここから正式に大阪環状線として約50年の歴史が始まった。

【成長期】

昭和も後半になり大阪の工業・商業の衰退などもあり環状線も様変わりした、貨物の取扱いが一部を残し廃止されたこともあり、環状線から派生した各貨物支線は廃線となった。かわって旅客新駅（大阪城公園駅）が開設され、奈良方面からの環状線乗り入れなど進化してきた。そして劇的変化として国鉄からの JR 民営化となる。平成に入るとユニバーサル・スタジオ・ジャパン（USJ）の開場や関西国際空港の開港により、多くの観光客が利用する機会が増え、それまで閑散としていた環状線の西側も特急・快速街道として賑わうようになってきた。創設期から約 100 年以上大阪の街と一緒に移り変わってきた環状線、それ自体が大阪の鉄道資産、観光資産として大切なものである。

2・環状線周辺の魅力

環状線は全線 21.7 キロメートル、線内 19 駅、約 40 分で一周する。厳密にいうと現在では環状運転を行う電車は日中だと 15 分に 1 本と少なく、奈良や関空、和歌山方面へ向かう快速・特急電車が多いのが実情である。19 の駅を正確に順序よくすべて言える人は少ないかもしれないが、各駅及び周辺にはそれなりの歴史と観光名所が存在する。大阪から京橋方面へ向かうと、まずは日本一長い天神橋筋商店街（2.6 キロメートル）のど真ん中に位置する天満、大川に咲く桜がきれいな桜ノ宮、そして環状線内最強の駅、京橋。なぜ最強の駅かという、地下鉄や私鉄が便利な大阪市内の主要駅の中で、京橋駅の各方面アクセスは環状線利用がとても便利で、降立つ街も非常に大阪の匂いを感じられるからである。京橋を出て大阪城公園、森ノ宮、玉造までは大阪観光の目玉である。太閤さんの大阪城、公園、大阪ビジネスパーク（OBP）、真田幸村ゆかりの地など歴史一杯、ここはゆっくりと時間を取って散策してみたいものである。次の鶴橋から桃谷、寺田町はエネルギッシュな駅である。焼肉店や韓国料理店が多く、鶴橋駅周辺の賑わいは環境省かおり風景 100 選として認定されている。天王寺は関西ではよく知られているが関西以外では知名度は低い。だが 2014 年 3 月 7 日に高さ 300 メートル、日本一のあべのハルカスがグランドオープンし、四天王寺との新旧観光地のギャップが心地よい。天王寺を西に出ると暫く複々線で新今宮、今宮駅と向かう環状線内きつての



【図 3】駅観光スタンプ

鉄道銀座である。特急や奈良、関空、和歌山へ向かう快速電車に混じりオレンジ色の環状線電車が併走する姿は鉄道愛好家ならずとも興味を引く、並行して大阪のシンボル通天閣が良く見える、環状線内で一番高い所にある駅、今宮を通過すると、日本の鉄道駅で初めて身体障害者のためのエレベーターが設置された芦原橋、環状線の中でも無骨な特異な形の鉄橋で囲まれた大正はリトル沖縄で有名。最近では京セラドーム大阪も集客で賑わう。その先、電車は大きくカーブを描き弁天町へと進む。港への玄関口でもあり、

現在交通科学博物館があるが、惜しまれて2014年（平成26年）4月をもって閉館となる。跡地がどのように利用されるか気がかりである。安治川を渡ると西九条。最近ではUSJへ向かうラッピング電車が駅で見られて人気があり、西九条、野田、福島と高架下付近の一杯飲み屋、商店街や福澤諭吉誕生の地など意外と知らない観光スポットが多数ある。そして大都会の大阪ステーションビルへと戻る。環状線は内回り、外回りで趣きが異なり味わえる。

3・環状線でめぐる大阪観光3つの提案

上述した環状線周辺の魅力を最大限に発揮するための3つの提案がある。

①環状線フリー乗車券発行

現在大阪市営地下鉄では存在するが、駅間の距離が短く手軽に電車を降りて歩きまた乗り、食事が出来たりするフリー乗車券があると非常に便利でありがたい。



【図4】環状線一周乗車料金

②環状線に沿った遊歩道公園、サイクリングロードの設置

環状線沿線は遊休地も多く、今でも手軽に散策できるが、より観光客が安心して手軽に足を止める事ができる。

③京橋を中心に“大阪のヒガシ”を積極的に開発させる

地下鉄や京阪電車と連携して、キタやミナミに負けないヒガシと呼ばれる街作りを企画していく。森ノ宮の電車区や大阪城周辺など今後再開発可能地も多く、環状線内での存在感が極めて高い最強のエリアである。



【図5】環状線京橋行先表示

4・最後に

環状線は民間企業のJR西日本の所有資産であるが、府民市民や大阪を愛する人の宝でもある。今回環状線改造プロジェクトを大胆的に打ち出した以上、関心のある我々は共に最大限盛り上げる事に徹したい。電車にしても軽量になった最新ステンレス電車を投入するだけでは納得できない、大阪らしい発想で、大阪観光を盛り上げ、活動を活性化させていくことを期待している。

【参考文献】

- ・大阪環状線の本 ㈱京阪神エルマガジン社
- ・JR西日本グループ 中期計画 2017 2013年3月13日
- ・JR西日本プレスリリース 2013年12月24日
- ・読売新聞大阪本社社会部 大阪環状線めぐり
- ・JR時刻表 交通新聞社
- ・交通科学博物館ホームページ
- ・ウィキペディア 大阪環状線



ビエラ玉造外観イメージ。

【図6】浪速っ子もびっくり仰天建物

観光資源の宝庫、大阪の鉄道

行俊 良雄

【目的】

鉄道マニアから子供にいたるまで鉄道が好きな人の市場はたいへん大きい。関西以外の地域では2000年以降各地に駅舎の復元や鉄道関連の博物館が開館し、多くの入場者で賑わっている。一方、大阪では2014年春に交通科学博物館が50年にわたる歴史を閉じ、常時開館している鉄道関係の博物施設はなくなる。大阪以外の地域の状況とは対照的な様相である。ここ数年で大阪の鉄道観光は大きな後れを取った。

大阪には、鉄道の歴史の中に多くの潜在的な観光資源があるにもかかわらず、鉄道の地域イメージ形成、発信、活用がうまくいっていない。その原因を他の地域との比較から探り、最終的には大阪の鉄道事業者、観光行政を担われる方々へ、大阪の鉄道を観光対象にした活性化策の提言を行なうことを本研究の目的とする。

【内容】

大阪の鉄道の歴史や沿線風景から観光資源として埋もれているものに、観光的な視点から考察を加え、わかりやすい形に編集した上でアミューズメントと組み合わせるというアプローチを行なう。大阪だけ見ていては分かりにくいので東京周辺の事例と比較して、問題点を浮かび上がらせた。その問題点とは、

- 1) 大阪には鉄道関連の観光資源が多くあるにもかかわらず発信されていない。
- 2) 記念碑などでの表現は地域の観光イメージの形成にとっては重要である。しかし、観光客の興味をひくものがなくて、難しいものは観光の動機にならない。
- 3) 最終的に、観光にはアミューズメントの要素が不可欠である。観光対象となるテーマをいかに楽しみに結びつけるかの方法を検討する。

【結果（今後の考察含む）】

「大阪の鉄道」というテーマの下に観光商品を展開する場合に最も必要なことは

- 1) 子どもにも分かりやすい内容。
- 2) 目に見えること。
- 3) 楽しめること。

である。この条件から、関東で成功をおさめている鉄道関係の施設の設置は有効な手段であると考え。その際、力を入れる面は博物的施設ではなく、ジオラマ、運転シミュレーションなどテーマと結びつきやすいアミューズメントの部分である。

残された課題としては、歴史的な面からではなく、現状の観光環境から次ぎの3点について考察が必要であると考え。

- 1) 海外からの観光客
- 2) 街と賑わいの連動
- 3) 車窓景観の保存と創出

以上の課題を踏まえて、本研究の結果を大阪の鉄道観光の活性化につなげたい。

観光資源の宝庫、大阪の鉄道

行俊良雄

[1] 鉄道好きの人の市場は大きい

① 市場の大きさ

② 近年の鉄道関連観光施設の動向

[2] 観光対象としての鉄道 東京と大阪の比較

① 記念碑

② 駅舎

③ 鉄道博物館、保存館など

[3] 鉄道観光資源を発掘・表現して発信する

[4] 鉄道事業者、観光行政関連の方への提言

[5] 残された課題

[1] 鉄道好きの人の市場は大きい

① 鉄道はいろいろな場面で扱われている。

- ・TV番組・・・「世界の車窓から」
- ・雑誌・・・「日本鉄道旅行地図帳」
東洋経済、週刊ダイヤモンド等経済雑誌
- ・映画・・・「阪急電車」
- ・小説・・・西村京太郎など
- ・歌謡曲・・・多数
- ・鉄道関連博物館・・・大宮「鉄道博物館」
名古屋「リニア・鉄道館」
- ・こども・・・プラレール、きかんしゃトーマス

[1] ② 近年の鉄道関連観光施設の動向

1. 関西以外の地域

- ・2000年(平成12年)東急・旧田園調布駅復元
- ・2003年(平成15年)旧新橋駅停車場復元
- ・2003年(")門司・九州鉄道記念館開館
- ・2007年(平成19年)大宮・鉄道博物館開館
- ・2011年(平成23年)名古屋・リニア鉄道館開館
- ・2012年(平成24年)横浜・原鉄道模型博物館開館
- ・2012年(平成24年)東京駅復元工事完成

2. 関西の現状

- ・2014年(平成26年)4月 大阪・交通科学博物館閉館予定
- ・2016年(平成27年)京都鉄道博物館開館
(梅小路蒸気機関車館と一体的に整備する予定)

[2] 観光対象としての鉄道—東京と大阪の比較



旧新橋停車場復元(2003年)



初代大阪駅(1874年)
「写真で見る大阪市100年」より引用



横浜市営地下鉄磯田駅前
地下鉄1号車搬入の地



大阪地下鉄車両搬入場所
本町・南御堂前



鉄道創業の地 記念碑
横浜・桜木町駅前



新橋駅前の歌碑
「鉄道唱歌」



地下鉄創業者 早川徳次
目比谷駅



東京駅 新幹線開業碑

[2] (1) 鉄道関連記念碑

1. 数量比較

大阪府	東京都
21	67 (参考 神奈川県50)

2. 東京の記念碑設置の特徴

- ・大きな歴史的事象の碑はほぼ整備されている。
鉄道発祥／地下鉄開業／新幹線開業
- ・古い事象であっても近年に設置している。
新幹線発祥の地・鴨宮(2006年)

3. 鉄道に因んだ歌の碑がある。

「鉄道唱歌」の碑／「あゝ上野駅」の碑

[2] (2) 構造物・駅舎

1. 東京

記念碑は地域の観光イメージ形成に意味がある。
観光にとってさらに効果的なものは復元駅舎。



東京駅復元（2012年）



旧新橋停車場復元（2003年）



東急・田園調布駅復元保存（2000年）

2. 大阪

- ・多数の古い駅舎は老朽化による建て替え、高架化による解体で現存しない。（しかし、東京の復元は近年のこと）
- ・南海電鉄には古い駅舎や構造物が残っている。浜寺公園駅 堺市HPより
- ・諏訪ノ森駅西駅舎、浜寺公園駅は場所を移転→保存。



浜寺公園駅 堺市HPより

[2] (3) 鉄道博物館・記念館・資料館

1. 全国の鉄道博物館・記念館・保存施設の数
（白川淳著「全国鉄道博物館」JTBパブリッシング・2007年）
2007年以降開館、閉館を調整。個人の保存車両を省く。
・162施設（最多は北海道の50）

2. 大阪と東京の比較

大阪	東京
3	10

3. 大阪の施設

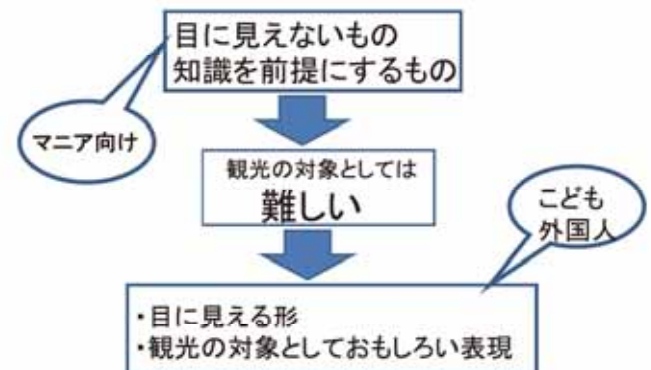
- ・交通科学博物館（弁天町）2014年閉館予定
 - ・大阪市市電保存館（北加賀屋）イベント時開館
 - ・阪急電鉄ミュージアム（正雀）
- よって大阪で常時開館している施設はなくなる。

[3] 鉄道観光資源を発掘・表現して発信する

観光資源 → 観光対象 → 観光商品

観光資源	観光対象	観光商品
観光の対象となる素材。眠っている。	観光資源が発信されたもの。	知識がなくとも楽しめる。
特異な自然景観であればそのまま観光商品になる。	分かりやすくなるように表示や加工が必要。	アミューズメントや宿泊、交通、グルメとの連動が必要。
マニアは見つけ出して楽しめる。	地域の観光イメージの形成には重要。持たせることも可能。	ただし、地域との関係のあるテーマは必要。

[3] 鉄道観光資源を発掘・表現して発信する



「鉄道のまち」

かつて国鉄の大きな操車場があった。

新潟県新津	埼玉県大宮	大阪府吹田
鉄道資料館 （休館中） 年間1万人未満 博物館 マニア向け	鉄道博物館 2007年開館 年間100万人 博物館+アミューズメント 子供も楽しめる	鉄道資料館 （計画中） * 2016年 京都鉄道博物館

[3] 鉄道観光資源を発掘して発信する

①参考事例・・・埼玉県大宮・鉄道博物館

- ・鉄道のまち大宮（大宮操車場）という場を背景にテーマ性を持たせている。
- ・博物館施設ではあるが、子供向けのアミューズメント施設。
 - ・特定の施設に人気集中している。
- ・巨大ジオラマ/運転シュミレーション/記念撮影/ミニ列車
- ・休憩ルームの大きな窓の外に東北新幹線が走る。
- ・周辺地域との関係
 - ・大宮～鉄道博物館への遊歩道の整備
 - ・鉄道関連の物販業が集まりだしている。



大宮・鉄道博物館 (2014.1.13<祝>12:30頃行後撮影)

博物館の中でも子供が楽しめる特定のコーナーに人気が集

人気のないコーナー

人気のあるコーナー



ヒストリー(パネル展示)



ジオラマ



記念撮影サービス



現物車両展示



運転シミュレーション



ミニシャトル乗車

②参考事例・・・大阪府吹田市

吹田市は「鉄道のまち」で観光をまちおこしをめざしている。

1) 駅名変更回数日本一の駅
阪急千里線 関大前駅 変更回数6回

2) 日本一安い初乗り料金
北大阪急行 一区間 大人80円

3) 世界一長いモノレール
大阪モノレール → 日本一に変更 (中国・重慶に抜かれたとのこと)
大阪空港駅～門真市駅間21.2km

4) IEEEが電気・電子技術やその関連分野における歴史的偉業を認定。
1. 世界初の鉄道自動改札システムー阪急北千里駅設置
2. 東海道新幹線

(参考事例)

大阪以外での事例としては次のようなものがある。

・日本最北端の駅・・・稚内 他に東西南北すべて存在

・日本鉄道最高地点駅・・・野辺山(長野県)

・日本一長い駅名・・・南阿蘇水の生まれる里白く高原駅



2013年10月撮影→2013年12月撮影

[4]鉄道事業者、観光行政関連の方への提言①

鉄道観光資源を顕在化させ、発信する。

記念碑／駅舎などの構築物／イベント

地域の観光イメージの形成

- ・歴史的な事象・・・「～の発祥の地」
「日本最古の～」
「～があった場所」
- ・順位を誇れるもの・・・「日本一～」
- ・映画・小説の舞台になった場所。

観光的な視点から興味をひくもの、おもしろい形状

[4]鉄道事業者、観光行政関連の方への提言②

大阪に鉄道アミューズメント施設の設置

各地で鉄道博物館が盛況なのに・・・

大阪には常設館がなくなる。

博物館施設よりも子供や外国人が楽しめる
アミューズメント施設

(ジオラマや運転シミュレーションに地域のイメージを重ねる)

[5]残された課題

①アジアからの観光客への対応

- ・アジアの鉄道ー日本製の車両の輸出
 - ・自国の車両を生産国の日本で見える。
 - ・台湾／韓国／香港／シンガポール／タイ
- ・サブカルチャーからの切り口
 - ・ジオラマに登場するフィギュア
 - ・鉄道に関連するコスプレ・・・記念撮影

②鉄道アミューズメント施設と町の賑わいの連動

- ・鉄道関連のショップ(模型、古本)
- ・グルメ

③車窓景観

- ・沿線景観の保存と新規景観の創出。

おもな参考文献

- ・「全国鉄道博物館」白川淳 JTBPブリッシング(2007年)
- ・「集客都市」橋爪紳也 日本経済新聞(2002年)
- ・「熱き男たちの鉄道物語」橋爪紳也 プレーンセンター(2012年)
- ・「鉄道・珍・名所三十六景(関西編) 所澤秀樹(2003年)
- ・「大阪・京都・神戸私鉄物語」高山禮蔵 JTBP(2002年)
- ・「首都圏鉄道大好き」アミーカ メイツ出版(2011年)
- ・「南海電気鉄道百年史」南海電鉄編(1985年)
- ・「東京鉄道遺産(上)」山田俊明 けやき出版(2010年)
- ・「東京鉄道遺産(下)」山田俊明 けやき出版(2010年)
- ・「鉄道会社の経営 ローカル線からエキナカまで」
佐藤信之 中央公論新社(2014年)
- ・「ビールが村にやってきた」吹田市立博物館図録(2012年)
- ・雑誌「大阪人」鉄道王国・大阪2012年1月号大阪都市工学情報センター

生駒山系と歴史路の観光資源展開

越智 賢一

【目的】

かつて西に海を臨んだ生駒山系の存在は、自然が生み出した景観のみならず、その道筋が古街道となり、そこには、神光の息づく神秘的な生駒山の不思議な力・自然の力をバックボーンにした人の営み・文化が連綿と続き、河内の歴史的な宝となった。

そこで、さらに磨きと輝きのために、大都市に見られるメジャーなイベントやフェアによる観光集客に留まらない郊外型観光空間を創造し、生駒山系西麓中部エリアの市域を越えた広域的な統合した仕組みづくりを推進させた、住みたい・住み続けたいエリアを構築させるとともに、交流人口・定住人口の増大による人口減少傾向の歯止めとしてのエリアづくりを広域型連携観光として展開させる。

【内容】

生駒山系西麓の河内平野をまるごと観光空間にするにあたり、中部エリアの四條畷市・大東市・東大阪市の3市域歴史路（東高野街道、古堤街道、暗越奈良街道、飯盛山、野崎参詣路）を視察し、歴史路とその周辺の観光資源の調査をした結果、悠久のロマンを醸し出している3エリア（飯盛山龍望とウェルネス、野崎まいり参詣、生駒山系パワースポット）に絞って、魅力ある観光資源（神社仏閣、祭り・伝統芸能、巡礼・民話、まち並み）で仕掛けて、広域的な観光まちづくりを展開させるために見たい価値・行きたい価値・住みたい価値を共生し、ブランド作りの一歩とする。

そのためには、単独ではなくエリア全体の住民主導と行政の取組が最重要で、住民を取り囲む広域エリア行政と統合的な仕組みづくりが成功の鍵となるが、地方分権化が進み、地域間競争（地域・観光力の温度差等）が激しいなか、地元の人々の理解と地域の連携や地域が主体となったムーブメントを起こしていくというプロセスが大切となった。

そのために、どのようにして地元や地域の人々を巻き込み、地域が主体を持ってどのように展開を図るかにあるため、まずは、地元を目に向け、地元地域の結束となるものを探求して、心から感動しあえる良好な評価と自信と誇りを持った連携した観光資源をモデル化し、その後、他市域との広域連携への展開を推し進めることとした。

【結果（今後の考察含む）】

地元では、先人が積み重ねてきた地元ならではの特色ある文化遺産と共生し、それに感謝して伝統文化として大切に受け継ぎ、次世代へときちんと伝え、市域全地域の人々が盛り上がり、連携しあえる観光資源は、住民・行政連携型の「だんじり」と位置づけた。それを持って、行政ほか関係各位と各種プロモーションを展開した市民・行政一体型観光推進の「だんじり観光行政」のモデルを作り、地域・観光力の向上を今後の課題とする。

1. はじめに

太古の昔より、大阪東方の生駒山系西麓での人の営み・文化が連綿と続いている河内平野をまるごと観光空間にする。そこには、河内湾、河内潟、河内湖へと変貌を遂げる間も、生駒山系西麓の山の根を守り続けた、まさに海岸線道路としての古街道があった。

そこでの数々の観光資源を統合させ、歴史、文化、自然を活気と賑わいで創造、調和、共生させる永続的な地域一体連携型観光空間に展開させる。

そのために、生駒山系西麓中部エリアの四條畷市・大東市・東大阪市界隈の水陸をはじめ、歴史観光資源を再掘し、磨き輝く観光空間を統合させる。

まずは、生駒山系西麓の四條畷市・大東市・東大阪市界隈を中心に、

陸路として ①東高野街道
②古堤街道
③生駒山系一暗越奈良街道・飯盛山
水路として ④寝屋川支流―野崎参詣路
を調査した。



2. 生駒山系西麓中部エリアの観光資源

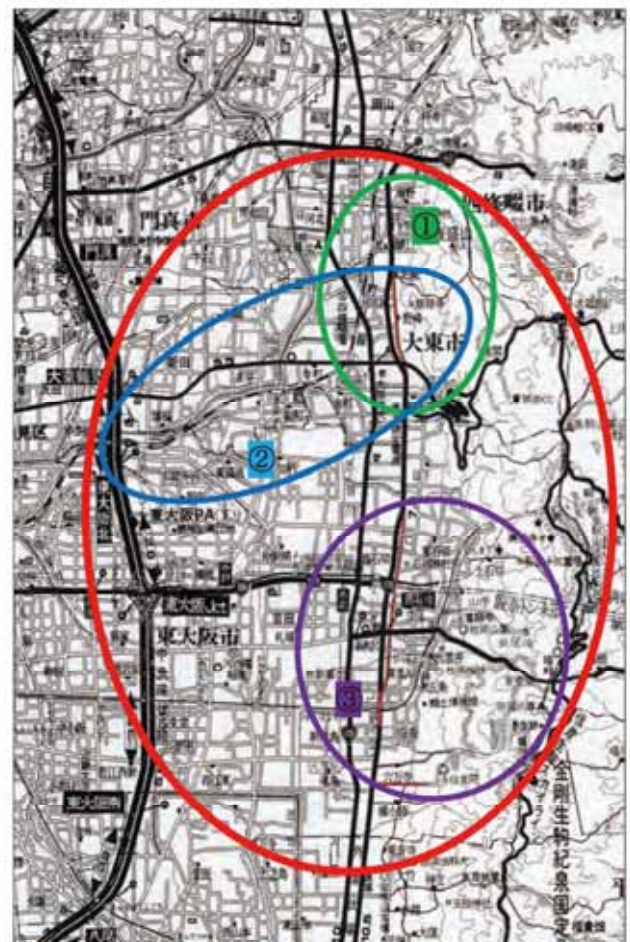
古街道（歴史路）とその周辺の観光資源の把握と情報収集を実施した結果、

悠久のロマンへいこまの神秘を醸し出している下記3エリア

- ①飯盛山龍望とウェルネスエリア（飯盛山・四條畷神社）
- ②野崎まいり参詣エリア（野崎観音）
- ③生駒山系パワースポットエリア（石切剣箭神社・枚岡神社・瓢箪山稻荷神社）

に焦点を絞り、観光資源を選出した。

- ①産業観光：ものづくり日本一工場萌え～生産現場の見学とものづくり体験
- ②神社仏閣観光：絵馬・お守り・朱印・おみくじ・パワースポット・占い
- ③食文化観光：B級グルメ・パル・郷土食・学食
- ④お土産観光：土地柄の一品・郷土玩具
- ⑤祭り・伝統芸能観光：だんじり・神事・盆踊り・初詣・とんど焼き
- ⑥巡礼・民話観光：伝説と民話の体験・語り部
- ⑦まち並み観光：参詣道・水路景観（生駒山・寝屋川・観音井路）・治水公園・里山・遺跡・古墳・原始蓮・フットパス・ハイキング路
- ⑧その他：ご当地キャラ・文学者・偉人伝・文化人・記念館



生駒山系西麓中部エリア：昭文社

3. 広域型連携観光化への取組にあたっての障壁

独自性が高く、地域住民との触れ合いや興味深い企画の提案、究極の目的である定住化までも考えられるような体験などを網羅しないと文化財や神社仏閣の見学だけでは連携の持続は難しい。

住民は観光客の増加だけでは動かず、経済的な動機（直接的な経済効果）が強く働くため、地元住民の理解と参画の場が必要で、地元への経済波及効果や財源の確保策も重要な課題である。

そのためにも、単独ではなく、エリア全体の住民主導と行政の取組が重要であり、住民を取り囲む広域エリア行政と統合的な仕組みづくりとの一体化が成功の鍵となるため、多方面に働きかけが必要となった。

そこで、地方分権化が進み、地域間競争（地域・観光力の温度差）が激しいなか、連携を組むことで、他の自治体との差別化を図り、広域エリアのブランドイメージを高めつつ、定住人口増をめざすことを提言する。

まずは、三方（①見て、②来て、③集まって）から切り込み、広域的に永続的に市域を越えた統合的な仕組み作りを一体化し、住みたいエリアづくりを構築していく。

しかし、生駒山系西麓エリアの広域連携による観光化と地域づくり（地域・観光力の均衡化、広域的なエリアのブランド創出を含む）については、持続的な取組みとして展開していくためにも、まずは、地元の人々の理解と地域の連携、そして地域が主体となったムーブメントを起こしていくというプロセスが大切となった。

そのために、どのようにして地元や地域の人々を巻き込み、地域が主体性を持って、どのように展開を図るかにあるため、まずは、地元に目を向け、地元地域の結束となるものを探求し、心から感動しあえる良好な評価と自信と誇りを持った連携した観光資源をモデル化し、その後、他市との広域連携への展開を推し進めることとした。

4. 実現化への提言～地元市での地域連携型観光化への取組みモデル案

生駒山系西麓中部エリアの地元大東市内での各地域との連携を促し、地元一丸でレベルアップに取り組み地元内広域連携として成功すれば、将来、他市域との連携が可能である。

それでは、地元の宝として、守り、継承し、地元の魅力の向上ひいては活力の向上を担うものは何かと言えば、それは、地車：だんじり（祭り）

人の営み・文化が連綿と続く生駒山系西麓の地元で、自然と共生し、その恵みに感謝の心を祭りとして心一丸となって100年以上も継承している誇りと愛着は、地域を越えたこれからの郷土愛を培うにふさわしい観光資源と位置づける。

先人のなみなみならぬ苦勞による100年伝承はただものではないことを誇りとして、地域結束をすれば、地元地域連携の魅力ある観光資源としてアピールできるとともに、だんじり・行政関係各位への打診とプロモーションを推進する。



だんじり祭り

5. 魅力ある地域連携型観光資源「だんじり」とは

地元大東市内には、30台以上のだんじりがあり、秋祭りには、市内のいたるところで目にすることができる。

しかし、祭りの日程が重なるため、一度ですべてを見ることはできず、今日でも社会情勢の変化や氏子意識の薄れ、各家族化・少子化等から、だんじりの曳き手の数も減少傾向にある。

「動く美術館」、「動く歴史絵巻」といわれるだんじりは、基本的に神社の祭礼で曳かれているので、その神社の氏子が曳いていることになり、運営も町・村・自治会などの組織等が中心になったりで、地域により様々である。

毎年10月20日前後の土・日曜日、市内各地で秋まつりが開催され、だんじりを曳行したり、だんじり囃子・龍踊りなどが披露され、徐々に、『住道だんじりまつり』、『四条ふるさとまつり』、『南郷まつり』、『南大東連合パレード』等、4つのだんじり祭りのように近隣地区で集合するようになるが、同じ日に開催されるため、一度ですべてを見ることはできません。

すべてのだんじりが同一会場に会すれば、迫力満点の『大だんじり祭り』として、地元大東の光り・誇りとなる。

勇ましい掛け声や軽快な鉦の音を響かせながら、だんじりが市内を練り歩く光景は、江戸時代後期より、連綿と受け継がれてきた伝統であり、だんじりへの愛着と誇りを持つことができ、住民の心に流れる故郷大東を結び付くので、この祭りを将来に伝承しなければならない。



だんじり曳行

6. 実現化への具体的な展開策と今後の課題

そこで、「だんじり」をより魅力ある『だいたい観光資源』とするために、

- ①だんじり会館・会場等の設置：だんじり常設展示、歴史、映像視覚・体験コーナー、情報交流・発信
- ②有形もしくは無形文化財等指定：市独自の設定・サポートによる市ぐるみの取組み
- ③だんじり大祭りの開催：秋祭り（祭礼）の他、春～夏時期の大祭り等複数開催
- ④だんじり祭り観戦ツアーと曳行体験：誰でも参加の体制導入による地域一体化
- ⑤だんじりまつり連合協議会・保存会の再編：オール大東の結束への組織化
- ⑥だんじりふるさと納税（協賛金）：愛着と誇りへの協賛・公募・特典等、



岸和田だんじり会館

行政ほか関係各位への打診と各種プロモーションを展開した市民・行政一体型観光推進の「だんじり観光行政」を今後の課題とする。

先人が積み重ねてきた地元ならではの特色ある文化と共生し、それに感謝して、伝統文化として大切に受け継ぎ、次世代へときちんと伝えるために、市域全地域の人々が盛り上がり、連携しあえ、地元人の絆となった観光資源となれば、地域・観光力も向上し、市域を越えた観光の広域的統合に繋がる。

<参考文献>

- 『近畿地方の歴史の道（2）大阪①②』大阪府教育委員会、海路書院、2005年
『生駒山 歴史・文化・自然にふれる』大阪府みどり公社、カンナ出版、2010年
『観光振興と魅力あるまちづくり』佐々木一成、学芸出版社、2008年
『生駒の神々』宗教社会学会、創元社、2012年
『観光を切り口にしたまちおこし』白井冬彦、相模書房、2013年
『大阪アースダイバー』中沢新一、講談社、2012年
『岸和田だんじり讀本』江弘毅、プレゼンター、2007年
『大東のだんじり』大東市立歴史民俗資料館、2013年
『河内文化のおもちゃ箱』水野正好、批評社、2009年
『大阪 摂津・河内・和泉』今井修平・村田路人、吉川弘文館、2006年

住吉大社周辺における観光まちづくり戦略

山田 重昭

【目的】

- ・観光地・住吉の復活を第一目標に、次に現代的トレンドを取り入れた次世代に続く観光振興を第二目標において、住吉ブランドの創出を図る。
- ・住吉の観光振興の成功は地域の活性化にとどまらず、地域住民のまちに対するリスペクトを醸成し、将来の地域コミュニティ発展の基礎になりうる。

【内容】

以下の各項目を観光戦略として提言する。

- ・住吉大社の存在だけに頼らず、神社とともに発展してきた周辺地域の魅力と一体となってアピールするようなものであること
- ・回遊性を活かした町並み観光であること
- ・門前の名物、名所など、伝えられてきた地域資源を活用するものであること
- ・伝統に命を吹き込む現代的なデザイン、発想によって古さと新しさが同居する拠点づくりとイベントの実施
- ・行政単位に関わらず地域住民を主体とした地域横断的なコミュニティ運動であること
- ・何度も繰り返し地域を訪れてくれるファンを増やすための交流を主体としたものであること

【結果（今後の考察含む）】

- ・支持の広がり、市民ネットワークの形成
- ・来街者の変動を調査（飲食店リサーチ、公共交通機関利用者調査など）。
- ・住吉を住んでみたいまちにする

1. 研究目的

本研究は、現在大阪市住吉区と住之江区に位置する住吉大社周辺の地域振興を、観光まちづくりの視点で提言を行うものである。

周知のように、住吉大社は1800年の歴史を誇る神社で、全国に約2,300あるといわれる住吉神社の総本社であり、大勢の参拝客が殺到する初詣の光景を思い起こす人も多い。

しかし、この住吉大社を中心とするエリアが大阪を代表する観光地として知られているかという、甚だ心許ない状況である。正月の境内の活気が継続的な地域のにぎわいに結び付いていないのである。

現在、多くの地域社会では産業の空洞化、コミュニティの希薄化などの問題を抱えているが、同エリアも同様で、地域の活性化を図る必要性が指摘されている。本研究の狙いとする観光地・住吉の復活が、これらの問題解決にむけた一助となることを願う。

2. 住吉観光の歴史

古来、海の神、歌の神として皇族・貴族から武士・庶民にいたるまで多くの崇敬を集めた住吉大社を中心にまちが形成され、多くの人を当地に呼び込んだ。

「住吉の松」は歌枕として多くの歌が詠まれる都人の憧憬となり、「源氏物語」滞標巻では光源氏の住吉詣が描かれた。中世には熊野詣の途上として多くの巡礼が参詣した。住吉明神の名は広く知られ、この中から「高砂」「雨月」といった謡曲やお伽話の「一寸法師」が生まれた。住吉祭りの壮大さは耳目を集め、堺に滞在した宣教師たちは本国にその様子を報告している。近世に入ると新たに海側の紀州街道が発達し、街道沿いの門前町の様相を呈してくる。料亭や土産物屋が並ぶ住吉新家と呼ばれる盛り場が発達しにぎわった。「住吉名勝図会」、「摂津名所図会」といった住吉界限を案内するガイドブックも出版された。住吉の浜は潮干狩りのメッカとなった。「東海道中膝栗毛」には住吉名物として、「金魚、酢、蛤、ごろごろ煎餅、唐がらし、昆布、竹馬、糸ざいく」が挙がる。近代になって鉄道が敷設されると、大阪周遊のルートとして組み入れられ、当時の大阪観光案内マップやPR映画「大大阪観光」にも大阪を代表する名所の一つとして紹介されている。

3. 現状

初詣に参拝客が殺到する光景は有名であるが、平常は門前も閑散としている。日が暮れると全く人影はない。神社を訪れる人の多くは本殿を参拝するだけでその他の境内地や周辺のまちにはその足を向けない。住吉大社の発信力がエリアの魅力に繋がっていないのである。地域住民も地元の文化・謂われを知らず関心も薄い。そのため街道沿いの歴史的建造物がさしたる関心も呼ばず消えつつある。関心の薄さはまちの活気を奪う。まちの中心で行政区が分断されているため、個々の地域活性化の取り組みがまとまらず、まちぐるみの活動へ結びついていない。

4. 衰退の原因

都市ツーリズムは買い物・食事・遊歩を主体とした日常性を味わう体験型観光である。中でも寺社巡りは物見遊山という言葉が表すように、元々信仰そのものより寺社周辺の街並みを巡り名物・名所を楽しむ町並み観光であった。こうした旅のあり方が衰えたのは、一つにはモータリゼーションの発達がある。目的地へ直接移動できるクルマは、観光のあり方を面から点へと変えてしまった。クルマによるアクセスの利便を図るため確保した広い駐車場がこうした要素をますます強化してしまった。住古の場合はこの他に、大阪都市圏として市街地化したこと、人口構成、住環境他の変化などが要因として考えられる。

5. 住吉の地域特性

まず、まちのサイズが徒歩移動に最適で回遊性に優れている。紀州街道、熊野街道、磯歯津道といった旧街道が交差する交通の要衝で、街道沿いを中心に古い街並みが残っている。南海電車や大阪に唯一残る路面電車として存在感を発揮する阪堺電車といった交通網も発達しており、アクセスの良さも回遊性の強みを後押ししている。

個性が光る各エリア。①古い街並みで和を感じられる住吉大社周辺、②大阪市内にあって緑が豊富で閑静な住宅地の帝塚山、③様々な取り組みで活気を維持する粉浜商店街、など。

三点目として地域のポテンシャルが豊富なこと。様々な文芸の題材になった他、近代以降も多く文化人や芸人が数多くここに住み、文化的基層が厚い。名所・名物も住吉大社を中心に数多く存在する他、一年を通して様々な祭りや伝統行事が存在している。

四点目として住吉大社を中心とした中域・広域な地域ネットワークが図れること。堺・田辺・平野・阿倍野・天王寺などは歴史的にも結び付きが強い。

6. 観光振興のための基本スタンス

基本スタイルはまちの資源をいじらず活かすこと。前項で挙げた特性を活かし、歩くことを主体にした地域との交流を楽しむスタイルとする。住吉大社を中心とした和のカラーでカルチュラル・ランドスケープを保持する。エリアへのアクセス手段として、レトロな雰囲気漂う阪堺電車を強調する。これらにデザイン性を取り入れ、歴史・伝統に新たな視点を盛り込むグランドデザインを描く。

もう一点はサステナブルな活動とするため、地域住民主体の運営方式でまちづくり活動の一環として取り組む。そのためどれくらいの住民を巻き込めるかが成否のカギとなる。地元への関心と呼び覚ます「域内での発火」と、集客を図り交流人口の拡大を目指す「域外への発信」の二方面拡張方式とする。観光戦略が都市住民の誇りを復権し、結果として地域産業創造のインキュベーターの役割を果たすことを期待する。以上をまとめてコンセプトは「土地の物語を継ぐ」としたい。

7. 提言

住吉大社周辺の観光戦略として、以下の点を提言する。

・アメニティの充実

サインの整備、トイレ・休憩所の設置、まち歩きマップの常備、常設のポータルサイト（例えば住吉大社境内や住吉公園駅駅舎を活用）、遊歩空間の確保と車両の通行規制、電線の地中化、町家のコンバージョン誘導策、レンタサイクルの導入

・親和性を育むイベントの実施+場づくり

○文化・芸術を体験する月例の城内循環・季節循環型イベントの実施

住吉大社境内における和を前面に出した地域ゆかりの芸能（能、落語、歌会…）、

住吉公園におけるアート・音楽イベントとオープンカフェ

まちそのものの面白さをアピールするイベント（まち歩き、バル）

・コミュニティ・ベースドな体制づくり

地域住民主体の観光ラウンドテーブルの開催

・エリアネットワークの構築

隣接 住吉大社→帝塚山、安立、住吉公園、高燈籠、粉浜商店街へと続く流れ

近隣 住吉→堺、田辺、平野、阿倍野、天王寺：広域 全国住吉サミット

■参考資料

- 大河直躬・三松康道編著[2006]『歴史的遺産の保存・活用とまちづくり』学芸出版社
大社充[2013]『地域プラットフォームによる観光まちづくり』学芸出版社
大阪あそびまち歩きマップ集町衆会議[2011]『大阪あそびまち歩きマップ集』その1～3 大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会
岡本伸之編[2001]『観光学入門』有斐閣アルマ
栗本智代[2013]『カリスマ案内人で行く大阪まち歩き』創元社
桑田政美編[2006]『観光デザイン学の創造』世界思想社
小長谷一之・福山直寿・五嶋俊彦・本松豊太[2012]『地域活性化戦略』晃洋書房
佐々木雅幸[2001]『創造都市への挑戦』岩波書店
庄野英二[1965]『帝塚山風物誌』垂水書房
白井伊之助編[1980]『住吉界隈いま・むかし』『住吉界隈いま・むかし』刊行委員会
住吉大社編[1977]『住吉大社』学生社
住吉大社編[2008]『遺隋使・遺唐使と住吉津』東方出版
茶谷幸治[2008 a]『まち歩きが観光を変える』学芸出版社
茶谷幸治[2012]『「まち歩き」をしかける』学芸出版社
日本交通公社[2013]『平成24年度観光実践講座講義録 人を活かし、まちを活かす観光の考え方』日本交通公社
橋爪紳也監修[2004]『大阪力事典』創元社
藤原秀憲解説[1987]『住吉名勝図会』国書刊行会
真弓常忠[2003]『住吉信仰』朱鷺書房
宗田好史[2009]『創造都市のための観光振興』学芸出版社
山下晋司編[2011]『観光学キーワード』有斐閣
大阪市都市工学情報センター[2010]「特集住吉詣」『大阪人』vol. 64
新風書房[2011]「特集すみよし～住吉大社 1800 年」『大阪春秋』No. 142
<ウェブ>
住吉大社 <http://www.sumiyoshitaisha.net/>

来て見て体験！ だいがくと風のまち勝間千軒

中塚 義隆

【目的】

西成区内にある勝間（こつま）地域（旧勝間村・玉出町、現玉出・千本・岸里、以下「勝間」という。）は観光にはほど遠いところであるが、かつては勝間千軒と称された経済力豊かな土地柄で、生根神社のだいがくや勝間南瓜などは一般にも知名度を有している。この地域の素材を掘り起こすことで、それらを観光ひいては地域の活性化につなげることを目的として、本研究を行うこととする。

【内容】

観光の素材となる条件としては、人が来る、集まる、人に受け入れられるものがあることが基になる。勝間においてこれらに該当する素材を探してみたところ、素材は多岐にわたり、勝間は歴史もあり、伝統の文化を持っているところであることを発見した。

これらの観光の素材について各条件への該当性を検討した結果、複数以上の条件に該当すると判断したものは、歴史的なものであることに加えて、興味を引くものやまつりなど日常的でないものを取り合わせた素材で、このうち特に環濠集落、生根神社のだいがく、勝間風（こつまいか）の三つを主要な観光素材として取り上げることとした。

環濠集落の環濠は消滅し、勝間風も廃絶しているため余り知られていないが、見聞きすることで興味を引くと思われ、また、だいがくは勝間の歴史と文化を代表するもので、地域のシンボルとして観光の素材に欠くことのできないものである。

【結果（今後の考察含む）】

これらに玉出遺跡(出土品)、勝間街道及び生根神社境内にある御牛天神、勝間南瓜塚などを加え、勝間のまちの歴史と文化を体験する形での観光化を提案し、次のルートを設定する。

玉出遺跡(出土品) → 勝間街道 → 環濠集落 → 生根神社・だいがく → 勝間風

観光化にはこれから整備を必要とし、対処すべき課題も多いが、観光化を通じて地域の活性化をめざしていくためには、関係先をはじめ地域の各種団体、官公署等の理解と協力を得、勝間の歴史と文化をたどる上での種々の取組を行っていく必要がある。

勝間の歴史と文化をベースとして、観光と集客ひいては地域の活性化につなげるべく、地域の方々の理解と協力を得ながら取組を進めていきたい。

1 観光の素材となる条件

観光の素材となる条件としては、次のような要素が考えられる。

- A 見るもの・見せるものがある
- B 歴史的・伝統的なものがある
- C 興味を引くもの・珍しいもの・そこにしかないものがある
- D 日常的でないものがある
- E 雰囲気が良い
- F おいしいもの・味わうものがある

2 観光の素材の選択

勝間にある素材として下表に掲げるものが考えられる。これらについて上記の各項目への該当性を検討する。

歴史関係		生根神社関係	
玉出遺跡、岸里遺跡 (出土品)	A B	生根神社(沿革)	B
環濠集落(環濠跡・地藏 尊)	B C	だいがく(だいがくまつ り・だいがく音頭・だ いがく踊り)	A B C D
勝間(玉出)4ヶ寺	B	御牛天神	B C
勝間街道	B	浜村淳句碑	C
玉出変電所	B	勝間南瓜まつり	B D
勝間音頭、勝間踊り	B	勝間南瓜塚	B
勝間特産品関係		その他	
勝間南瓜	B C	有名店：会津屋(たこ焼 き)、たからや(鈴焼か すてら)、玉出木村屋 (酒種あんぱん) ピエロ(喫茶)	F E
勝間南瓜焼酎(ニュー ヨーク)、饅頭(京屋本 舗)、飴・最中(豊下製 菓)	C	グルメ：Gennji(和洋創 作料理)、象屋(お好み 焼き)、越中屋(すし)、 Revo(肉料理)	F
勝間風	B C	諸業種：かつら 味噌	C F
勝間木綿	B	芸人：5代目桂文枝、西 川きよしらが以前居住	C

検討を行った結果、複数以上の項目に該当すると判断したものは、玉出遺跡(出土品)、環濠集落、だいがく、御牛天神、勝間南瓜、勝間南瓜まつり、勝間風で、これらは歴史的なものに加えて興味を引くものやまつりなど日常的でないものとの取り合わせとなった。

3 選択した素材

これらのうちから、主要な観光素材としては次の三つを中心に上げることとする。

(1) 環濠集落

中世からの環濠集落は大阪では堺、遠里小野、平野、喜連、桑津、八尾、久宝寺、萱振などに例があり、濠で囲まれた集落の成り立ちに興味を持たれる。また、勝間が戦国時代に合戦の舞台にもなり、石山合戦に関わっていたと推測されることについても関心を惹き起こす。地藏堂は地元でも環濠集落の出入口の門にあったものとしては知られておらず、この点についても興味を引くところである。

(右上 勝間村環濠集落・「勝間村の誕生・発展の参考資料集」

尾崎正臣、右下 石山本願寺籠城の図(部分)・『座談会玉出を語る会の記録』西成区役所)

(2) だいがく

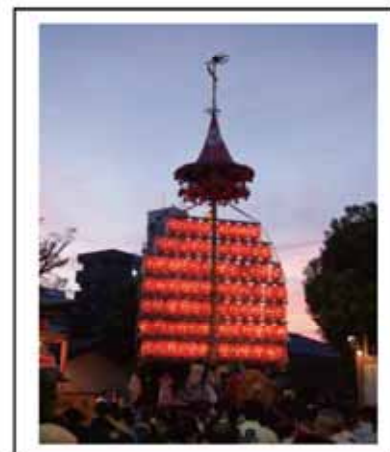
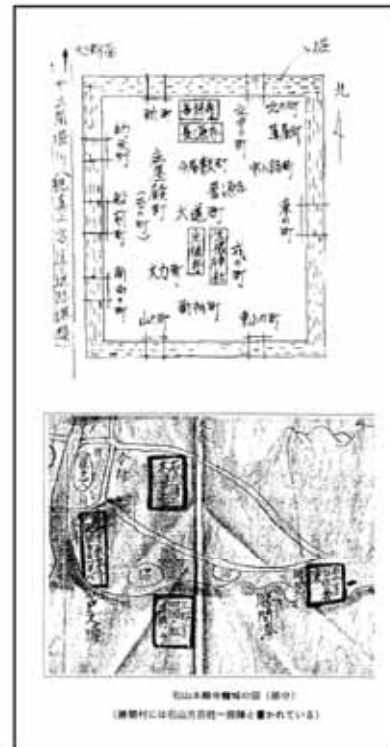
だいがくは1972年(昭和47年)に大阪府指定有形民俗文化財第1号として指定された。芯棒を立て、横棒に多数の提灯を吊るす形態で、夜に灯が入ると一段と壮観である。全国数か所に類例を見るが、この形態と同じものは木津村(浪速区)、鷹合村(東住吉区)、今川村(平野区)、堀村(住吉区)で見られた。現在は勝間の玉出でしか見ることはできず、貴重なものとして評価され、地域のシンボルとなっている。

また、だいがくのある生根神社は明治の廃藩置県に伴い、黒田藩の社殿(戦災で焼失)、御牛天神を譲り受け、また、大阪の伝統野菜の一つである勝間南瓜に因む勝間南瓜まつりが冬至の時期に開催され、無病息災を願う人々が多数お参りしている。

(3) 勝間凧

凧の胴体の絵は多色刷りで、これに風袋を付けた構造となっているが、絵柄も非常にユニークで、視覚に訴え、人目を引く。歴史も江戸時代に遡り、住吉大社参詣の道中に売られていたが、シカゴ万博、パリ万博に出品され、海外にも輸出されるなどしてその価値が認められ、勝間村は国際的な特産品を有していたと言える。

類似の凧は愛知県や東京都にも見られるが、勝間凧は胴体の絵が洗練され、それだけでもコレクションの対象になっている。また、胴体の絵は宣伝文句



が入るようにデザインされたものもあり、いかにも商人のまち大阪を体現するものである。

(前頁上 金鶏・木村薫復元 大阪歴史博物館、同下 蝶・『勝間凧の話』木村薫、右 大根売り・同前)



4 勝間のまちの歴史と文化の体験

環濠集落、だいがく、勝間凧、これらは勝間の歴史と文化を代表するものであり、これらを中心に玉出遺跡、勝間街道及び生根神社境内にある御牛天神及び勝間南瓜塚を加え、体験型での観光化を提案し、ルートを設定する。

玉出遺跡(出土品) ○玉出中学校、地下鉄玉出駅で展示見学

勝間街道 ○街道沿いウォーキング

環濠集落 ○環濠跡ウォーキング ○勝間(玉出)4ヶ寺・延命地藏尊見学

生根神社・だいがく

○だいがくのDVD放映

○だいがく踊りと音頭(歌・太鼓)
の実演と体験

○御牛天神及び勝間南瓜塚の説明

勝間凧 ○勝間凧の展示鑑賞

○勝間凧の製作または凧揚げ

5 今後の課題

実施にあたり、今後整備を必要とするものが多々あり、観光化に向けての種々の取り組みが必要である。



まち巡り全体 ○推進体制の形成 ○各種団体との連携

○案内板の設置、ガイドの育成、ガイドブック・地図・年表・絵葉書等の作成

玉出遺跡(出土品) ○展示コーナーの整備

環濠集落 ○環濠の位置・勝間街道・勝間(玉出)4ヶ寺・地藏尊の解説板の設置

だいがく ○DVDの放映・踊りと太鼓の実演及び体験をする場所の確保

○バッジ・キーホルダー・ストラップ・クリアファイル等関連グッズの作成

○AR化の取組 ○だいがく保存会・だいがく音頭保存会との連携

勝間凧 ○凧の復元製作・展示 ○指導者の育成 ○製作体験場所の確保

○碑の建立 ○バッジ等関連グッズの作成 ○勝間凧保存会との連携

参考文献：

本文中に掲載した文献の他、『日本歴史地理序説』藤岡謙二郎、『日本都市史研究』西川幸治、『寺内町の研究第3巻』峰岸純夫他、『河内萱振城』棚橋利光、『「伎人」の歴史・暮らし・まちの誇り』平野区役所他、『桑津郷土史』桑津郷土史研究会、『玉出のだいがく 生根神社だいがく祭り調査報告書』生根神社、『特集展示 大阪の凧』大阪歴史博物館、『日本の凧』新坂和男、『日本の凧』俵有作

アベノの坂10選 無名坂に名前をつける

辻本 伊織

【目的】

阿倍野区は天王寺区とならび、水の都とよばれる大阪には珍しく川も橋もない。それでは何が自然の観光資源かと考えると、当然『坂』が出てくるのではなかろうか。

有数の坂のまちである阿倍野区が、坂への関心が高いかというとは決してそうは思えない。ここはぜひこの自然景観を宝の持ち腐れにしないためのアクションが必要であろうと考える。他都市を考察しても、東京・京都・神戸それぞれに坂のアピールに工夫を凝らしている。なんであれモノを生かすには名前が必要であり、重要である。名前があつてこそそれはイノチを持ってくる。坂だって名前がなければただ単に傾斜した道にすぎない。大阪の坂研究の手始めとして、阿倍野区にある無名坂・忘名坂に名前をつけて観光資源化の第一歩としたい、というのがこの研究の動機である。

【内容】

阿倍野区内の特徴ある坂（しかも無名坂・忘名坂・表示のない坂に限定して）を坂の選定基準に則り10選ぶ。そして、その坂にふさわしい名称をつける。

あくまで叩き台としての私的なベストテンである。この提案を元に地域住民あるいは観光者のみなさまにその名称が妥当かどうかを考えていただく。

Web・広報誌・地域観光マップで紹介する。コンテストを行ってもいい。神戸市における北野坂の例のように行政が住民投票を募り決定するのが理想型と考える。決まれば名称表示板、同時に由来・伝承などもわかればそれを盛り込んだ説明板の設置。これはそれほど費用を要さない。しかも、一度命名され、表示された坂はその後一人歩きしていくことになる。モノ自体は自然景観であるからまったく安価な観光資源活用と言えるのではなかろうか。

ここまでの流れを一つのサイクルとして考えている。

【結果（今後の考察含む）】

この発表ならびに提案では無名坂のネーミングということに最も重点を置いた。しかし、フィールドワークを始めて見ると思った以上に良好な景観の坂が多い。今回割愛した無名坂もかなりある。もっと精査していけば50選は十分に達成できると考える。

『歴史と坂のまちアベノ』のイメージ造りにご賛同を頂ければ幸いである。

研究の動機

他都市（東京・京都・神戸など）と比べて 大阪の坂は観光資源としてあまり活用されていない。そんな中でも天王寺区は「天王寺七坂」などを整備して観光資源としている。同様に歴史と坂のまちである阿倍野区には残念ながらそういう動きがみられない。水の都でなくとも、坂という豊富な自然景観を観光資源として『歴史と坂のまちアベノ』を訴求したいと考える。

坂の定義

坂は道がついていて成立する（形状としては階段状も含む）

坂は自然の傾斜に人工の手が入ったモノが対象となる（よって単なる山や丘の斜面は除外）

人間が上り下り可能な傾斜角度（当然崖状・それに近いモノは除外）

坂10選の選定基準①

観光資源とするには名称がなくてはならない。よって今回の対象は 無名坂・忘名坂に限定する。阿倍野神社周辺の5坂（みや坂・やしろ坂・さくら坂・みどり坂・みなみ坂）、相生通の2坂（相生坂・相親坂）の7坂は標石があり素晴らしい坂ではあるが、今回の趣旨とはずれるので割愛した。名前は知られているが表示のない坂は、今名前が知られていてもそのままだとそう遠くない将来必ず忘れ去られる。それが証拠に、大正期の文献で大阪の坂が数多く書かれているものがあるが、その中で 現在特定できるものはごくわずかである。

坂10選の選定基準②

景観・展望のよいもの

形状に特色のあるもの

特定できる建物・樹木などがあるもの

由緒・伝承などがあるもの

選定までの経緯

以上に述べた選定基準①②に基づき、阿倍野区をフィールドワーク。（100近くの坂）私の個人的尺度によりベストセクション10坂を選定。

坂10選に名前をつける

名前がなくはただの傾斜した道にすぎない。これは坂に限った話ではないが名前をつけること、名前があることによって

- ・ 親しみが湧く・印象が強くなる・覚えやすい・記憶に残る
- ・ 道の説明に役立つなど便利になる・地図、文献に引用される（ブログも含めて）
- ・ 観光資源・民俗資源として利用される
- ・ 何よりも後世に伝承される

などの効果が見込まれる。

坂 10 選の具体例

ここからは発表した 10 坂のうち 5 坂を具体例として掲載する。ページ数の関係で掲載できず割愛した 5 坂は次に候補名称と場所だけを記しておく。

- ③市大坂^{いちだいが} 大阪市立大学医学部と病院の間。南北の坂
- ④崖の上坂^{がけのうみざか} 飛田新地の東側。南北の坂
- ⑥聖愛坂^{せいあいざか} 丸山通りにある大阪キリスト教学院を南に入る坂
- ⑧正圓寺坂^{しょうえんじざか} 聖天山正圓寺の正面参道。階段坂である
- ⑨鞆の坂^{うづば} 帝塚山 1 丁目。西成区との区界にある

今後広く住民や観光者など、みなさまのご意見をもとに行政や地域組織に採用決定して頂きたい。その後表示板・説明板の設置を行い、同時に We b・広報・観光マップなどに露出させてその名前と場所を認知していただければ幸いである。

①旭坂^{あさひざか}

旧旭通り商店街 キューズモール北横



あべのハルカスの西対面

旭通り商店街の頃はもう少し湾曲度が強かったが

今は阿倍野筋の接する起点からほぼ直線で続いている。

かなり改造・変形されたので原形はとどめていない。

坂の傾斜は旧旭通りの標石（写真）が保存されているところから次の通りにぶつかるまで。歩道と車道が区切られ舗装された、使い勝手のよい、新しくできた綺麗な坂である。

以前の旭通り商店街は『あべの銀座』とも呼ばれていた。

このあたりはかつてヤブでみかん山と呼ばれていたようだ。

他の候補名 あさひ坂 みかん坂 キューズ坂

②天龍坂^{てんりゅうざか}

あべのマルシェ北側の坂



あさひ坂より西へ、突き当たりを南へ、

あべのポンテの横をまた西へ。

あべのマルシェのあたりから天龍大神の祠の地点まで続く坂。

坂を下りきった北側に天龍大神の祠がある（写真 鳥居）。

このあたりの低地には明治末期まで大池があり池の主として大蛇三神があがめられていた。そのひとつがこの天龍大神であり、あと黒龍大神と白龍大神がある。元は三神とも池の周りにあったのだが今は開発の影響でばらばらになり黒龍は大阪市大病院の西側、白龍は飛田会館内に移されている。黒龍大神の直近の坂は勾配も険しく眺望もすばらしいが、これは西成区の章で触れることとする。

他の候補名 マルシェ坂

⑤ 丸山坂

丸山通り西端の坂



『史跡丸山古墳跡』の標石（写真）のすぐ北から

西成区界まで東西に続く坂道。

『史跡丸山古墳跡』の向かいにあるマンションは関西電力の元社長、太田垣士郎氏の別邸があった場所であろうか。

閑静な住宅地を通る舗装された、変化に富んだ坂道である。

他の候補名 古墳坂

⑦ 聖天坂

阪堺電軌阪堺線 聖天坂駅の北側



今回のアベノの坂10選で唯一名前が特定されていた坂道。

天下茶屋教会とそばや春日が並ぶところから坂上の天心坊まで。

そこから東へしばらく歩くと晴明丘小学校である。

瀟洒な住宅地を通る、舗装が美しく長い東西の坂道である。しかし、標石・表示板などは無い。坂の名がなぜ特定されているかというと、最大の理由は坂下にある阪堺電軌阪堺線の聖天坂駅（写真）であると考えられる。

当然坂が先にあるの駅名であるが、駅名表示があることによって長年ゆるぎなくこの坂名が伝わってきたことは間違いない。

坂名のネーミングそして物理的な表示が重要であることの証とも言えるだろう。

⑩ 久保田の坂

帝塚山1丁目 西成区との区界にある



この坂のすぐ近くに「⑨ 鞠の坂」がある。

かつてこの坂に沿った石垣の上にクボタ創業者、久保田権四郎の広大な屋敷が存在した。現在屋敷は晴明丘南小学校（写真）とマンションになっているが坂は健在。

標石などはないが近辺では「久保田の坂」と呼びならわされ、熟知された坂である。傾斜がきつく、石垣との調和が素晴らしい石畳の坂である。

他の候補名 久保田坂

アベノの坂10選 別資料

辻本伊織

発表資料に誌面の都合で掲載できなかったもの

大阪大正期の坂道記載記事

アベノの坂 10選のうちの 5坂

すでに標石のある坂 8坂

測量機器

エピソード

地図・データは誌面の都合で割愛



大正時代の文獻

(177)

旅行百話

旅行百話

(176)

旦那曰く「それはまたド・いふ事で……」
 下女曰く「でも妾お嫁にゆく事いやですから……」
 旦那曰く「それではド・するのぢや」
 下女曰く「それッて旦那、妾ゆくやうな所がありませんモノ」
 旦那曰く「だッて適當の所を見つけて世話してやつたら良いだらう」
 下女曰く「デモ妾厭でスワ、お嫁にゆく事嫌ひ……」
 旦那曰く「それは困つたナア、ぢやどんな男の所へ世話したらゆくのか」
 下女暫らく無言、モデ／＼して曰く「妾、旦那のやうな好い方なら……」

大阪の坂

東京も坂は澤山あるう、而し大阪の坂にはかなうまい、自分が一寸調べたのが左の如し。
 (西區と北區は未調)(はなたらし)
 芝罘坂、口繩坂、源聖寺坂、地藏坂、毘沙門坂、猫坂、隠坊坂、油屋坂、辨天坂、吉野坂、
 幽霊坂、清水坂、小橋坂、南坂、御藏跡坂、妙見堂坂、新葛坂、猫小路坂、湯屋坂、翠坂、

お龜坂、近松坂、笠坂、陣坂、法圓寺坂、渡坂、田舎坂、學校坂、雷坂、ホイ／＼坂、
 天神坂、安居坂、首切坂、油掛坂、黒門坂、弓引坂、伏見坂、猿曳坂、片道坂、切坂、踏
 切坂、眞言坂、花見坂、思案坂、丁稚坂、相合坂、夕暮坂、千木坂、綿繩坂、陸任坂、戎
 坂、横道坂、お傳坂、御靈坂、住吉坂、片袖坂、兵隊坂、櫻坂、山田屋坂、警察横坂、御
 船坂、火除坂、〇〇坂、會社坂、

高等旅館の女中は皆泥棒也

◎此説は少しく極端の説かも知れぬが、實際地方の高等旅館等に於て、藝者でも自由に出入りする事の出来るといふ旅館は、其の女中を除穢氣をつけねばならぬ、お羽織を盗みましやう、洋服をおびきなさい、紺糸を洗つてあげましやうなどと来るのは、決して油斷がならぬ、若し着物の袂、洋服のポケット等へ紙幣か釣銭でも、五拾錢の銀貨位入れて置かう者なら必ず風呂へいつた留守か、外出の不在に紛失してしまふ、しかしお世辭とモテナシが上手なので、逢ひ之を取調ふる事も出来ず、ドコかて落した位に早合點をし、又少々の疑があつてもヨモヤあ的女中が位で、其笑タボのうちに、其紛失を忘るゝ紳士が多

大正2年2月4日
 東京滑稽社 大月 隆 著
 旅行百話 P.166~P.167

次の5つの坂は

アベノの坂10選にセレクトした坂であるが
発表誌面の都合で割愛したものである

③市大坂

大阪市立大学医学部と病院の間。南北の坂。

市大病院の西から西成区となる。

このあたりの低地には明治末期まで大池があり池の主として大蛇三神があがめられていた。そのひとつが先ほどの天龍大神であり、あと黒龍大神と白龍大神がある。元は三神とも池の周りにあったのだが今は開発の影響でばらばらになり黒龍は市大病院の西側。白龍は飛田会館内に移されている。黒龍大神の直近の坂は勾配も険しく眺望もすばらしいが、これは西成区の章で触れる。



坂に面してある山畑阿利一作の知仁
勇を象徴する三女神のレリーフ

他の候補名 **女神坂・病院坂**



④崖の上坂

飛田新地の東側。南北の坂。

天龍大神から南へ。

西側の低地に飛田新地の料亭街が広がる。車道、歩道に区分された、片側だけではあるが見晴らしの良い坂である。阪神高速下の信号まで続く。



崖に沿って時計檣が設置されている。ここから通天閣をはじめとして眼下の眺望は素晴らしい。

他の候補名として **飛田坂**



⑥聖愛坂

丸山通りにある大阪キリスト教学院を南に入る坂

大阪キリスト教学院に付属する短期大学や聖愛幼稚園がある。もちろん教会もある。丸山小学校のとなりにあって、南北の坂は短いがかなり勾配がきつい。



教会の尖塔の十字架が風景によく映える

他の候補名 **教会坂・キリスト坂**



⑧正圓寺坂

聖天山正圓寺の正面参道 階段坂である

正圓寺（天下茶屋の聖天さん）の
参道である。反対側には女坂もある。



鳥居の左手にある大聖歡喜天の台礎
となっている方形の石は**兼好法師**が
このあたりに隠棲したとき藁を打っ
た石と伝えられている。他に武野紹
鷗遺愛の手水鉢なども寺内にある。



⑨ 靱の坂

帝塚山1丁目

西成区との区界にある

関西のフォークの面々や五代目桂文枝師匠をはじめとする一門が常連であったことで有名な玉出の**茶房ピエロ**（写真）のマスターに教えて頂いた。

ご本人が子供の頃、靱邸という大きなお屋敷がありその連想から「うつぼの坂」と呼び慣わしていたそうである。

靱さんについては詳しいことは今後の研究課題である。

たとえば

靱さんは広大な靱公園の土地を寄付したとも言われているようだが、今のところ真偽は不明。



他の候補名 **うつぼ坂**

次にあげる 8 坂は
すでに標石があるので
今回の選には割愛した坂である

相生阪

相生通 2 坂のひとつ

今までの処、最も大きく立派な標石には「坂」でなく「阪」が使われている。昭和14年建立。

あびこ筋から西へ天神の森へ下っていく坂の途中にある。



相親坂（あいしんざか）

相生通 2 坂のひとつ

先ほどの通りと反対側が2丁目の区域。相生郵便局の対面。

半分に折れてしまった標石裏面に昭和14年親睦●●と表記。



みや坂

阿倍野神社 5 坂のひとつ。

阿倍野神社の表参道にある。

西成区天神の森 2 丁目と阿倍野区北
畠 2 丁目にかけての坂。

標石は紀元 2 6 0 0 年（西暦 1 9 4
0 年・昭和 15 年）記念に建立された
もの。柳坂の別名あり。



みなみ坂

阿倍野神社5坂の
ひとつ。標柱に紀
元二千六百年記
念の文字が見える。



さくら坂

阿倍野神社 5 坂のひとつ。
命名から想像できるように
きれいな桜の木があったそうである。
(阿倍野神社 **中塚昌宏宮司** 談)



やしろ坂

北畠3-4

名称は阿倍野神社の「やしろ」を意味するものであろう。

フェンスの箇所には交番があったとのこと。

(阿倍野神社 **中塚昌宏宮司** 談)



みどり坂

何度も車両に転倒させられるので阿倍野神社境内に避難・保存されている『みどり坂』の標石。



ここに建てられていたとの中塚宮司のお話であるが、確かにクルマにひっかけられる場所である。



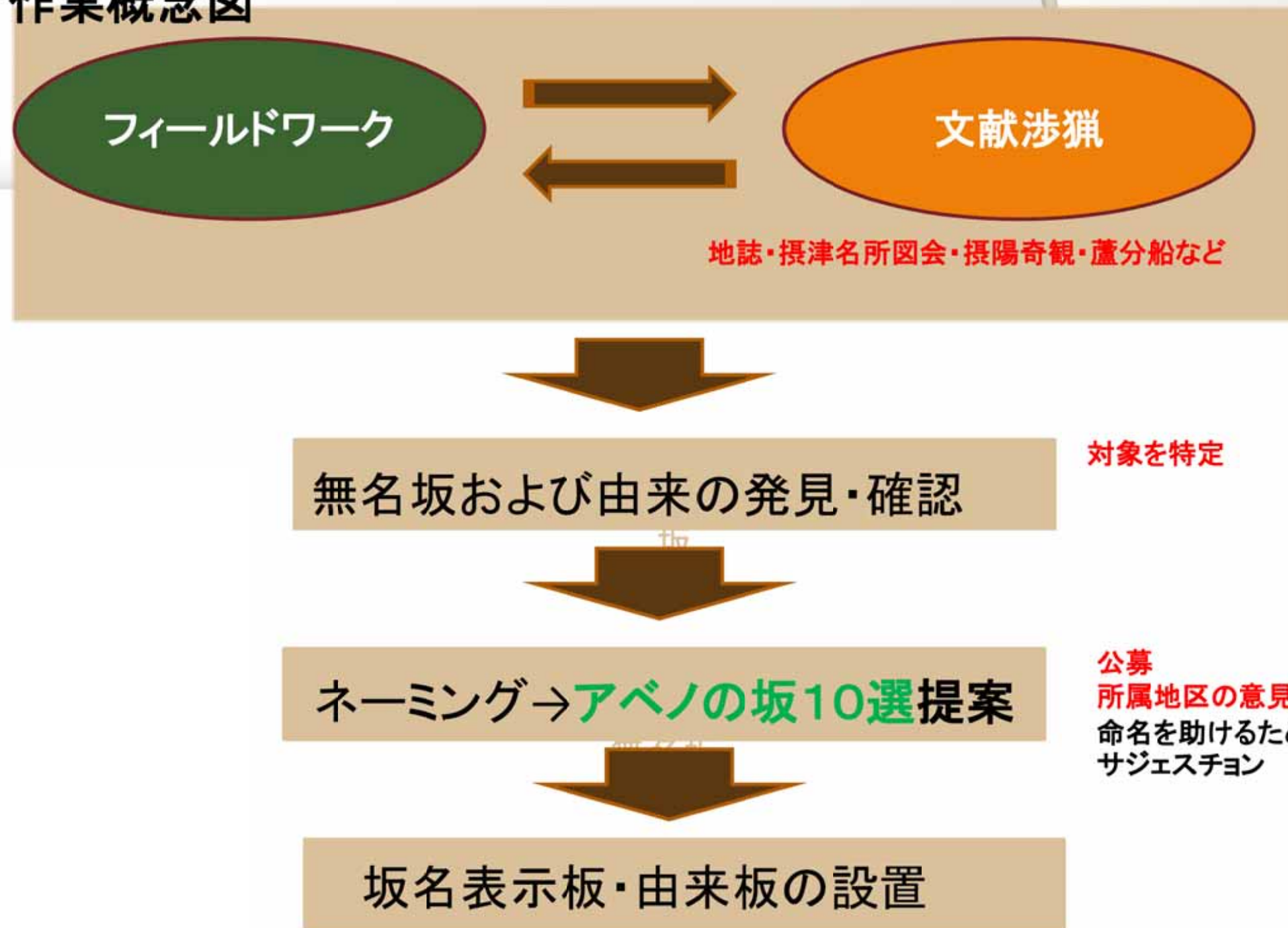
正圓寺 女坂

正圓寺に通じる参道。松虫通に面している。

女坂と表示されているということは通常正式な坂（男坂）があり、それよりも上り下りがたやすく出来る工夫のされているモノに女坂の名称がつけられる。



作業概念図



坂のデータ収集に使用した器具 その1

角度計 坂の傾斜を測る

SuperSlant (エビス) ED 2 0 SSB

Slantは勾配・傾斜・坂 の意



坂のデータ収集に使用した器具 その2

赤外線距離計（面積計）

BOSCH GLM 50



エピソード

- **韓国ウルサンTVの取材** 2013年9月23日
聖天坂や旭坂などを案内。ビデオ録画され11月に放送された

韓国メディアが坂道研究 に興味を示したワケは？

韓国では基本的に坂は
不便なモノとの認識
日本人のように坂を愛でる
感覚は不思議
どう観光につながるのか
というような疑問からのようだ



まち歩きで偶然見つけたもの

天王寺にある清水寺の境内で見つけた石碑。

鵜鴒阪・・「せきれいざか」と読むのであろうか、場所は「南地」なのか？
もっかのところまったく意味不明・・・

次回研究へ持ち越しである



ななしの素敵な坂の情報ありましたら お教えくださいm(__)m



次回はこのあたり(阿倍野区隣接区域)から、やろうと思っています。

市大病院の西側。ここから西成区。坂を下りた左手が黒龍大神。予定名**黒龍坂**(w



大阪府立大学 21 世紀科学研究機構とは・・・

大阪府立大学「21 世紀科学研究機構」は、学部(学域)・研究科の枠を超えた学際的あるいは分野横断型研究を進める「21 世紀科学研究所」群で構成する研究組織で、本学の研究活動の一層の活性化を図ることを目的として設立されました。

この機構は、柔軟性と組織性を併せ持つ 3 つの研究所群(2014 年 3 月現在 41 研究所)で構成し、地域に貢献する拠点大学としての役割と府民・府政のシンクタンク機能も担える組織として、本学の教育・研究の展開に新たな息吹を吹き込む存在として位置づけられています。

観光産業戦略研究所 (所長：橋爪紳也教授)

経済成長が顕著なアジア全域において、観光が地域の重要な産業となりつつあります。LCC の普及や世界的なクルーズ事業の進展もあり、新たな旅のありかたが示されつつあります。いっぽうで、ヘルス・ツーリズム、コミュニティ・ツーリズム、ヘリテイジ・ツーリズム、ボランティア・ツーリズム、美食ツーリズムなど、いわゆるニューツーリズムの動向も注目されています。また世界的な統合型リゾートの流行やコンベンションビジネスの発展、ハイエンド層を対象とした事業展開など、観光客の受け入れを前提とした地域づくりや都市開発が各地ですすめられています。観光産業戦略研究所では、このような世界の動向を見据えつつ「人が自由に移動する社会」を肯定、観光学の理論的研究の深化とともに、都市型観光に関する政策提案と地域づくりの実践を重ねています。

なにわなんでも大阪検定について

なにわなんでも大阪検定は、大阪が持つ歴史・文化の奥深さを再発見し、多様な大阪の魅力を知っていただくことを目的とした試験です。検定試験に関連し、歴史や文化に直接触れるまち歩きや講座などを開催し、楽しみながら大阪を学んでいただくことができます。

大阪府立大学21世紀科学研究機構大阪検定客員研究員制度は、この大阪検定の最難関である1級に合格された方の知見を大阪の都市魅力向上に役立ててもらうため、大阪府立大学との提携により平成25年度より創設され、13名の研究員が担当教官である橋爪紳也教授（大阪府立大学21世紀科学研究機構・観光産業戦略研究所所長）の助言を得ながら「大阪の観光」および「大阪の観光産業」に資する研究に1年間取り組んでまいりました。

大阪商工会議所は、今年度の研究をより広く社会に還元し、「大阪の観光」および「大阪の観光産業」の一層の魅力向上に努めてまいります。また、学校での授業や企業・団体の研修等の機会を活用し、大阪検定合格者を講師にした大阪に関する講座・セミナーの開催を支援いたします。講師のご紹介などご関心の方は下記問合せまでご一報ください。

大阪商工会議所は、“なにわなんでも大阪検定”を通じて、大阪を知り愛する運動を推進し、大阪の都市ブランド向上を目指します。

問合せ：大阪商工会議所地域振興部

TEL 06-6944-6323

<http://www.osaka-kentei.jp/>

